組立・施工説明書 SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ 単体

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工してていただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…
取扱説明書を施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する組立・施工業者様向けの内容となっております。
商品の不具合や組立・施工作業には危険が伴いますので、組立・施工は専門知識を有する組立・施工業者様が行ってください。

チェックシート

組立・取付時、下記項目の確認をしてください。

	項　目	チェック欄
❶	ねじは確実に締めましたか?	
❷	ねじ頭にシーリングをしましたか？	

注意

- 商品をご確認のうえ、梁に貼付けのPLラベルに示す積雪量になる前に、必ず雪おろしを行うことを施主様にご説明ください。
- カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。商品に倒壊のおそれがあります。
- 屋根ふき材(折板)の取付は、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。

お願い

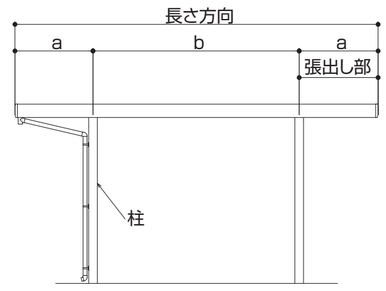
- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。締め付け不良は事故の原因になります。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には取付けないでください。
- ユニットの組替え等により製作する場合は、製作範囲を確認して製作してください。製作範囲を超えると事故(人損・物損)の原因になります。
- 基礎のコンクリートには**塩素系の混和剤(急結剤等)や海砂を使用しない**でください。柱の腐食の原因になります。

シーリングは必ず実施してください!

- 「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。シーリングがされないと、**漏水の原因**となります。
- ポリカーボネート板へのシーリングは、ひび割れ防止のためと樹脂との接着性が良い脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。（別途手配品）

注　意

長さ方向張出し部のみ切詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪時や暴風時に商品が破損するおそれがあります。
切詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。



基礎について

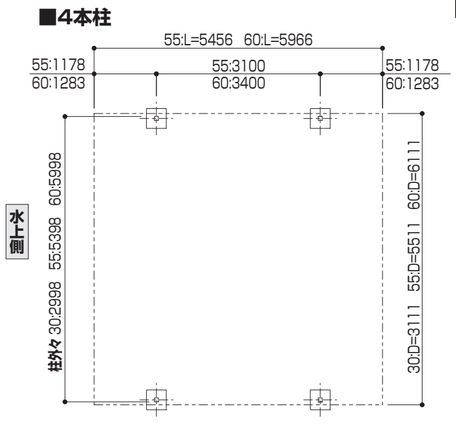
柱の位置決め

お願い

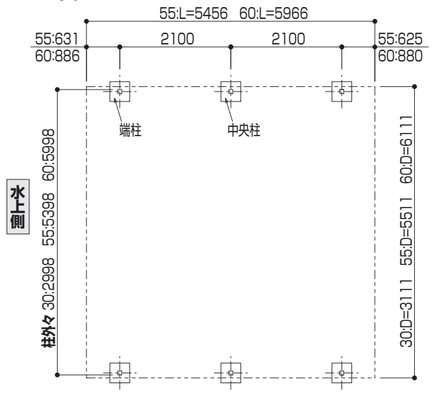
柱位置を決める際、家屋の屋根、軒等にカーポートが干渉しないように考慮してください。

サイズにより柱角寸法が異なるため、本寸法図は、**柱外々**での寸法を示しています。

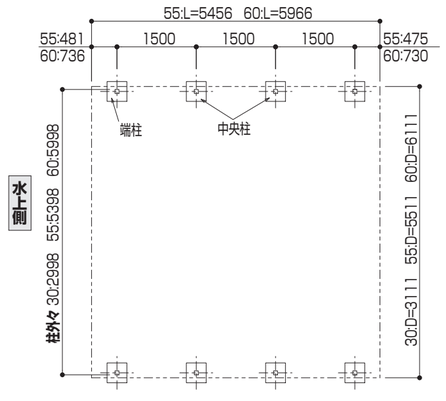
■4本柱



■6本柱

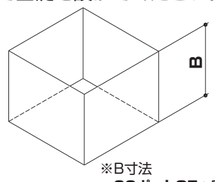


■8本柱



基礎寸法

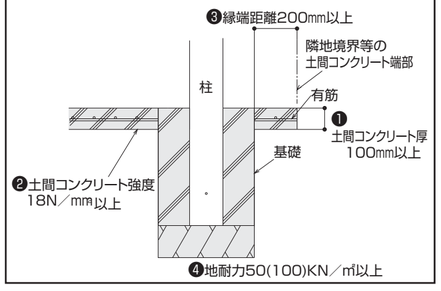
- 基礎寸法は、右表を基に積雪量、柱高さ、本体サイズおよび地耐力に従ってください。
- 基礎は、①独立基礎と②土間コンクリート考慮基礎の2種類があります。
  ②の場合は、『土間コンクリート考慮の基礎条件』を満たしていることを確認してください。
- 寒冷地で凍上するおそれがある場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。



※B寸法
SSポートGⅡ：500㎜以上
ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ：550㎜以上

土間コンクリート考慮の基礎条件

❶土間コンクリート厚　：100㎜以上、有筋
❷土間コンクリート強度：18N／㎟以上
❸縁端距離　　：200㎜以上
❹地耐力　　：50(100)KN／㎡以上



■SSポートGⅡ

積雪量	柱高さ H(mm)	本体サイズ	柱本数	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル無 中央柱	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル無 端柱	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル有 中央柱	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル有 端柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：50KN/㎡ ー 中央柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：50KN/㎡ ー 端柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：100KN/㎡ サイドパネル無 中央柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：100KN/㎡ サイドパネル無 端柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：100KN/㎡ サイドパネル有 中央柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：100KN/㎡ サイドパネル有 端柱
100cm	2355 (3000) ※1	5530	4	510		620(760)		510		390		420(510)	
		6030	4	540		660(800)		540		390		460(540)	
		5555	4	680		680(790)		680		450		450(590)	
		6055	4	710		710(830)		710		470		470(630)	
		5560	4	720		720(800)		720		470		470(600)	
		6060	4	750		750(840)		750		490		490(640)	
150cm	2355 (3000)	5530	6	540	490	540(640)	490(570)	540	490	390	390	390(440)	390(400)
		6030	6	540	520	540(640)	520(630)	540	520	390	390	390(440)	390(430)
		5555	6	720	650	720	650	720	650	480	430	480	430
		6055	6	720	690	720	690	720	690	480	460	480	460
		5560	6	750	680	750	680	750	680	500	450	500	450
		6060	6	750	730	750	730	750	730	500	480	500	480

■ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

積雪量	柱高さ H[mm]	本体サイズ	柱本数	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル無	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル有	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：50KN/㎡ ー	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：100KN/㎡ サイドパネル無	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：100KN/㎡ サイドパネル有
50cm	2340 (2985)	5030	4	440	570(700)	440	390	390(440)
		6030	4	460	610(740)	460	390	390(460)
		5555	4	580	620(740)	580	390	390(530)
		6055	4	610	660(790)	610	400	400(570)
		5560	4	610	630(750)	610	400	400(520)
		6060	4	640	670(800)	640	440	440(580)

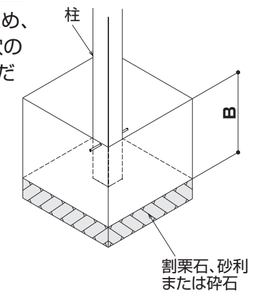
※1：(　)内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合
※2：②土間コンクリート考慮基礎(地耐力50KN/㎡)の場合、サイドパネルの有無による基礎の大きさに違いはありません。

基礎部の施工

❶「**基礎について・寸法図**」を参考に柱埋込み位置を決めてください。
❷**基礎寸法**を参考に穴を掘ってください。
❸割栗石、砂利または砕石を敷き詰め必ず突き固めてください。

柱を切断しない場合

❹水勾配を付けるため、下表を参考に各穴の深さを調整してください。



柱を切断しない場合の埋込み深さB

■SSポートGⅡ

側面から見た柱本数	呼称長さ L	水上側		水下側
2	55	547		650
	60	537		650
3	55/60	510	580	650

■ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

側面から見た柱本数	呼称長さ L	水上側	水下側
2	55	562	665
	60	552	665

同梱包部品一覧

■柱　GCD-(DS)A24#

品　名	柱
品　番	ー
個　数	2

■柱　GCD-(DS)A30#-1

品　名	柱
品　番	ー
個　数	1

■梁　GCD-(DS)B####

品　名	梁
品　番	ー
個　数	1

■鼻隠し(側面)　GCD-(DS)C##

品　名	鼻隠し
品　番	ー
個　数	2
備　考	(側面)

■鼻隠し(前・後)　GCD-(DS)D##

姿　図	――	――	
品　名	鼻隠し	鼻隠し	たて樋
品　番	ー	ー	K-35418
個　数	1	1	1
備　考	(水上側)	(水下側)	L=3000

■タイトフレーム　GCD-(DS)F##-##

姿　図							
品　名	タイトフレーム	タイトフレーム	折板取付ナット	剣先キャップ	ルーフボルト	ルーフボルト用キャップ	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品　番	4K-19023	4K-19024	4K-19025	2K-35365	5K-10043	2K-35755	ET-5010
GCD-(DS)F30-4	4	8	32	32	4	4	40
GCD-(DS)F30-6N	6	12	48	48	0	0	60
GCD-(DS)F55-4	4	16	56	56	8	8	72
GCD-(DS)F55-6N	6	24	84	84	0	0	108
GCD-(DS)F60-4	4	18	62	62	9	9	80
GCD-(DS)F60-6N	6	27	93	93	0	0	120
備　考	端部	中間部					タイトフレーム取付用

■横材　GCD-(DS)H##-##

姿　図	――		
品　名	横材(L寸法)	横材ブラケット	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品　番	ー	4K-12570	ET-5010
GCD-(DS)H2A-55	2(2981)	4	24
GCD-(DS)H2A-60	2(3281)	4	24
GCD-(DS)H2B-55	2(2971)	4	24
GCD-(DS)H2B-60	2(3271)	4	24
GCD-(DS)H3A	4(1981)	8	48
GCD-(DS)H3B	4(1971)	8	48
備　考			横材取付用

■たて樋　GCD-(DS)KT##

姿　図	
品　名	たて樋(L寸法)
品　番	K-35418
GCD-(DS)KT07	1(700)
GCD-(DS)KT13	1(1300)

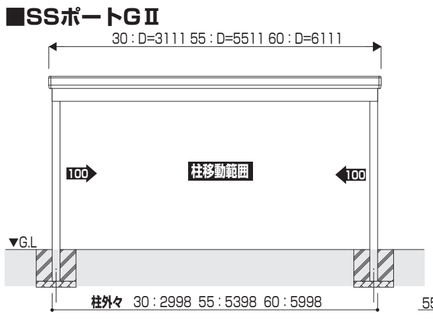
■部品　GCD-(DS)E#-#[H]

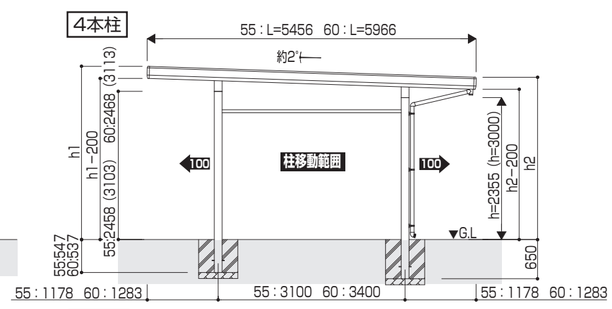
姿　図																								
品　名	柱アンカー	梁キャップ			柱キャップ	柱・梁連結金具		裏板	スペーサ	止水板		コーナーキャップ	コーナーキャップ連結材	ドレイン	穴隠し	穴塞ぎシール	雨樋セット	ゴミ出しエルボ	座金組込六角ボルト (M10×20)	六角ボルト (M10×30)	六角ナット (M10用)	スプリングワッシャ (M10用)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	なべドリルねじ (φ4×19)	組立・施工説明書
品　番	K-11711	2K-36089	2K-36090	2K-36091	5K-11172	5K-11168	5K-11169	5K-11171	5K-11173	5K-10039	5K-10040	2K-35753	3K-19190	K-36979	K-36980	K-41844	EA-C6	2K-36149	3K-18992	SBH-M10030	N-M10	SW-10	ET-5010	K-13526	―
GCD-(DS)EA-4[H]	4	4	―	―	―[4]	4[―]	―[4]	8	―[4]	1	1	4	2	1	1	2	1	1	16	16	16	16	4	64	1
GCD-(DS)EA-6[H]	6	6	―	―	―[6]	6[―]	―[6]	12	―[6]	1	1	4	2	1	1	2	1	1	24	24	24	24	4	60	1
GCD-(DS)EB-4[H]	4	―	4	―	―[4]	4[―]	―[4]	8	―[4]	1	1	4	2	1	1	2	1	1	16	16	16	16	4	74	1
GCD-(DS)EC-4[H]	4	―	―	4	4	―[4]	4[―]	8	―	1	1	4	2	1	1	2	1	1	16	16	16	16	4	74	1
GCD-(DS)EC-6[H]	6	―	―	6	6	―[6]	6[―]	12	―	1	1	4	2	1	1	2	1	1	24	24	24	24	4	70	1
備　考	L=200mm	150用	250用	280用		□120柱および□130柱(t=5.5)用	□130柱(t=2.6、3.4)用			L	R					φ10			柱・梁連結用	柱・梁連結金具取付用	柱・梁連結金具取付用	柱・梁連結金具取付用	ドレイン・穴隠し取付用	その他	

※梁見付けが280㎜の場合、必要ありません。

寸法図(単位：mm)

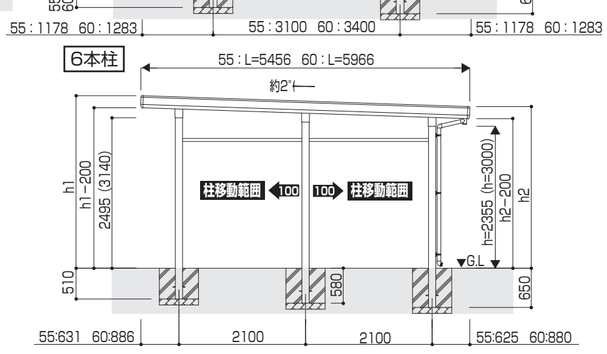
■SSポートGⅡ



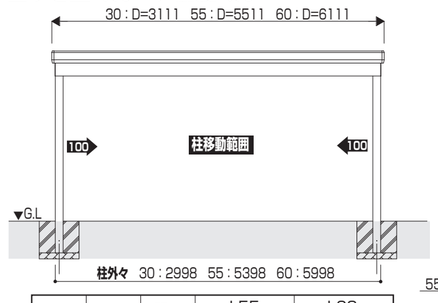


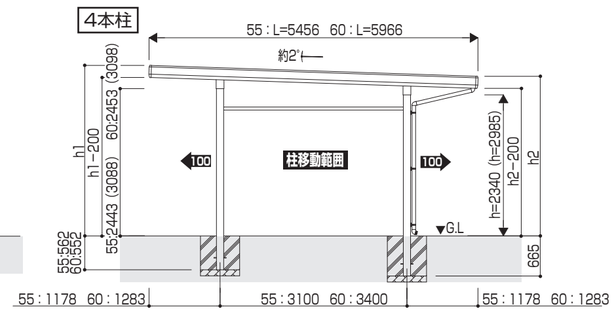
積雪量	柱本数	間口サイズ	L55 h1	L55 h2	L60 h1	L60 h2
100cm	4	D30	2744 (3389)	2563 (3208)	2757 (3402)	2559 (3204)
		D55/D60	2873 (3518)	2692 (3337)	2886 (3531)	2688 (3333)
150cm	6	D30	2762 (3407)	2581 (3226)	2771 (3416)	2573 (3218)
		D55/D60	2891 (3536)	2710 (3355)	2900 (3545)	2702 (3347)

( ) 内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合



■ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

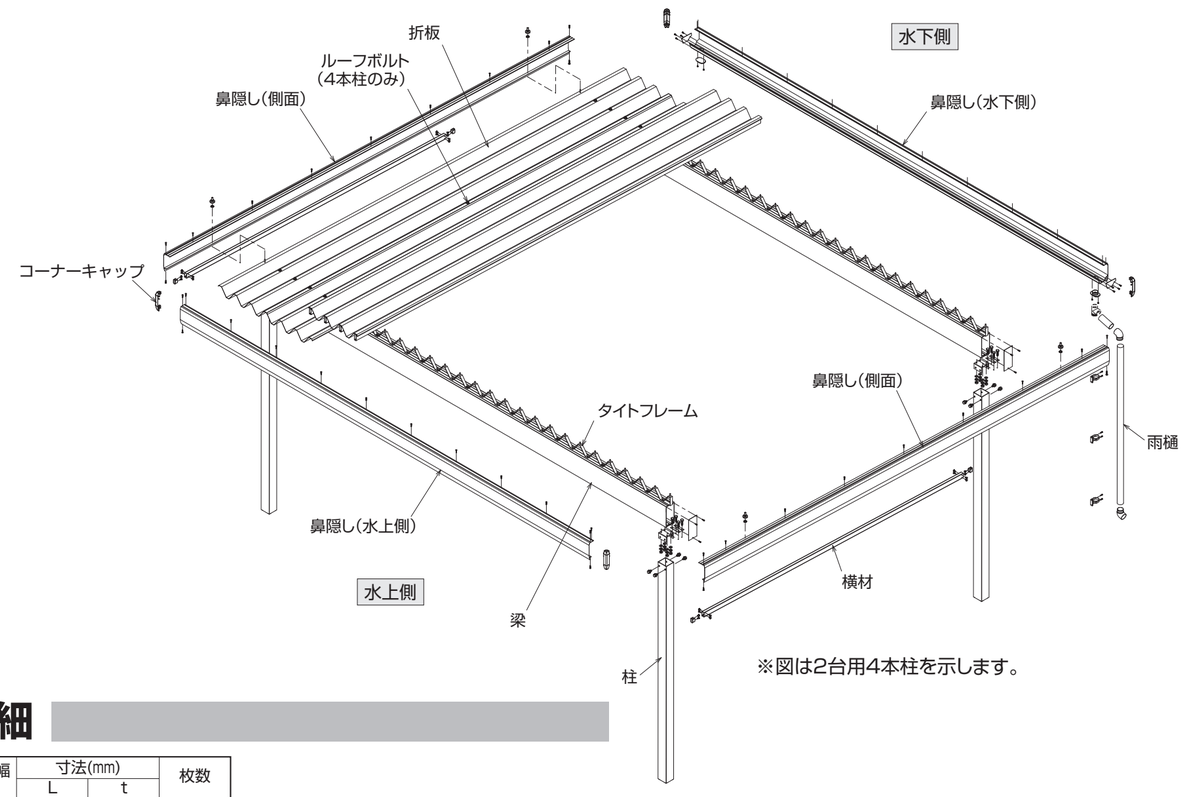




積雪量	柱本数	間口サイズ	L55 h1	L55 h2	L60 h1	L60 h2
50cm	4	D30	2729 (3374)	2548 (3193)	2742 (3387)	2544 (3189)
		D55/D60	2829 (3474)	2648 (3293)	2842 (3487)	2644 (3289)

( ) 内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合

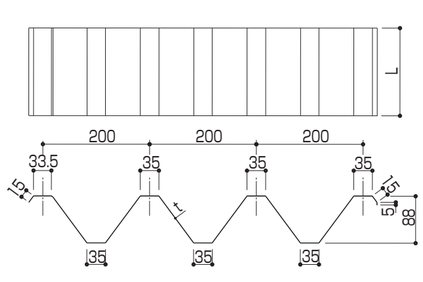
全体構成図



※図は2台用4本柱を示します。

折板詳細

呼称長さ L	呼称幅 D	寸法(mm) L	寸法(mm) t	枚数
55	30	5390	0.6	5
			0.8	5
	55		0.6	9
			0.8	9
	60		0.6	10
			0.8	10
60	30	5900	0.6	5
			0.8	5
	55		0.6	9
			0.8	9
	60		0.6	10
			0.8	10



組立・施工説明書 SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ 単体

1.組立・施工

1 柱の切断・加工

柱を切断する場合

❶各穴に入る柱を決めてください。
❷穴底からの埋込み深さを測定してください。

❸測定した埋込み寸法の誤差寸法と屋根勾配(右表参照)を考慮して、各柱の切断寸法を決めてください。

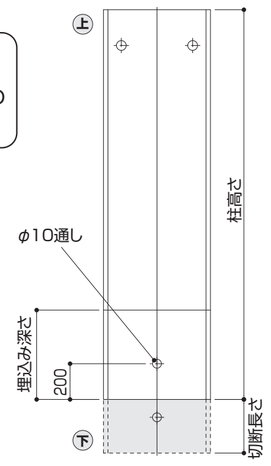
❹各柱の下端を切断してください。

ポイント
アンカー用の穴がある方が下側です。

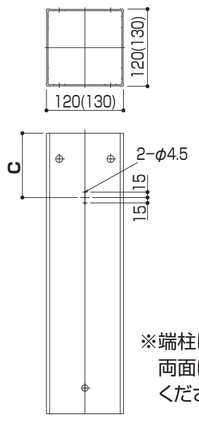
❺柱を切断し、アンカー用の穴を失った場合は、右図を参考に穴加工(φ10通し)を施してください。

ポイント
埋込み深さは、**SSポートGⅡ**の場合は**500㎜以上、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ**の場合は**550㎜以上を確保**してください。

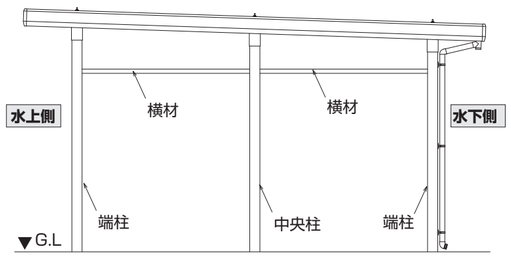
側面から見た柱本数	呼称長さ L	柱ピッチ	1ピッチあたりの柱の長さの差
2	55	3100	103
	60	3400	113
3	55/60	2100	70



横材を取付ける場合 表を参考に、横材取付位置に穴加工(φ4.5)を施してください。



※端柱は片面、中央柱は両面に穴加工を施してください。



■横材取付穴加工位置C

梁高さ 150の場合

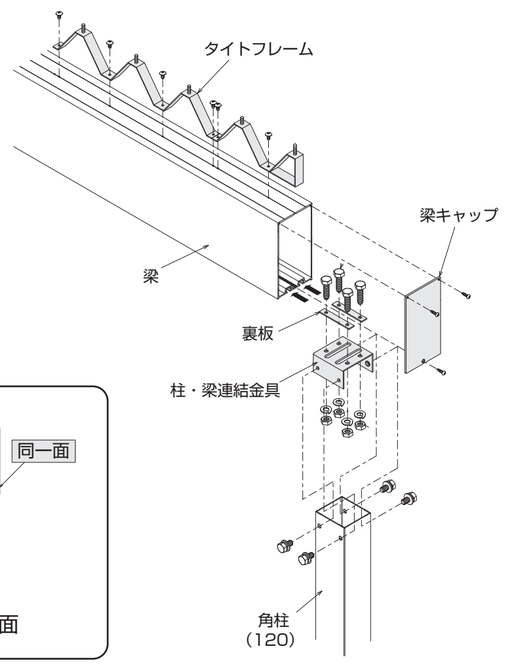
側面から見た柱本数	呼称長さ L	水上側		水下側
2	55	463		360
	60	473		360
3	55／60	500	430	360

梁高さ 250,280の場合

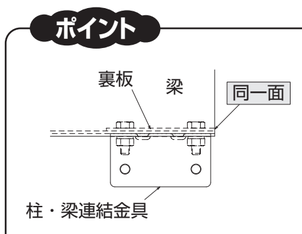
側面から見た柱本数	呼称長さ L	水上側		水下側
2	55	333		230
	60	343		230
3	55／60	370	300	230

2 梁・柱の取付

角柱(120角)の場合

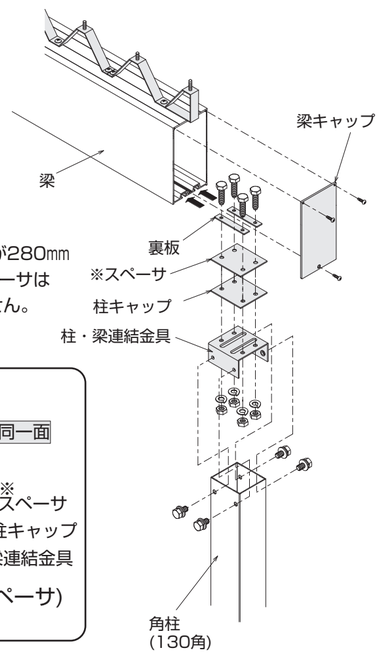


ポイント



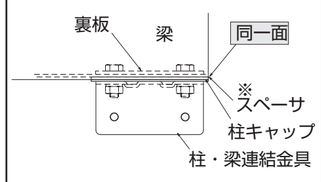
梁端部と裏板が同一面

角柱(130角)の場合



※梁の見付けが280㎜の場合、スペーサは必要ありません。

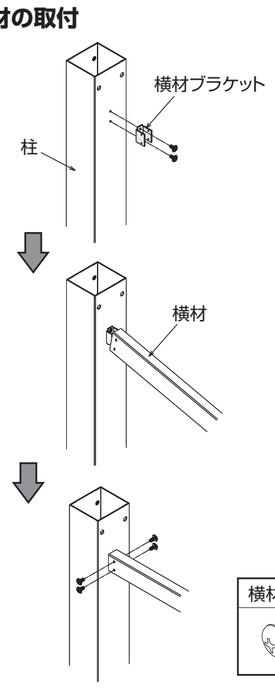
ポイント



梁端部と柱キャップ(スペーサ)が同一面

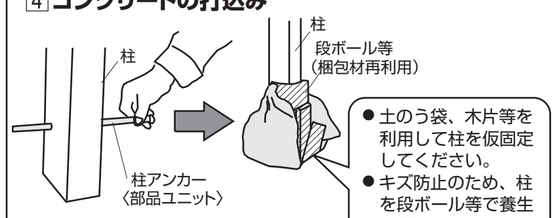
柱・梁連結金具取付用	
	六角ボルト (M10×30)
	スプリング ワッシャ
	六角ナット
梁キャップ取付用	
	なべドリルねじ (φ4×19)
タイトフレーム取付用	
	トラスタッピンねじ (φ5×10)
柱・梁連結用	
	座金組込六角ボルト (M10×20)

3 横材の取付



横材取付用	
	トラスタッピンねじ (φ5×10)

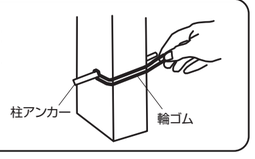
4 コンクリートの打込み



- 土のう袋、木片等を利用して柱を仮固定してください。
- キズ防止のため、柱を段ボール等で養生してください。

ポイント

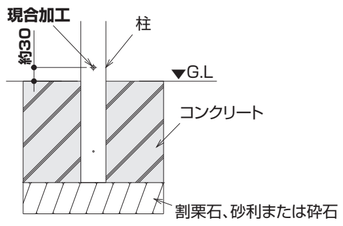
柱アンカーの脱落防止
例:輪ゴムを柱アンカーにひっかける



お願い

- 基礎コンクリートには、**塩素系の混和剤(急結剤等)や海砂を使用しない**でください。
  柱の腐食の原因となります。
- 凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。

φ6水抜き穴(片側) 現合加工



注 意
折板・鼻隠しの取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。

5 折板・鼻隠し(側面)の加工・取付

❶表を参考に折板と鼻隠し(側面)に穴加工(φ12)を施してください。

鼻隠し(側面)穴加工寸法

お願い

- 柱移動をした場合は、穴位置を移動した柱に合わせて加工してください。
- サビの原因になりますので、折板から切粉を取り除いてください。

■ 折板・鼻隠し(側面)の加工位置

呼称長さ L	折板長さ Lr	側面から見た柱本数		加工位置
55 [60]※1	5390 [5900]	2 ※2	折板	1144 [1249] / 3102 [3402] / 1144 [1249]
			鼻隠し	1144 [1249] / 3102 [3402] / 1144 [1249]
		3	折板	594 [849] / 2101 / 2101 / 594 [849]
			鼻隠し	594 [849] / 2101 / 2101 / 594 [849]

※1:[ ] 内寸法は、L60の場合
※2:側面から見た柱本数が2本の場合、折板同士が重なり合う長尺方向の中央部にルーフボルト取付用の穴加工(φ12)を施してください。

❷折板をのせ、鼻隠し(側面)を取付けてください。

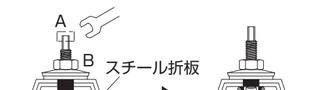
折板重なり部詳細

お願い
折板には向きがありますので確認してください。
逆向きに取付けると雨漏りの原因になります。

❸折板取付ナットで固定し、剣先キャップをたたき込んでください。

❹鼻隠し(側面)と折板をねじ止めしてください。

■4本柱



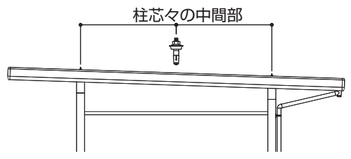
■6本柱

シーリング
鼻隠しねじ止め後、ねじ頭にシーリングを施してください。

チェック❷

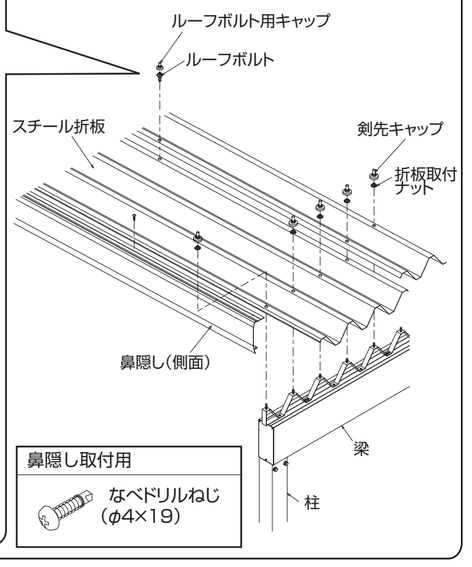
❺4本柱の場合は、ルーフボルトを取付けてください。

- **ルーフボルトの取付位置**
  折板同士が重なり合う柱芯々の中間部にルーフボルトを取付けてください。



- **ルーフボルトの取付方法**

A部をスパナ等で固定しながらBボルトを締め付けてください。

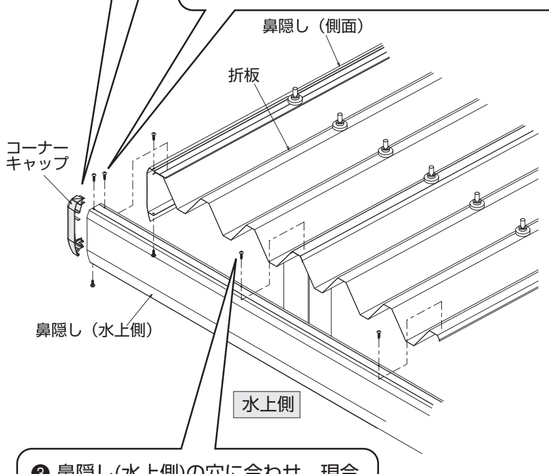


鼻隠し取付用	
	なべドリルねじ (φ4×19)

6 鼻隠し(水上側)の取付

❶ 鼻隠し(水上側)にコーナーキャップを取付けてください。

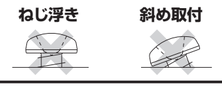
❷ 鼻隠し(水上側)を折板にかぶせ、鼻隠し(側面)となべドリルねじで連結してください。



❸ 鼻隠し(水上側)の穴に合わせ、現合で折板にねじ止めしてください。

止水板・鼻隠し・コーナーキャップ取付用	
	なべドリルねじ (φ4×19)

お願い
ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。



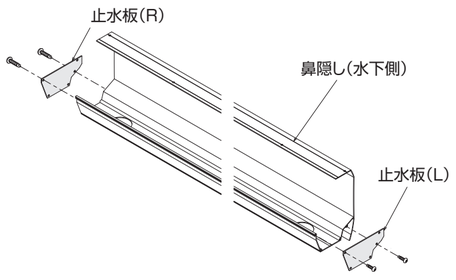
チェック❶

シーリング
ねじ止め後、ねじ頭にシーリング材を施してください。

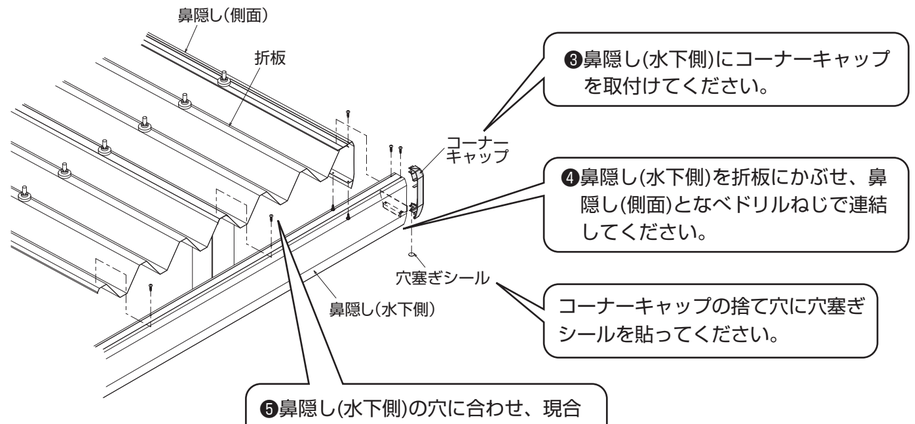
チェック❷

7 鼻隠し(水下側)の取付

❶ 鼻隠し端部に止水板を取付けてください。



❷コーナーキャップ連結材を取付けてください。



❸鼻隠し(水下側)にコーナーキャップを取付けてください。

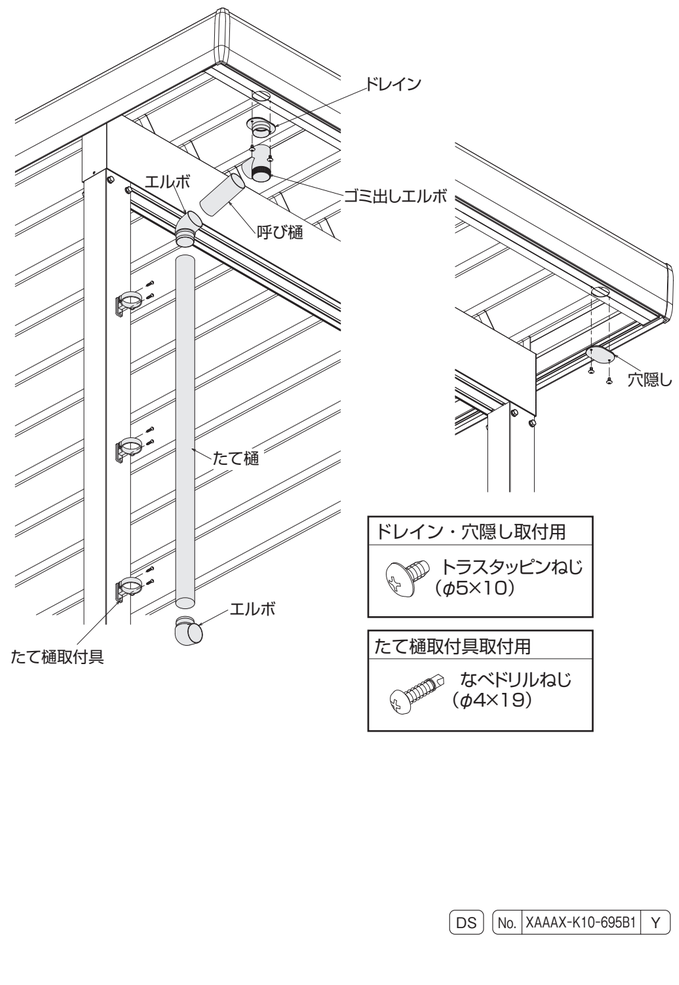
❹鼻隠し(水下側)を折板にかぶせ、鼻隠し(側面)となべドリルねじで連結してください。

コーナーキャップの捨て穴に穴塞ぎシールを貼ってください。

❺鼻隠し(水下側)の穴に合わせ、現合で折板にねじ止めしてください。

2.雨樋の取付

接着剤にて順次組立ててください。



ドレイン・穴隠し取付用	
	トラスタッピンねじ (φ5×10)

たて樋取付具取付用	
	なべドリルねじ (φ4×19)

組立・施工説明書

SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

サイドパネル

チェックシート

施工時、下記項目の確認をしてください。

	項　目	チェック欄
❶	柱にφ6の水抜き穴をあけましたか?	

本説明書は専門知識を有する組立・施工業者様向けの内容となっております。
商品の不具合や組立・施工作業には危険が伴いますので、組立・施工は専門知識を有する組立・施工業者様が行ってください。

本説明書は、「**SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ サイドパネル**」の組立・施工要領について説明しています。
SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ 本体の組立・施工要領については、商品に同梱包の組立・施工説明書を併用してご覧ください。

'11-2月 発行

目　次

■組立・施工の前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
■寸法図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
■全体構成図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
■組立・施工要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4〜9
■連棟する場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10・11
■梱包内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12・13

■組立・施工の前に

このたびは、本商品をご採用いただき誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…
取扱説明書を施主様にお渡しください。

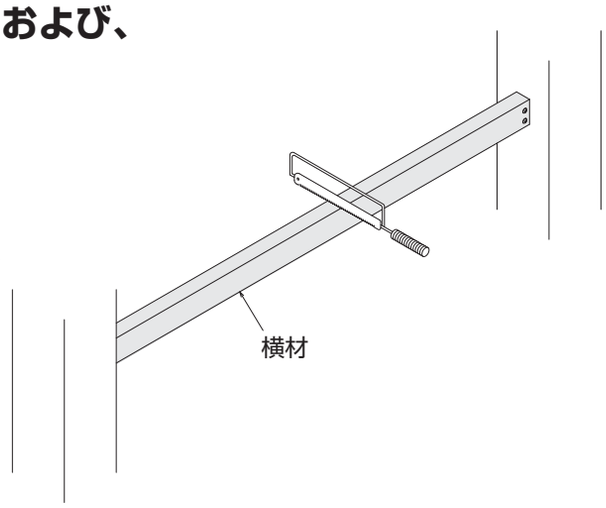
お願い

- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取付けないでください。
- みだりに改造や変更はしないでください。
- 基礎コンクリートには**塩素系の混和剤(急結剤等)や海砂を使用しない**でください。
  柱の腐食の原因となります。
- 凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。
- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
  締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因になります。
- パネル面に銀色フィルムを貼らないでください。
  太陽光線の反射により火災のおそれがあります。
- ユニットの組替え等により製作する場合は製作範囲を確認して製作してください。
  製作範囲を超えると事故（人損、物損）の原因になります。
- 商品の上に乗ったりはしごをかけないでください。
  商品の破損だけでなく落下事故の原因になります。

お願い

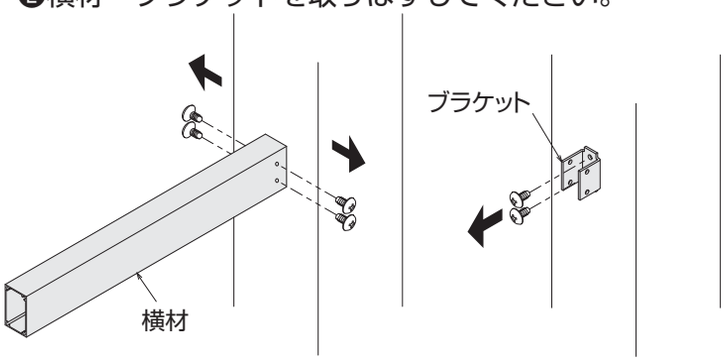
SSポートGII 積雪100cm(柱4本仕様)および、ゆき盛くんII、耐風くんII 横材付の場合

〈先付けの場合〉
間柱が取付く側に横材は取付けできません。
〈後付けの場合〉
横材付きは、間柱に横材が干渉するため横材を下図の要領で取りはずしてください。

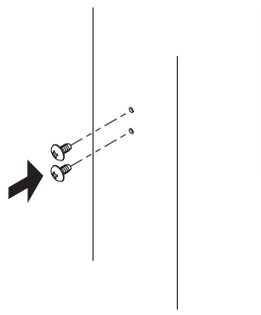


❶金のこ・ディスクグラインダー等で横材の中間部分を切断してください。

❷横材・ブラケットを取りはずしてください。



❸ブラケット取付用の穴に再度ねじを取付けてください。



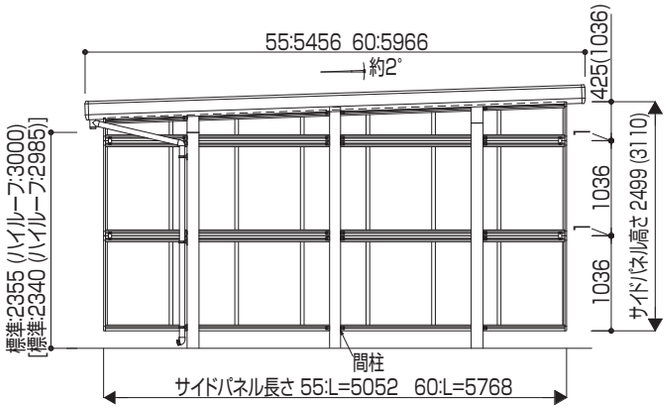
2 寸法図

■寸法図（単位：mm）

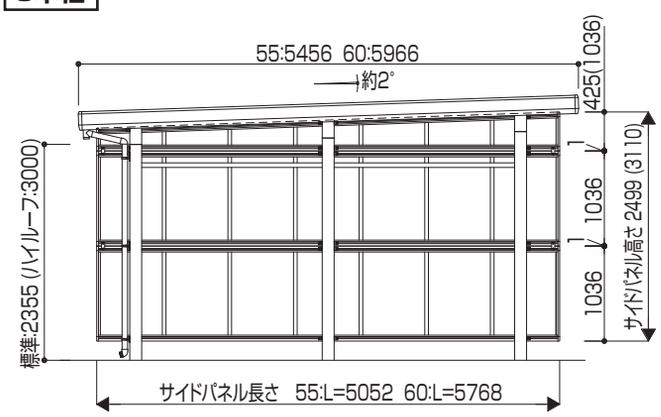
＜台形パネル付＞

図は3段の場合を示しています。

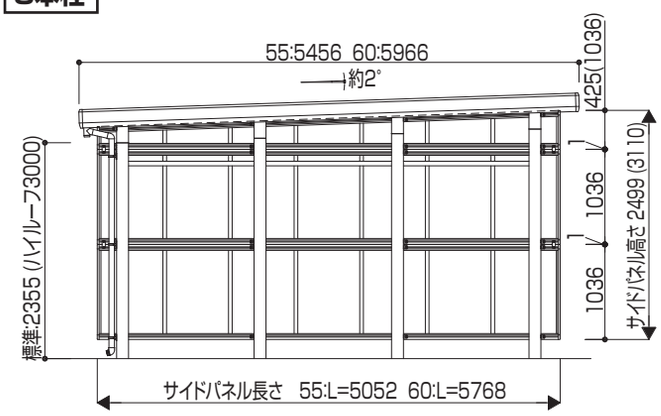
4本柱



6本柱



8本柱

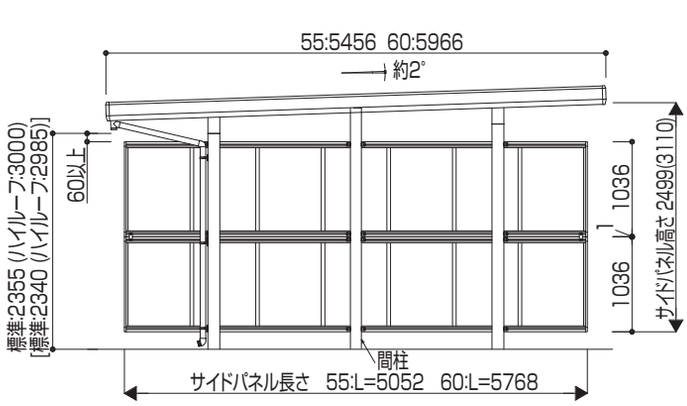


( ) 内寸法は、3段の場合
[ ] 内寸法は、**ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ**の場合

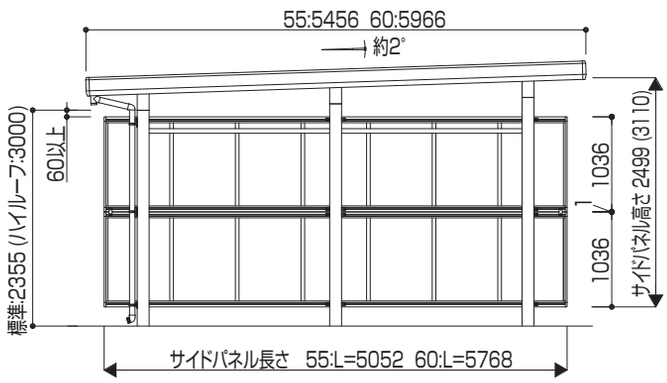
＜台形パネルなし＞

図は2段の場合を示しています。

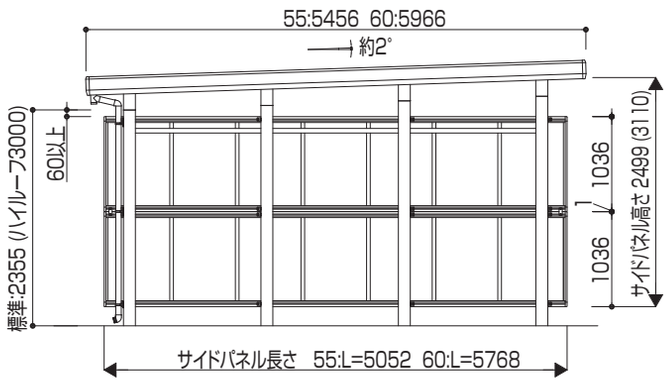
4本柱



6本柱

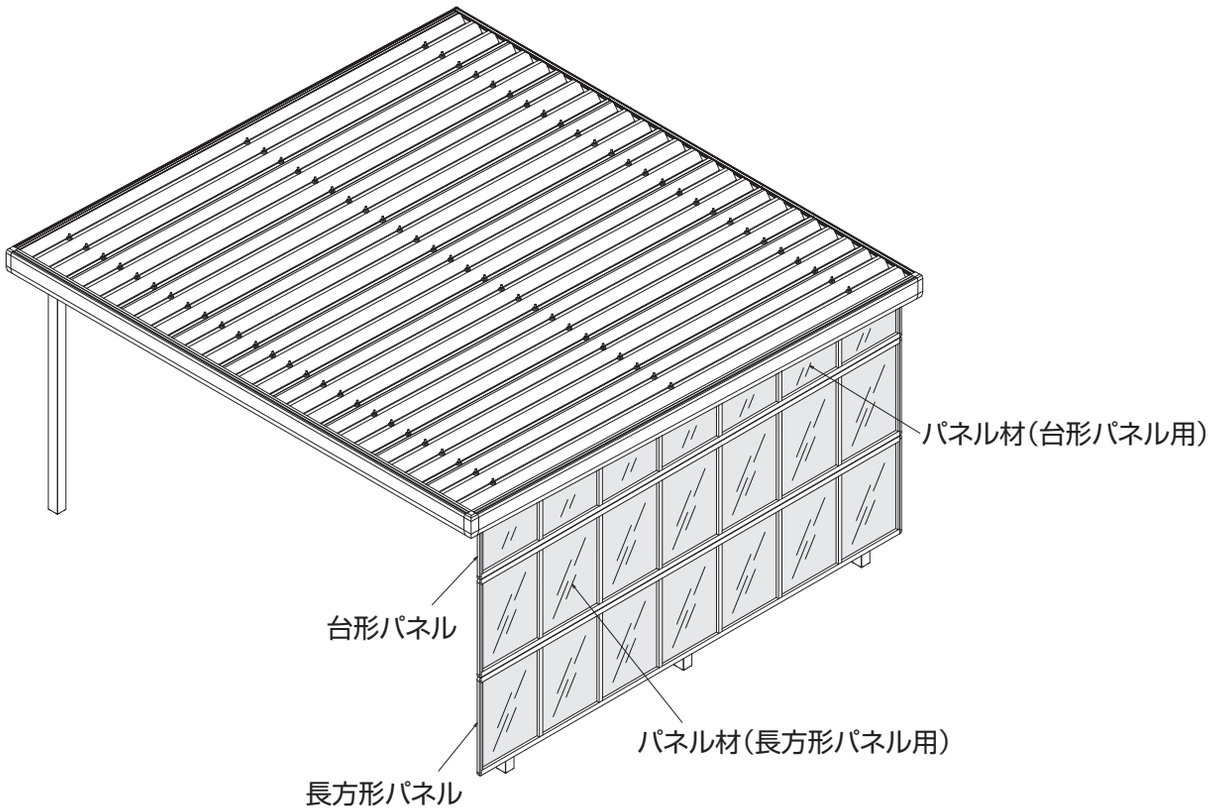


8本柱



( ) 内寸法は、3段の場合
[ ] 内寸法は、**ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ**の場合

■全体構成図

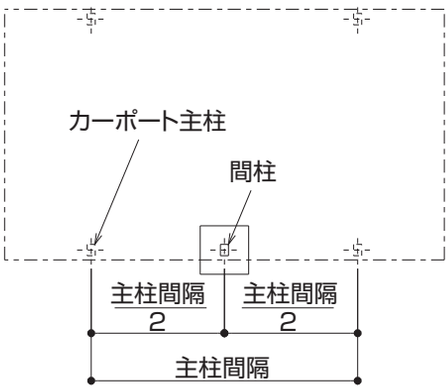


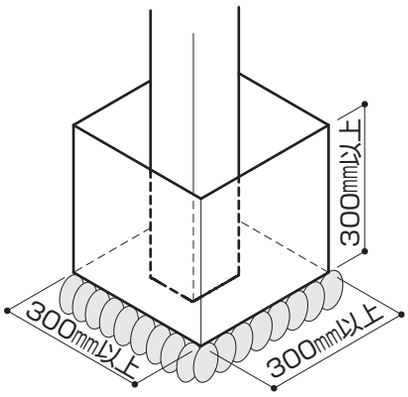
■組立・施工要領

1.基礎の施工

ポイント

間柱の移動はできません。



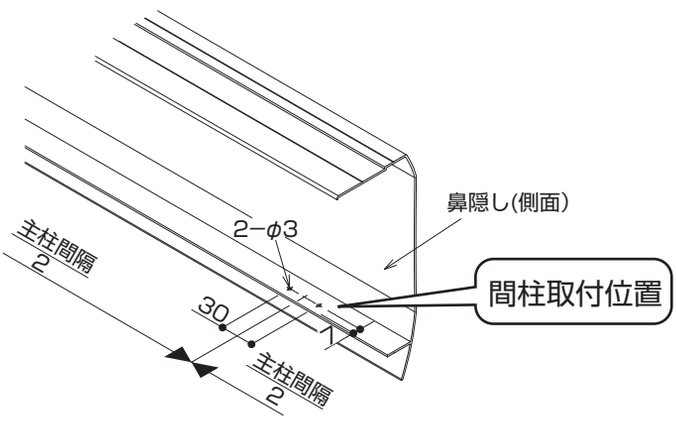


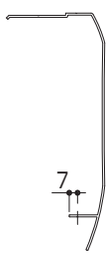
お願い

割栗石、砂利または砕石を
敷き均し、突固めてください。

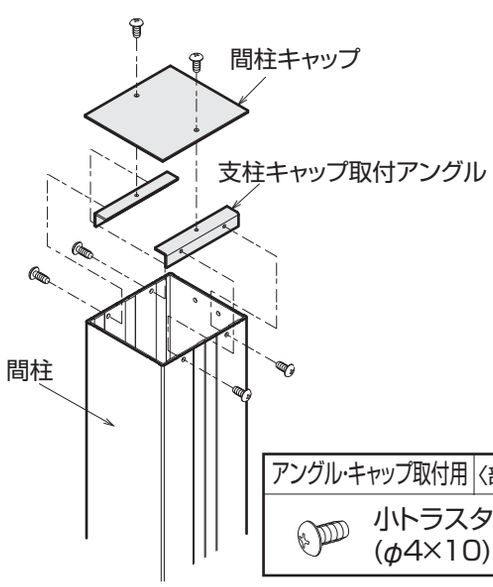
2.間柱の取付

❶鼻隠し(側面)に穴加工をしてください。



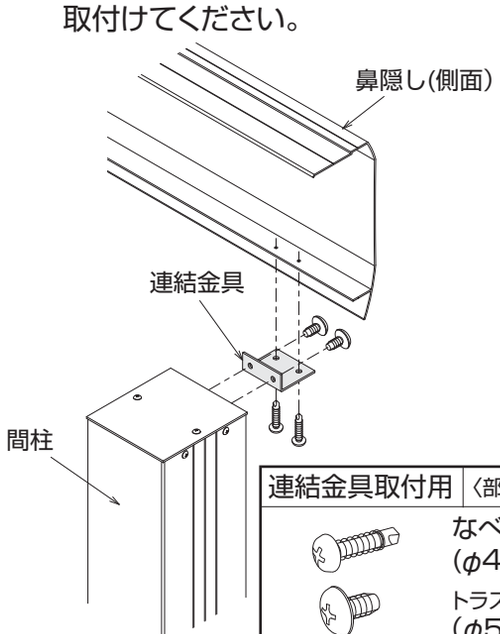


❷間柱に支柱キャップ取付アングルと間柱キャップを取付けてください。



アングル・キャップ取付用	〈部品ユニット〉
	小トラスタッピンねじ (φ4×10)

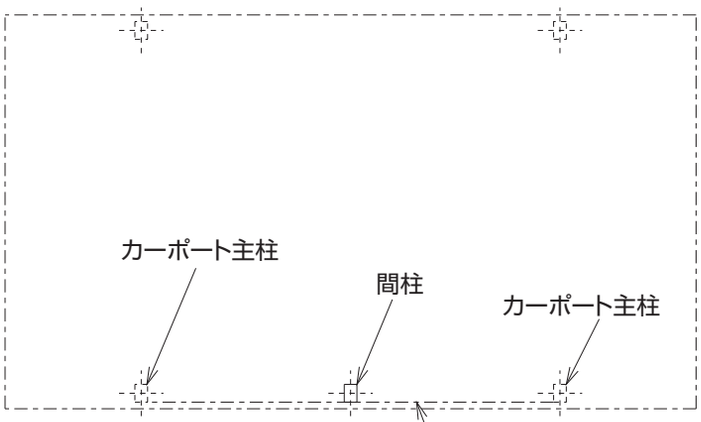
❸間柱に連結金具を取付け、鼻隠し(側面)を取付けてください。

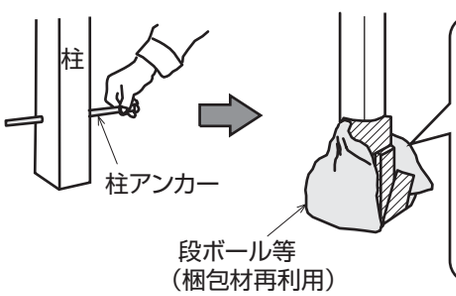


連結金具取付用	〈部品ユニット〉
	なべドリルねじ (φ4×19)
	トラスタッピンねじ (φ5×10)

3.基礎コンクリートの打込み

間柱の外面とカーポート主柱の外面が **同一面** になるよう固定してください。



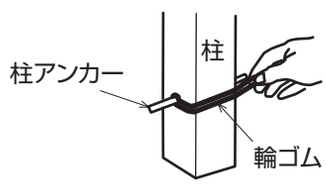


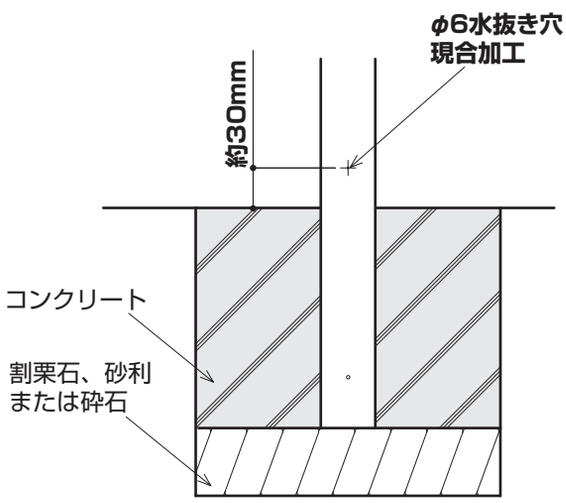
- 土のう袋、木片等を利用して柱を仮固定してください。
- キズ防止のため、柱を段ボール等で養生してください。

ポイント

柱アンカーの脱落防止

例:輪ゴムを柱アンカーにひっかける



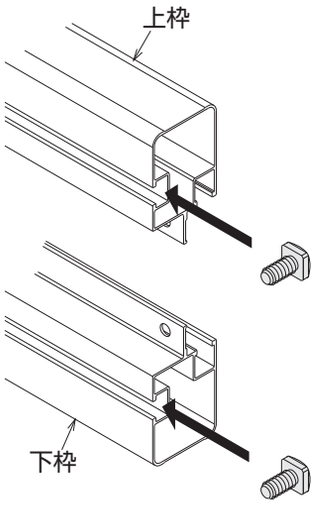


お願い

- 基礎コンクリートには塩素系の混和剤(急結剤等)や海砂を使用しないでください。柱の腐食の原因となります。
- 凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。

4.枠の取付

❶四角ボルトを上枠・下枠に、指定数挿入してください。



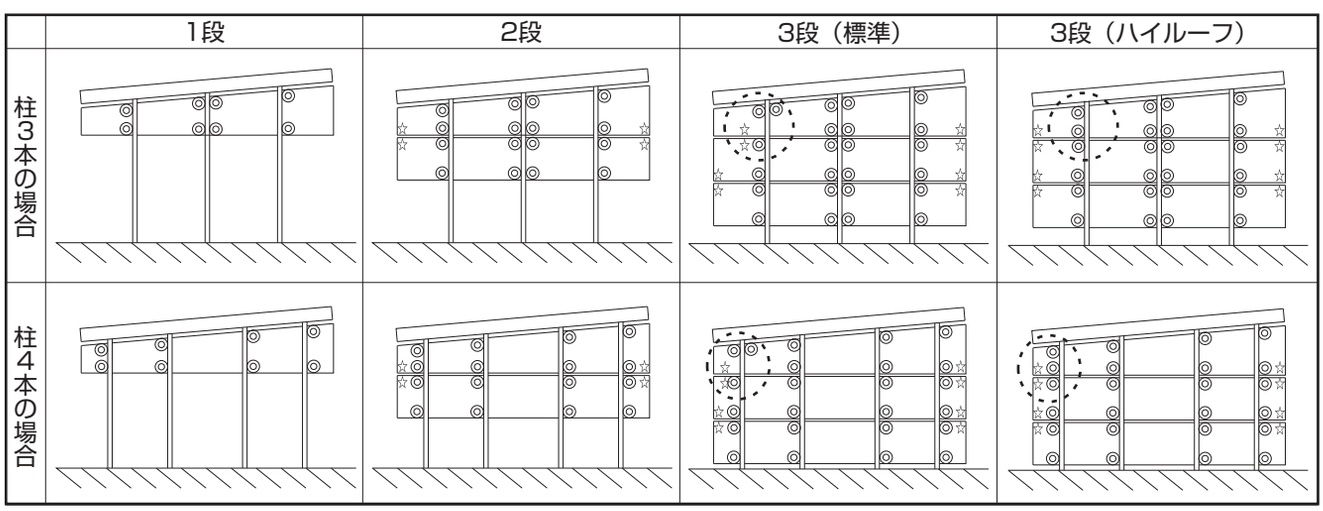
注　意

カーポート本体の左右どちらの側面に
サイドパネルを取付けるかにより
台形枠にも、左右があります。

枠取付用・金具取付用	〈部品ユニット〉
	四角ボルト （M8×16）

枠取付金具・すき間隠し金具・段窓金具の取付位置は、柱本数等により異なります。
下図を参照し、あらかじめ四角ボルトを移動しておいてください。

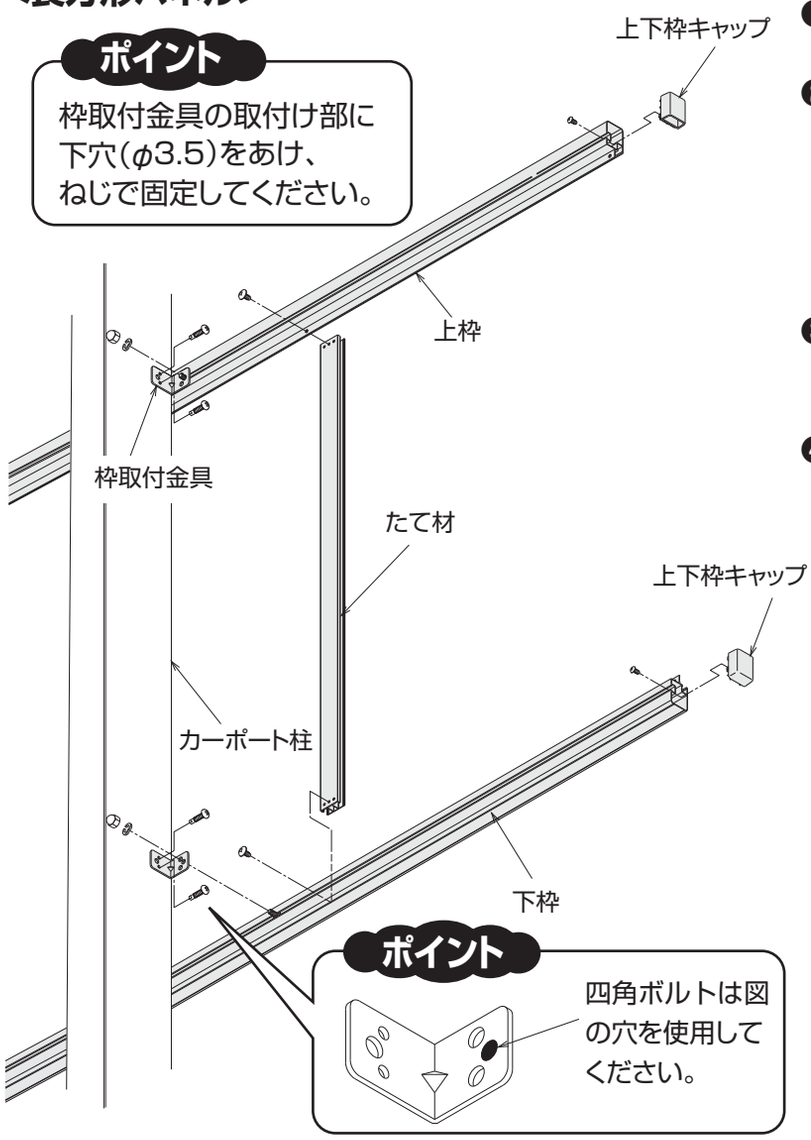
＜四角ボルト取付位置＞ ◎：枠取付金具用　☆：段窓金具用



注　意

3段の場合、標準とハイルーフで（　）部の枠取付金具の
取付位置が異なるので注意してください。

<長方形パネル>



ポイント

枠取付金具の取付け部に
下穴(φ3.5)をあけ、
ねじで固定してください。

ポイント

四角ボルトは図
の穴を使用して
ください。

❶上枠を柱に取付けてください。

❷たて材を2本上枠に取付けてください。

ポイント

たて材は両端の柱の近くに付けて
ください。

❸下枠をたて材に取付け、取付金具で柱に
固定してください。

❹上下枠キャップを上下枠に取付けて
ください。

ポイント

たて連棟する場合は、連棟側に
キャップを取付けないでください。

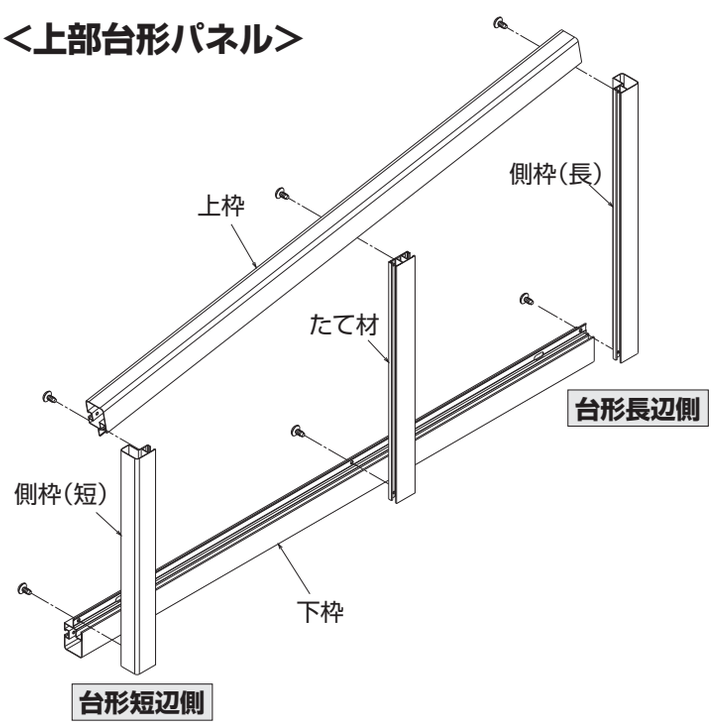
たて材・側枠取付用	〈枠ユニット〉
	トラスタッピンねじ (φ5×10)

キャップ取付用	〈枠ユニット〉
	小トラスタッピンねじ (φ4×10)

枠取付金具取付用	〈枠取付部品ユニット〉
	なべドリルねじ (φ5×19)

上下枠取付用	〈枠取付部品ユニット〉
	六角袋ナット (M8)
	波形スプリングワッシャ (M8用)

<上部台形パネル>



❶上下枠と側枠を組立ててください。

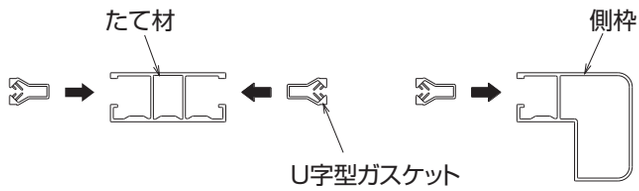
❷中央付近のたて材を上下枠に仮止めして
ください。
たて材はすべて長さが異なりますので
ご注意ください。

たて材・側枠取付用	〈上部台形枠ユニット〉
	トラスタッピンねじ (φ5×10)

5.パネル材の取付

＜長方形パネル＞

❶U字型ガスケットをたて材・側枠に取付けてください。



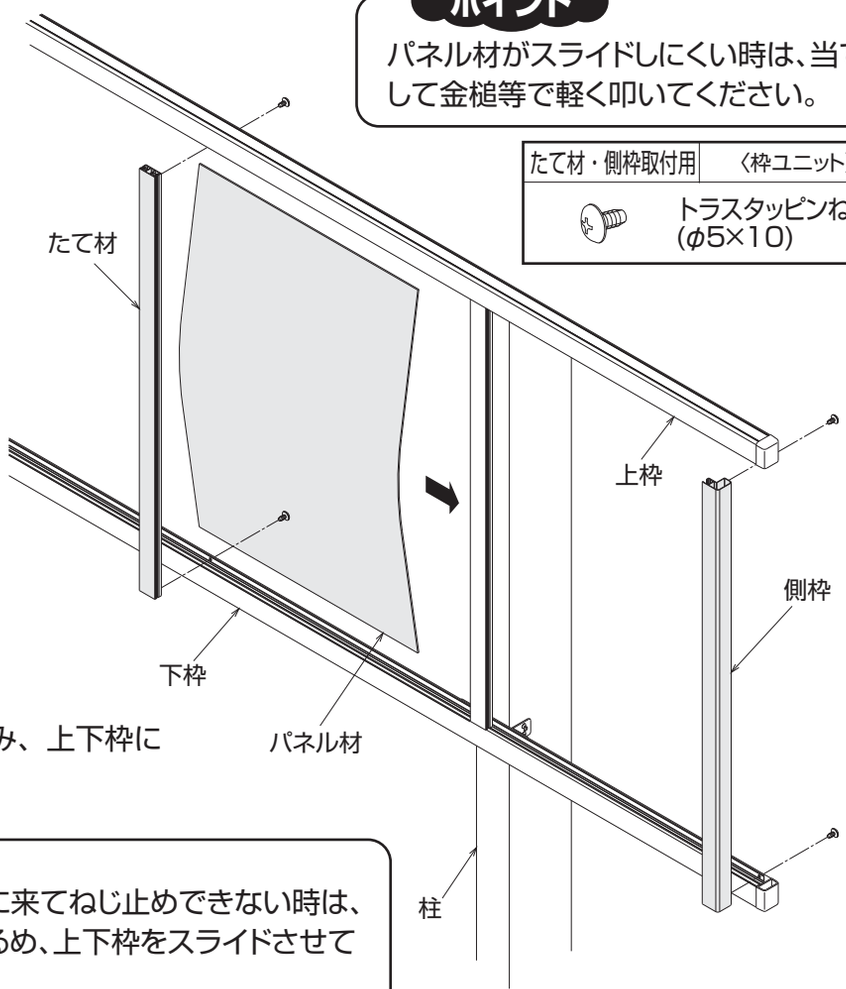
❷パネル材を上枠・下枠の溝に差込んでください。

❸パネル材をスライドさせ、U字型ガスケットの溝に差込んでください。

ポイント

パネル材がスライドしにくい時は、当て板をして金槌等で軽く叩いてください。

たて材・側枠取付用	〈枠ユニット〉
	トラスタッピンねじ (φ5×10)



❹たて材をパネル材に差込み、上下枠にねじ止めしてください。

ポイント

たて材が柱と同じ位置に来てねじ止めできない時は、上下枠取付ボルトをゆるめ、上下枠をスライドさせてねじ止めしてください。

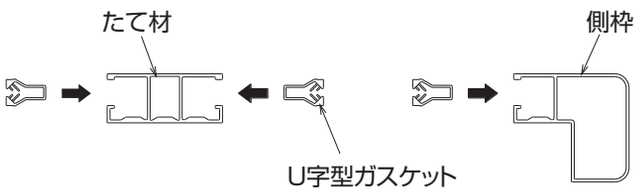
❺以上の作業を繰り返し、全てのパネル材を取付けてください。
サイドパネルの両端はたて材のかわりに側枠を取付けてください。

ポイント

最初に取付いていたたて材の横にパネル材を取付ける時は、たて材をいったんはずしてください。

＜上部台形パネル＞

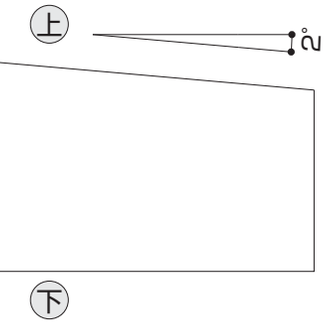
❶U字型ガスケットをたて材・側枠に取付けてください。

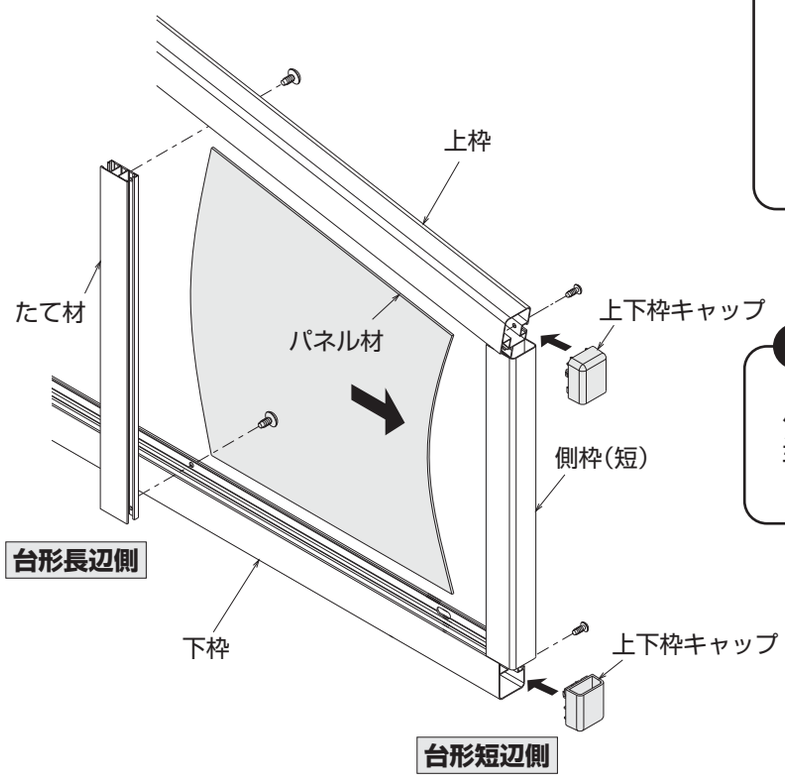


❷パネル材を上枠・下枠の溝に差込んでください。
❸パネル材をスライドさせ、U字型ガスケットの溝に差込んでください。

ポイント

台形パネル材の角度がついている側が上になるようにパネル材を差込んでください。





ポイント

パネル材がスライドしにくい時は、当て板をして金づち等で軽く叩いてください。

たて材取付用	〈枠ユニット〉
	トラスタッピンねじ (φ5×10)

キャップ取付用	〈枠ユニット〉
	小トラスタッピンねじ (φ4×10)

❹たて材をパネル材に差込み、上下枠にねじ止めしてください。

ポイント

仮止めしたたて材の横にパネル材を取付ける時は、たて材を一旦はずしてください。

❺❷～❹の作業を繰り返し、全てのパネル材を取付けてください。

❻上下枠キャップを上下枠に取付けてください。

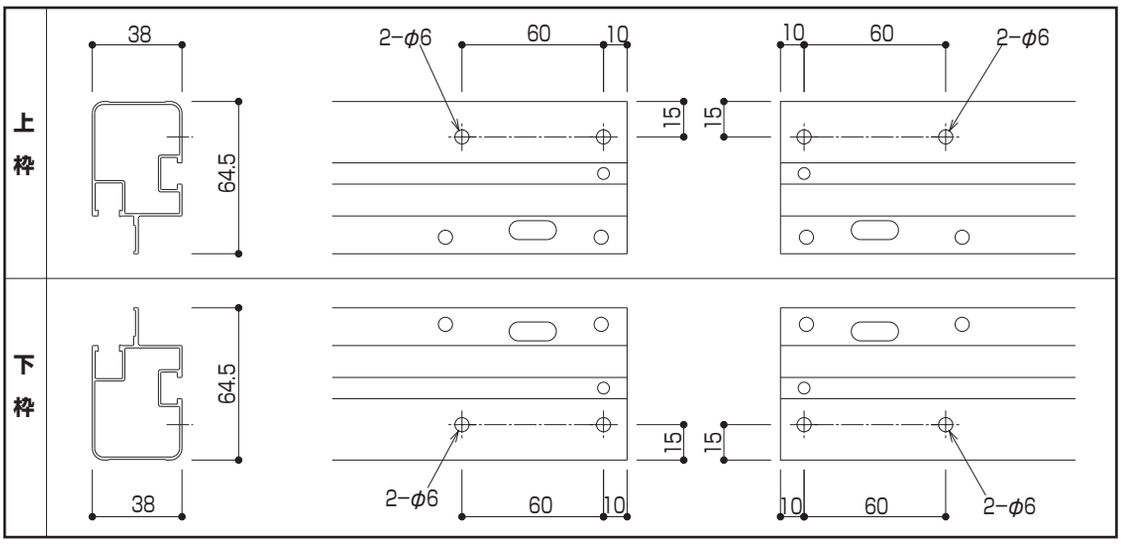
ポイント

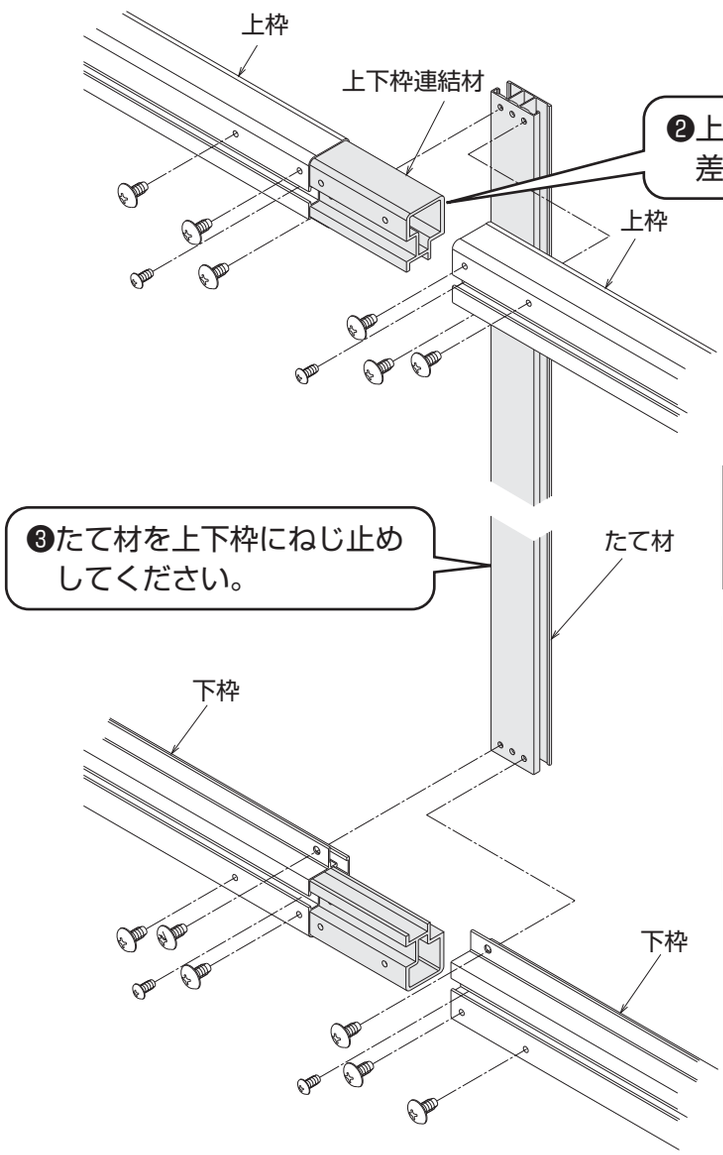
上部台形パネルを組立てる場合、上下枠キャップは最後に取付けてください。

■連棟する場合

1.連棟部の組立

❶下図を参考に、上下枠の連棟側にφ6の穴をあけてください。





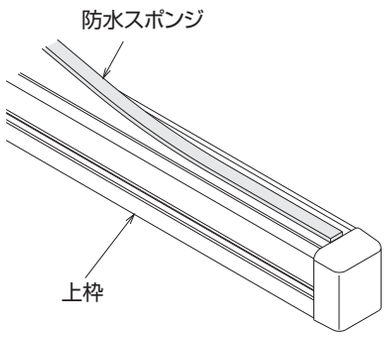
たて枠取付用	〈連結用枠ユニット〉
	トラスタッピンねじ (φ5×10)

上下枠連結材取付用	〈連結用枠ユニット〉
	トラスタッピンねじ (φ5×10)

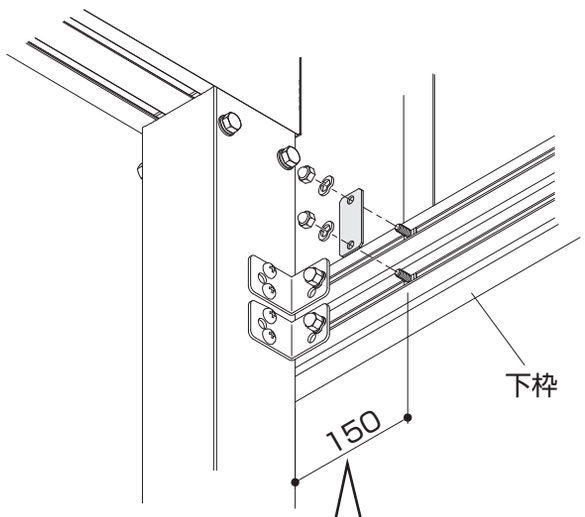
キャップ取付穴塞ぎ用	〈連結用枠ユニット〉
	小トラスタッピンねじ (φ4×10)

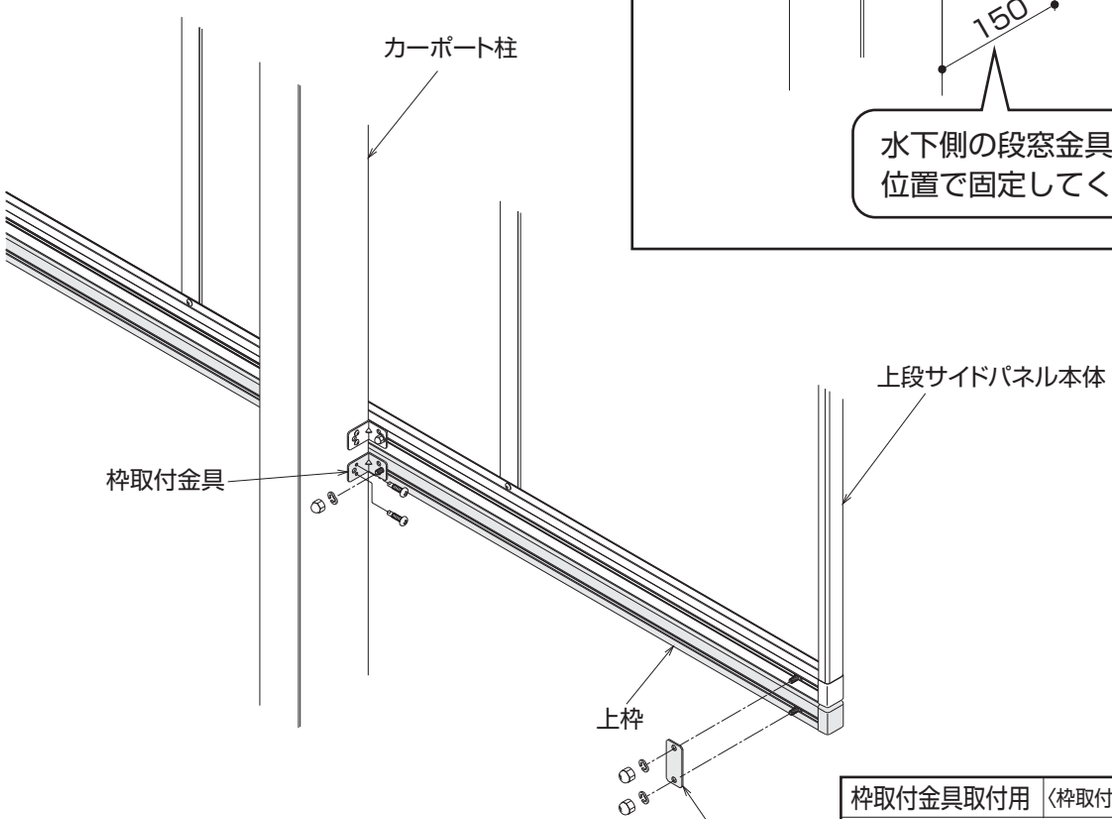
2.2･3段タイプの組立

❶下段上枠に防水スポンジを貼付けてください。



＜3段(標準)の場合＞





❷上枠を上段の下枠に押し当て、枠取付金具･段窓金具で固定してください。

ポイント

段窓金具の位置は、四角ボルト取付位置の図を参照してください。

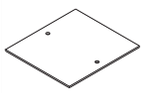
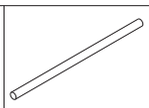
枠取付金具取付用	〈枠取付部品ユニット〉
	なべドリルねじ (φ5×19)

上下枠取付用	〈枠取付部品ユニット〉
	波形スプリングワッシャ (M8用)
	六角袋ナット (M8)

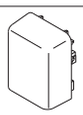
❸3段タイプの場合は、以上の作業を繰返してください。

■梱包内容

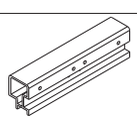
■間柱ユニット　7SP-(DS)F###

	部材	部品						
姿　図	―――							
部材･部品名	間柱	間柱キャップ	支柱キャップ取付アングル	柱アンカー	連結金具	なべドリルねじ(φ4×19)	小トラスタッピンねじ(φ4×10)	トラスタッピンねじ(φ5×10)
品　番	－	**5K-11244**	**3K-18942**	**K-11711**	**5K-10042**	**K-13526**	**EM-4010**	**ET-5010**
個　数	1	1	2	1	1	2	6	2
備　考						連結金具取付用(鼻隠し側)	アングル･キャップ取付用	連結金具取付用(柱側)

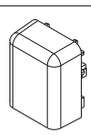
■枠ユニット　1SP-(DS)A####

	部材			部品			
姿　図	－	－	－				
部材・部品名	上下枠	たて材	側枠	U字型ガスケット	上下枠キャップ	小トラスタッピンねじ(φ4×10)	トラスタッピンねじ(φ5×10)
品　番	－	－	－	**2K-25495**	**2K-33016**	**EM-4010**	**ET-5010**
備　考						キャップ取付用	たて材･側枠取付用
1SP-(DA)A5110	2	6	2	14	4	4	16
1SP-(DA)A5710	2	7	2	16	4	4	18

■連棟用枠ユニット　1SP-(DS)AJ####

	部材		部品				
姿　図	－	－					
部材・部品名	上下枠	たて材	上下枠連結材	U字型ガスケット	小トラスタッピンねじ(φ4×10)	トラスタッピンねじ(φ5×10)	トラスタッピンねじ(φ5×10)
品　番	－	－	**4K-13960**	**2K-25495**	**EM-4010**	**ET-5010**	**ET-5010**
備　考					キャップ取付穴塞ぎ用	上下枠連結材取付用	たて材取付用
1SP-(DA)AJ5110	2	7	2	14	4	8	16
1SP-(DA)AJ5710	2	8	2	16	4	8	18

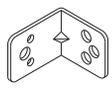
■上部台形枠ユニット　7SP-(DS)A####N

	部材	部品			
姿　図					－
品　名	U字型ガスケット	上下枠キャップ	小トラスタッピンねじ(φ4×10)	トラスタッピンねじ(φ5×10)	組立･施工説明書
品　番	**2K-25495**	**2K-33016**	**EM-4010**	**ET-5010**	－
7SP-(DS)A5104N	14	4	4	16	1
7SP-(DS)A5704N	16	4	4	18	1
7SP-(DS)A5110N	14	4	4	16	1
7SP-(DS)A5710N	16	4	4	18	1
備　考			キャップ取付用	たて材・側枠取付用	

■U字型ガスケット

切断寸法ℓ	937	912	887	862	837	812	787	762	737	326	301	276	251	226	201	176	151	126
7SP-(DS)A5104N	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	2	2	2	2	2	2	1	－
7SP-(DS)A5704N	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	2	2	2	2	2	2	2	1
7SP-(DS)A5110N	1	2	2	2	2	2	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
7SP-(DS)A5710N	1	2	2	2	2	2	2	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－

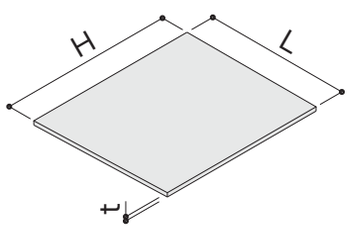
■枠取付部品ユニット　1SP-(DS)B#N

姿　図						
部材・部品名	枠取付金具	段窓金具	防水スポンジ	なべドリルねじ (φ5×19)	四角ボルト (M8×16)	六角袋ナット (M8)
品　番	**3K-10927**	**4K-13961**	**K-26704**	**3K-16449**	**2K-16972**	**FN-M08**
備　考			L=5800	枠取付金具取付用	上下枠取付用	上下枠取付用
1SP-(DS)B1N	8	−	−	16	8	8
1SP-(DS)B2N	16	2	1	32	16	16
1SP-(DS)B3N	24	4	2	48	24	24

姿　図					——
部材・部品名	波形スプリングワッシャ (M8用)	四角ボルト (M8×16)	六角袋ナット (M8)	波形スプリングワッシャ (M8用)	組立・施工説明書
品　番	**2K-16324**	**2K-16972**	**FN-M08**	**2K-16324**	—
備　考	上下枠取付用	段窓金具取付用	段窓金具取付用	段窓金具取付用	
1SP-(DS)B1N	8	−	−	−	1
1SP-(DS)B2N	16	4	4	4	1
1SP-(DS)B3N	24	8	8	8	1

■パネル材ユニット一覧

材質・ポリカーボネート板(一般グレード)



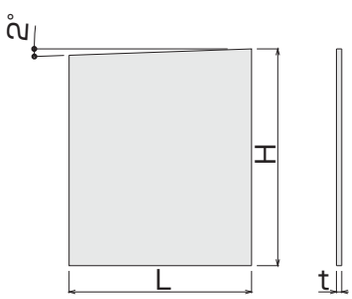
ユニット記号	寸法H×L×t	枚数
ACS-(DS)RH2-10-7*#	963×700×2	7
ACS-(DS)RH2-10-8*#	963×700×2	8

屋根材種類	色	記号
一般ポリカ	アースブルー	2A

■パネル材(上部台形枠用)

ユニット一覧

材質・ポリカーボネート板(一般グレード)



ユニット記号	寸法H×L×t	枚数	合計枚数
7SP-(DS)F5104-*#	351×700×2	1	7
	326×700×2	1	
	301×700×2	1	
	276×700×2	1	
	251×700×2	1	
	226×700×2	1	
	201×700×2	1	
7SP-(DS)F5704-*#	351×700×2	1	8
	326×700×2	1	
	301×700×2	1	
	276×700×2	1	
	251×700×2	1	
	226×700×2	1	
	201×700×2	1	
	176×700×2	1	
7SP-(DS)F5110-*#	962×700×2	1	7
	937×700×2	1	
	912×700×2	1	
	887×700×2	1	
	862×700×2	1	
	837×700×2	1	
	812×700×2	1	
7SP-(DS)F5710-*#	962×700×2	1	8
	937×700×2	1	
	912×700×2	1	
	887×700×2	1	
	862×700×2	1	
	837×700×2	1	
	812×700×2	1	
	787×700×2	1	

組立・施工説明書 SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ たて連棟

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…
取扱説明書を施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する組立・施工業者様向けの内容となっております。
商品の不具合や組立・施工作業には危険が伴いますので、組立・施工は専門知識を有する組立・施工業者様が行ってください。

チェックシート

組立・取付時、下記項目の確認をしてください。

	項　目	チェック欄
❶	ねじは確実に締めましたか?	
❷	ねじ頭にシーリングをしましたか？	

注意

- 商品をご確認のうえ、梁に貼付けのPLラベルに示す積雪量になる前に、必ず雪おろしを行うことを施主様にご説明ください。
- カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。商品に倒壊のおそれがあります。
- 屋根ふき材(折板)の取付は、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。

お願い

- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。締め付け不良は事故の原因になります。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には取付けないでください。
- ユニットの組替え等により製作する場合は、製作範囲を確認して製作してください。製作範囲を超えると事故(人損・物損)の原因になります。
- 基礎のコンクリートには**塩素系の混和剤(急結剤等)や海砂を使用しない**でください。柱の腐食の原因になります。

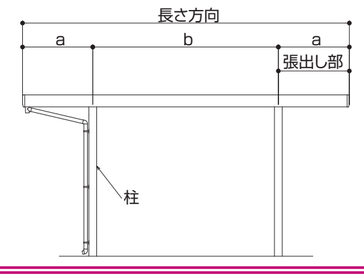
シーリングは必ず実施してください!

- 「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。シーリングがされないと、**漏水の原因**となります。
- ポリカーボネート板へのシーリングは、ひび割れ防止のためと樹脂との接着性が良い脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。（別途手配品）

本説明書は、「**SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡたて連棟**」の組立・施工について説明しています。
SSポートGⅡ・ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ 本体の組立・施工要領については、商品に同梱包の組立・施工説明書を併用してご覧ください。

注　意

長さ方向張出し部のみ切詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪時や暴風時に商品が破損するおそれがあります。切詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。



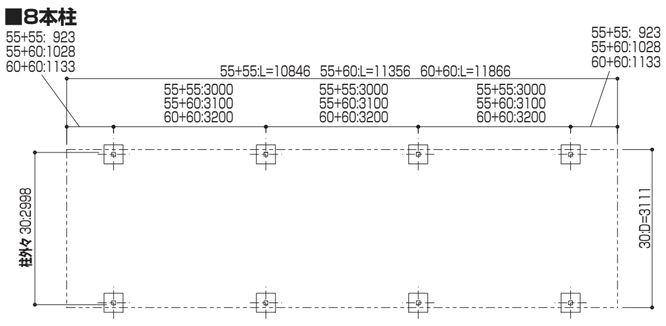
基礎について

柱の位置決め

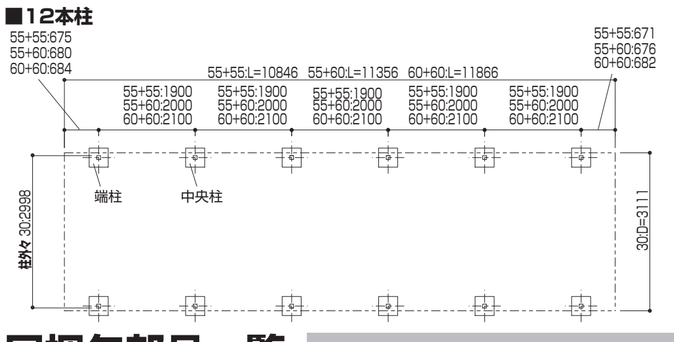
お願い
柱位置を決める際、家屋の屋根、軒等に、カーポートが干渉しないように考慮してください。

サイズにより柱角寸法が異なるため、本寸法図は、**柱外々**での寸法を示しています。

■8本柱

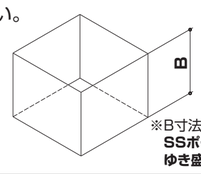


■12本柱



基礎寸法

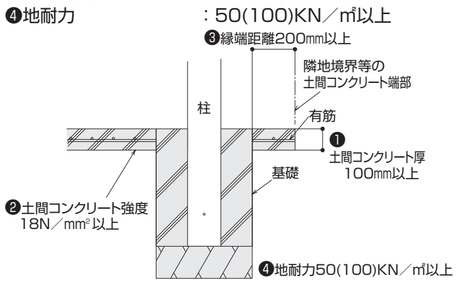
- 基礎寸法は、右表を基に積雪量、柱高さ、本体サイズおよび地耐力に従ってください。
- 基礎は、①独立基礎と②土間コンクリート考慮基礎の2種類があります。
  ②の場合は、『土間コンクリート考慮の基礎条件』を満たしていることを確認してください。
- 寒冷地で凍上するおそれがある場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。



※B寸法
SSポートGⅡ：500㎜以上
ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ：550㎜以上

土間コンクリート考慮の基礎条件

❶土間コンクリート厚　:100㎜以上、有筋
❷土間コンクリート強度:18N／㎟以上
❸縁端距離　　:200㎜以上
❹地耐力　　:50(100)KN／㎡以上



■SSポートGⅡ

積雪量	柱高さ H[mm]	呼称長さ L	柱本数	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル無 中央柱	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル無 端柱	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル有 中央柱	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル有 端柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：50KN/㎡ ― 中央柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：50KN/㎡ ― 端柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：100KN/㎡ サイドパネル無 中央柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：100KN/㎡ サイドパネル無 端柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：100KN/㎡ サイドパネル有 中央柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：100KN/㎡ サイドパネル有 端柱
100cm	2355 (3000) ※1	55+55	8	510		620 (760)		510		390		420 (510)	
		55+60											
		60+60		540		660(800)		540		390		460(540)	
150cm	2355 (3000)	55+55	12	540	520	540 (640)	520 (630)	540	520	390	390	390 (440)	390 (430)
		55+60											
		60+60											

■ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

積雪量	柱高さ H [mm]	呼称長さ L	柱本数	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル無	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル有	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：50KN/㎡ ―	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：100KN/㎡ サイドパネル無	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：100KN/㎡ サイドパネル有
50cm	2305 (2950)	55+55	8	440	570 (700)	440	390	390 (440)
		55+60						
		60+60		460	610(740)	460	390	390(460)

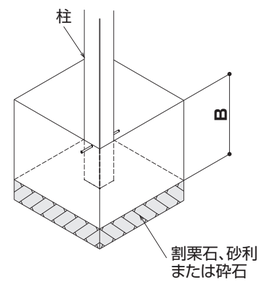
※1：(　)内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合
※2：②土間コンクリート考慮基礎(50KN／㎡)の場合、サイドパネルの有無による基礎の大きさに違いはありません。

基礎部の施工

❶「**基礎について・寸法図**」を参考に柱埋込み位置を決めてください。
❷**基礎寸法**を参考に穴を掘ってください。
❸割栗石、砂利または砕石を敷き詰め必ず突き固めてください。

柱を切断しない場合

❹水勾配を付けるため、下表を参考に各穴の深さを調整してください。



柱を切断しない場合の埋込み深さB

■SSポートGⅡ

側面から見た柱本数	呼称長さ L	水上側				水下側
4	55+55	500		550	600	650
	55+60					
	60+60					
6	55+55	500	530	560	590	620	650
	55+60					
	60+60					

■ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

側面から見た柱本数	呼称長さ L	水上側			水下側
4	55+55	550	600	650	700
	55+60				
	60+60				

同梱包部品一覧

■柱　GCD-(DS)A24#

品名	柱
品番	―
個数	2

■梁　GCD-(DS)B30A#

品名	梁
品番	―
個数	1

■ルーフボルト　GCD-(DS)R1

品名	ルーフボルト	ルーフボルト用キャップ
姿図		
品番	5K-10043	2K-35755
個数	4	4

■柱　GCD-(DS)A30#-1

品名	柱
品番	―
個数	1

■横材　GCD-(DA)HJ##-####

品　名	横材(L寸法)	横材ブラケット	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品　番	―	4K-12570	ET-5010
姿　図	——		
GCD-(DS)HJ4A-5555	6(2881)	12	72
GCD-(DS)HJ4A-5560	6(2981)	12	72
GCD-(DS)HJ4A-6060	6(3081)	12	72
GCD-(DS)HJ4B-5555	6(2871)	12	72
GCD-(DS)HJ4B-5560	6(2971)	12	72
GCD-(DS)HJ4B-6060	6(3071)	12	72
GCD-(DS)HJ6A-5555	10(1781)	20	120
GCD-(DS)HJ6A-5560	10(1881)	20	120
GCD-(DS)HJ6A-6060	10(1981)	20	120
GCD-(DS)HJ6B-5555	10(1771)	20	120
GCD-(DS)HJ6B-5560	10(1871)	20	120
GCD-(DS)HJ6B-6060	10(1971)	20	120
備　考	―		横材取付用

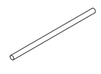
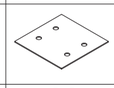
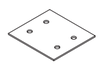
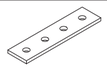
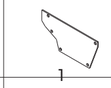
■鼻隠し(側面)　GCD-(DS)C##

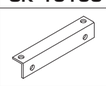
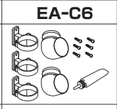
品名	鼻隠し
品番	―
個数	2
備考	(側面)

■たて樋　GCD-(DS)KT##

品　名	たて樋(L寸法)
品　番	K-35418
姿　図	
GCD-(DS)KT07	1(700)
GCD-(DS)KT13	1(1300)

■部品　GCD-(DA)EJA-#[H]

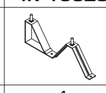
品　名	柱アンカー	梁キャップ	柱・梁連結金具		裏板	柱キャップ	スペーサ	鼻隠し連結金具	鼻隠し連結カバー	止水板		コーナーキャップ
品　番	K-11711	2K-36089	5K-11168	5K-11169	5K-11171	5K-11172	5K-11173	3K-18989	5K-10041	5K-10039	5K-10040	2K-35753
姿　図												
GCD-(DS)EJA-4[H]	8	8	8 [―]	―[8]	16	―[8]	―[8]	4	2	1	1	4
GCD-(DS)EJA-6[H]	12	12	12[―]	―[12]	24	―[12]	―[12]	4	2	1	1	4
備　考	L=200mm	150用	□120柱用	□130柱用						L	R	

品　名	コーナーキャップ連結材	穴塞ぎシール	ドレイン	穴隠し	雨樋セット	ゴミ出しエルボ	座金組込六角ボルト (M10×20)	六角ボルト (M10×30)	六角ナット (M10用)	スプリングワッシャ (M10用)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	なべドリルねじ (φ4×19)	組立・施工説明書
品　番	3K-19190	K-41844	K-36979	K-36980	EA-C6	2K-36149	3K-18992	SBH-M10030	N-M10	SW-10	ET-5010	K-13526	―
姿　図													——
GCD-(DS)EJA-4[H]	2	2	1	1	1	1	32	32	32	32	16	96	
GCD-(DS)EJA-6[H]	2	2	1	1	1	1	48	48	48	48	16	84	
備　考		φ10					柱・梁連結用	柱梁連結金具取付用			ドレイン・穴隠し・鼻隠し連結カバー取付用	その他	

■鼻隠し(前後)　GCD-(DS)D30

品名	鼻隠し	鼻隠し	たて樋
品番	―	―	K-35418
姿図	——	——	
個数	1	1	1
備考	(水上側)	(水下側)	L=3000

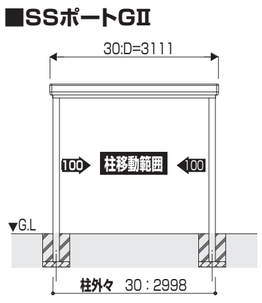
■タイトフレーム　GCD-(DS)F30-##

品　名	タイトフレーム	タイトフレーム	折板取付ナット	剣先キャップ	ルーフボルト	ルーフボルト用キャップ	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品　番	4K-19023	4K-19024	4K-19025	2K-35365	5K-10043	2K-35755	ET-5010
姿　図							
GCD-(DS)F30-4	4	8	32	32	4	4	40
GCD-(DS)F30-6N	6	12	48	48	―	―	60
備　考	端部	中間部					タイトフレーム取付用

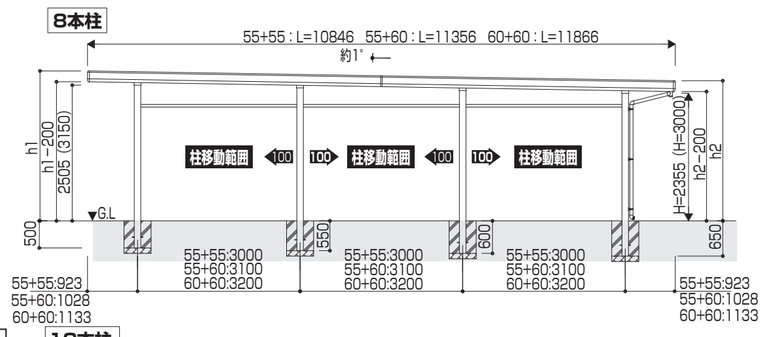
[　] は、ハイルーフ柱H3000の場合

寸法図(単位：mm)

■SSポートGⅡ



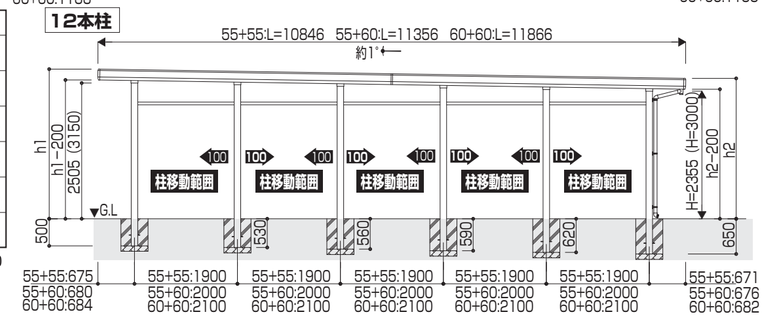
8本柱



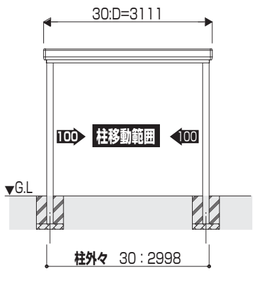
積雪量	柱本数	呼称長さ L	h1	h2
100cm	8	55+55	2767 (3412)	2586 (3231)
		55+60	2768 (3413)	2585 (3230)
		60+60	2769 (3414)	2584 (3229)
150cm	12	55+55	2762 (3407)	2591 (3236)
		55+60	2761 (3406)	2591 (3236)
		60+60	2761 (3406)	2592 (3237)

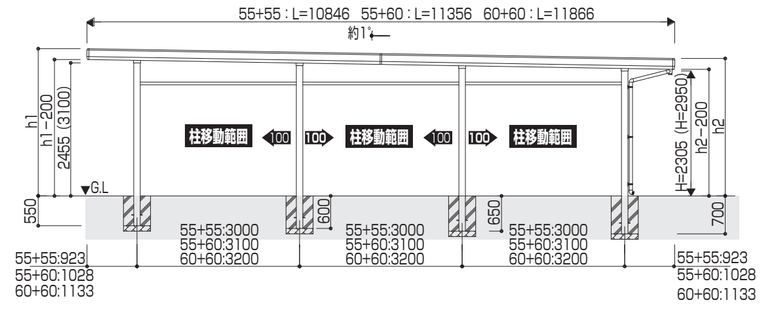
（　）内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合

12本柱



■ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

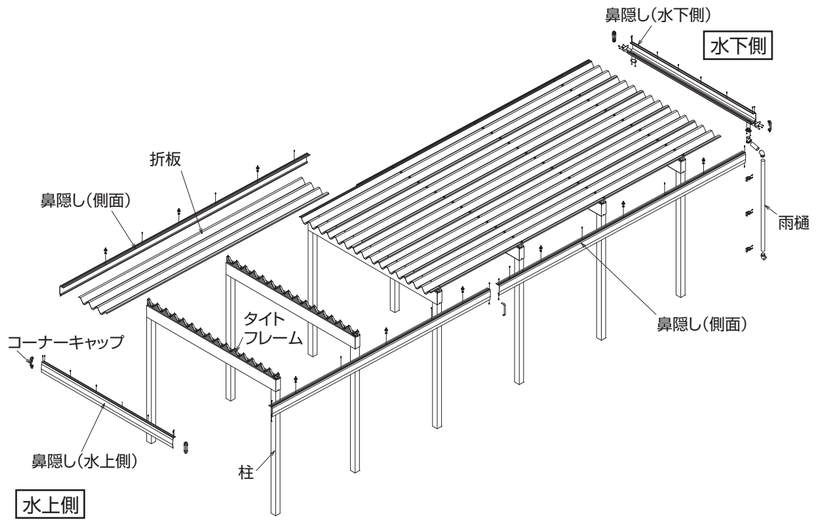




積雪量	柱本数	呼称長さ L	h1	h2
50cm	8	55+55	2717 (3362)	2536 (3181)
		55+60	2718 (3363)	2535 (3180)
		60+60	2719 (3364)	2534 (3179)

（　）内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合

全体構成図



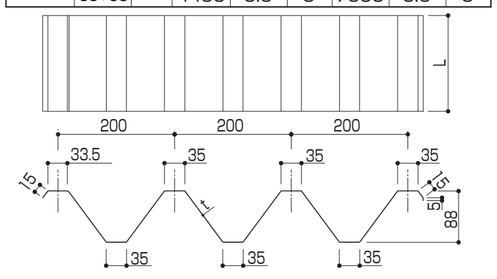
折板詳細

■SSポートGⅡ

積雪量	奥行 L	幅 D	水下側折板 L(mm)	水下側折板 t(mm)	水下側折板 枚数	水上側折板 L(mm)	水上側折板 t(mm)	水上側折板 枚数
100cm	55+55	30	3990	0.8	5	6990	0.8	5
	55+60		4195	0.8	5	7295	0.8	5
	60+60		4400	0.8	5	7600	0.8	5
150cm	55+55	30	4540	0.8	5	6440	0.8	5
	55+60		4745	0.8	5	6745	0.8	5
	60+60		4950	0.8	5	7050	0.8	5

■ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

積雪量	奥行 L	幅 D	水下側折板 L(mm)	水下側折板 t(mm)	水下側折板 枚数	水上側折板 L(mm)	水上側折板 t(mm)	水上側折板 枚数
50cm	55+55	30	3990	0.6	5	6990	0.6	5
	55+60		4195	0.6	5	7295	0.6	5
	60+60		4400	0.6	5	7600	0.6	5



1.組立・施工

1 柱の切断・加工

柱を切断する場合

❶各穴に入る柱を決めてください。
❷穴底からの埋込み深さを測定してください。

ポイント
埋込み深さは、
SSポートGⅡの場合は**500㎜以上**、
ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡの場合は
550㎜以上を確保してください。

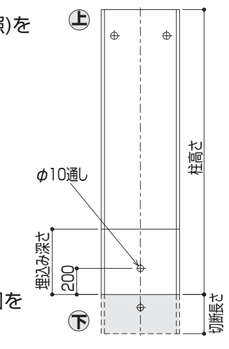
❸測定した埋込み寸法の誤差寸法と屋根勾配(下表参照)を考慮して、各柱の切断寸法を決めてください。

側面から見た柱本数	呼称長さ L	柱ピッチ	1ピッチあたりの柱長さの差
4	55+55	3000	50
	55+60	3100	
	60+60	3200	
6	55+55	1900	30
	55+60	2000	
	60+60	2100	

❹各柱の下端を切断してください。

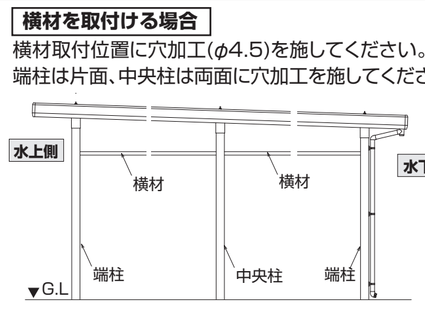
ポイント
アンカー用の穴がある方が下側です。

❺柱を切断し、アンカー用の穴を失った場合は、右図を参考に穴加工(φ10通し)を施してください。



横材を取付ける場合

横材取付位置に穴加工(φ4.5)を施してください。
端柱は片面、中央柱は両面に穴加工を施してください。



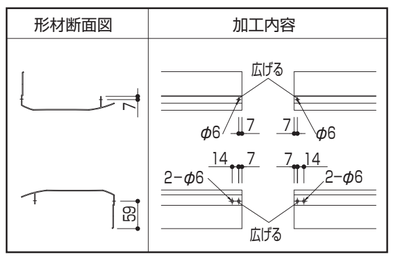
横材取付穴加工位置C

側面から見た柱本数	呼称長さ L	水上側				水下側
4	55+55	380		330	280	230
	55+60					
	60+60					
6	55+55	380	350	320	290	260	230
	55+60						
	60+60						

1.組立・施工(つづき)

2 折板・鼻隠し(側面)の加工

鼻隠し(側面)の連結側に穴加工(φ6)を施してください。
φ5の既設穴はφ6に広げてください。



お願い
- 柱移動をした場合は、穴位置を移動した柱に合わせて加工してください。
- サビの原因になりますので、折板から切粉を取り除いてください。

折板と鼻隠し(側面)に穴加工(φ12)を施してください。

鼻隠し(側面)穴加工寸法

お願い
側面から見た柱本数が4本の場合、折板同士が重なり合う長尺方向の柱間中央部にルーフボルト取付用の穴加工(φ12)を施してください。

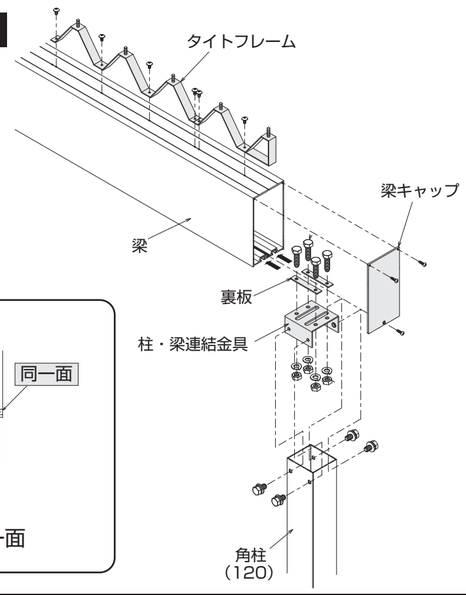
折板・鼻隠し(側面)の加工位置

側面から見た柱本数	呼称長さ L	折板長さ Lr	加工位置
4	55+55 【55+60】 <60+60>	3990+6990 【4195+7295】 <4400+7600>	889 [993] <1098> 3000 [3100] <3200> 3990 [4195] <4400> 3000 [3100] <3200> 3000 [3100] <3200> 890 [996] <1101> 6990 [7295] <7600> 889 [993] <1098> 3000 [3100] <3200> 5390 [5390] <5900> 3000 [3100] <3200> 890 [996] <1101> 5390 [5900] <5900>
6	55+55 【55+60】 <60+60>	4540+6440 【4745+6745】 <4950+7050>	639 [644] <649> 1900 [2000] <2100> 1900 [2000] <2100> 4540 [4745] <4950> 1900 [2000] <2100> 1900 [2000] <2100> 1900 [2000] <2100> 639 [644] <649> 6440 [6745] <7050> 639 [644] <649> 1900 [2000] <2100> 1900 [2000] <2100> 5390 [5390] <5900> 1900 [2000] <2100> 1900 [2000] <2100> 639 [644] <649> 5390 [5900] <5900>

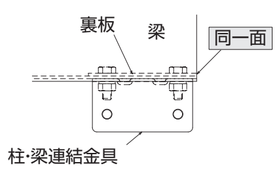
【 】内寸法は、L=55+60の場合、< >内寸法は、L=60+60の場合

3 梁・柱の取付

角柱(120角)の場合



ポイント



梁端部と裏板が同一面

角柱(130角)の場合

ポイント

梁端部と柱キャップ(スペーサ)が同一面

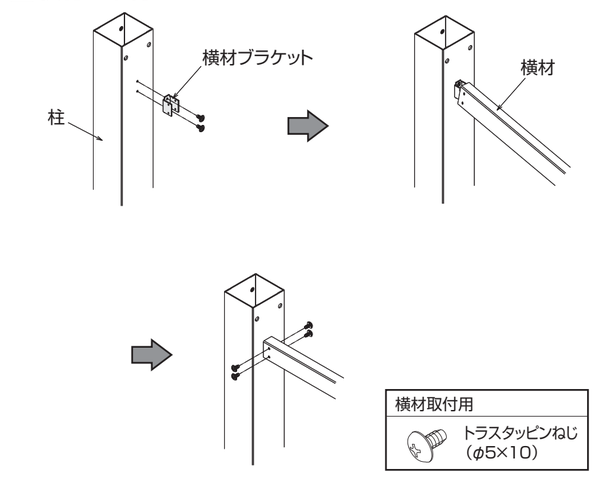
柱・梁連結金具取付用
六角ボルト (M10×30)
スプリングワッシャ
六角ナット

梁キャップ取付用
なべドリルねじ (φ4×19)

タイトフレーム取付用
トラスタッピンねじ (φ5×10)

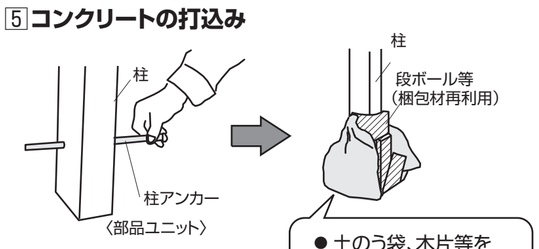
柱・梁連結用
座金組込六角ボルト (M10×20)

4 横材の取付



横材取付用
トラスタッピンねじ (φ5×10)

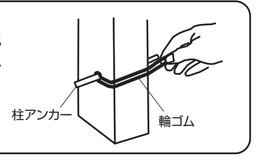
5 コンクリートの打込み



- 土のう袋、木片等を利用して柱を仮固定してください。
- キズ防止のため、柱を段ボール等で養生してください。

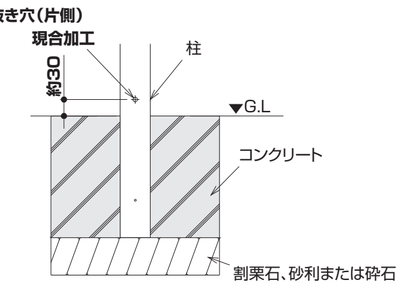
ポイント

柱アンカーの脱落防止
例:輪ゴムを柱アンカーにひっかける



お願い
- 基礎コンクリートには、**塩素系の混和剤(急結剤等)や海砂を使用しない**でください。柱の腐食の原因となります。
- 凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。

φ6水抜き穴(片側)
現合加工

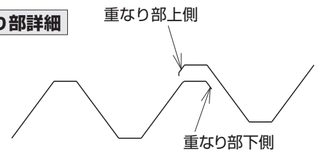


注 意
折板・鼻隠しの取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。

6 折板・鼻隠し(側面)の取付

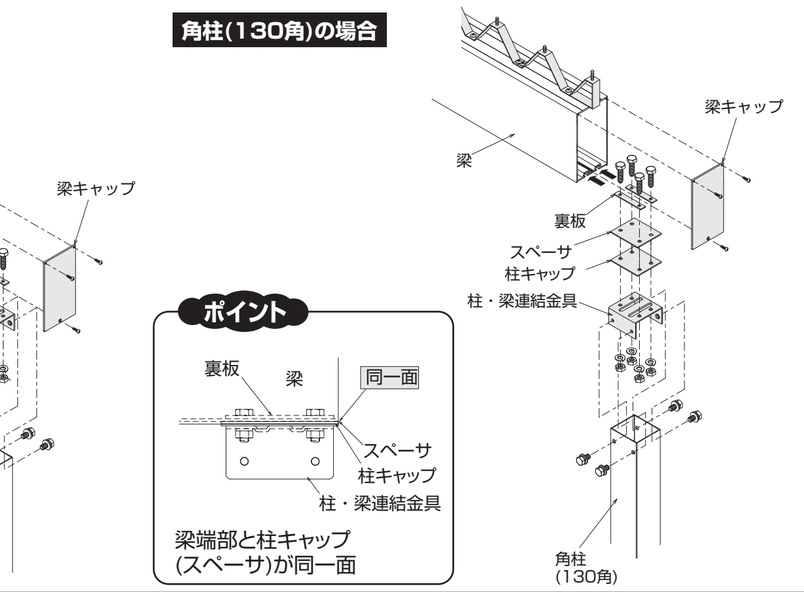
❶折板をのせ、鼻隠し(側面)を取付けてください。

折板重なり部詳細



お願い
折板には向きがありますので確認してください。
逆向きに取付けると雨漏りの原因になります。

❷折板取付ナットで固定し、剣先キャップをたたき込んでください。
❸鼻隠し(側面)と折板をねじ止めしてください。

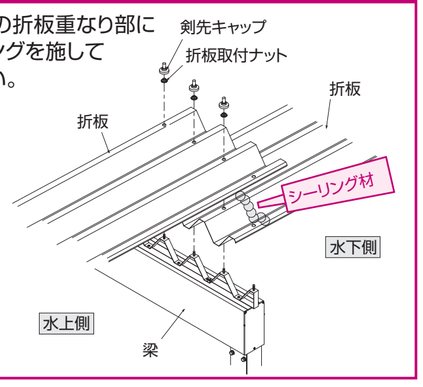


鼻隠し取付用
なべドリルねじ (φ4×19)

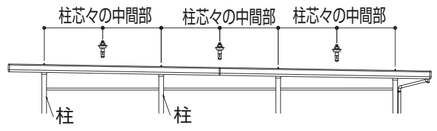
シーリング
鼻隠しねじ止め後、ねじ頭にシーリングを施してください。

チェック❷

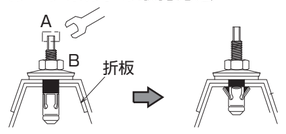
シーリング
連結部の折板重なり部にシーリングを施してください。



- **ルーフボルトの取付位置**
折板同士が重なり合う柱芯々の中間部にルーフボルトを取付けてください。



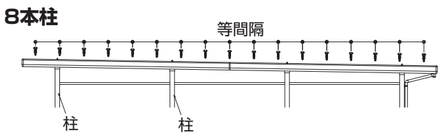
- **ルーフボルトの取付方法**



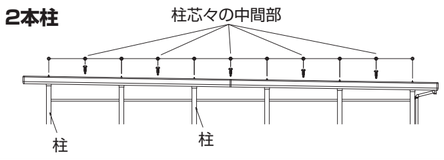
A部をスパナ等で固定しながらBボルトを締め付けてください。

●鼻隠し(側面)ねじ止め位置

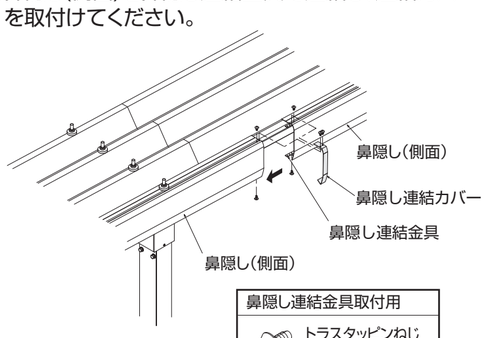
8本柱



12本柱

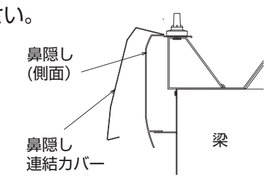


❺鼻隠し(側面)を鼻隠し連結金具で連結し、連結カバーを取付けてください。

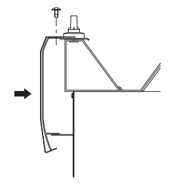


鼻隠し連結金具取付用
トラスタッピンねじ (φ5×10)

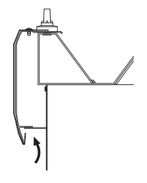
①鼻隠し連結カバーを鼻隠しにはめ込んでください。



②鼻隠し連結カバーを押さえつけて、ねじで固定しください。

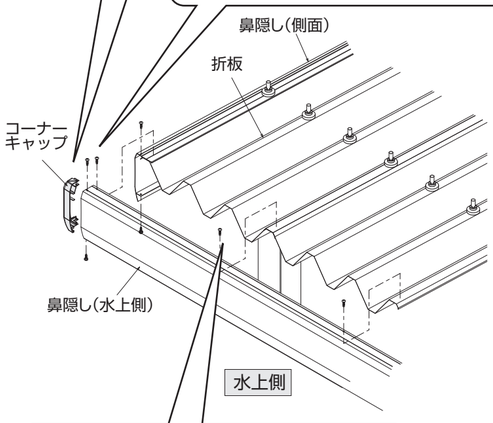


③鼻隠し連結カバーの下部を折り曲げてください。



7 鼻隠し(水上側)の取付

❶ 鼻隠し(水上側)にコーナーキャップを取付けてください。
❷ 鼻隠し(水上側)を折板にかぶせ、鼻隠し(側面)となべドリルねじで連結してください。

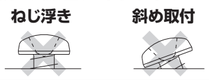


止水板・鼻隠し・コーナーキャップ取付用
なべドリルねじ (φ4×19)

❸ 鼻隠し(水上側)の穴に合わせ、現合で折板にねじ止めしてください。

チェック❶

お願い
ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。
ねじ浮き　斜め取付

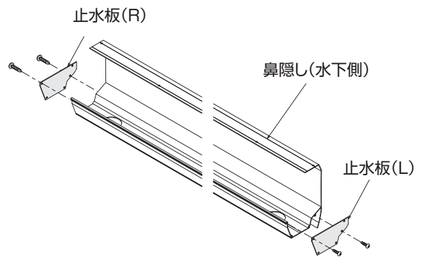


シーリング
鼻隠しねじ止め後、ねじ頭にシーリングを施してください。

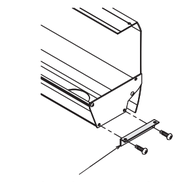
チェック❷

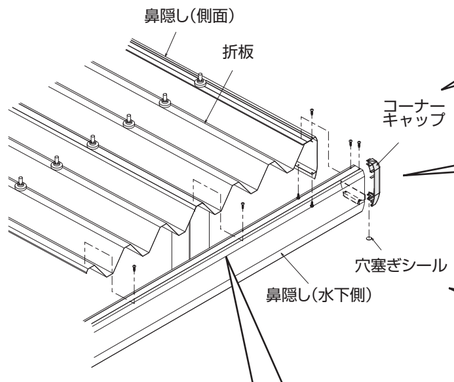
8 鼻隠し(水下側)の取付

❶ 鼻隠し端部に止水板を取付けてください。



❷コーナーキャップ連結材を取付けてください。





❸鼻隠し(水下側)にコーナーキャップを取付けてください。

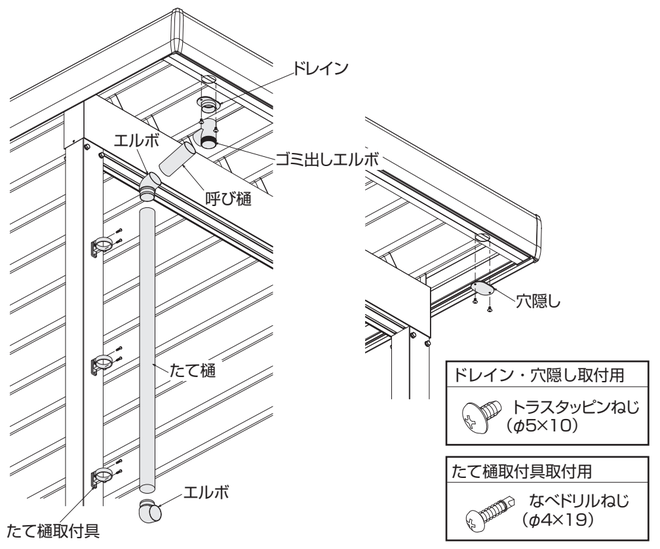
❹鼻隠し(水下側)を折板にかぶせ、鼻隠し(側面)となべドリルねじで連結してください。

コーナーキャップの捨て穴に穴塞ぎシールを貼ってください。

❺鼻隠し(水下側)の穴に合わせ、現合で折板にねじ止めしてください。

2.雨樋の取付

接着剤にて順次組立ててください。



ドレイン・穴隠し取付用
トラスタッピンねじ (φ5×10)

たて樋取付具取付用
なべドリルねじ (φ4×19)

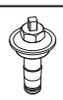
ルーフボルト取付要領

'11-2月 発行

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

同梱包一覧

■ECD-(DS)R1N

姿　図				–
品　名	ルーフボルト	キャップ	なべドリルねじ (φ4×19)	チラシ
品　番	5K−10043	2K−35755	K−13526	–
個　数	2	2	4	1
備　考				

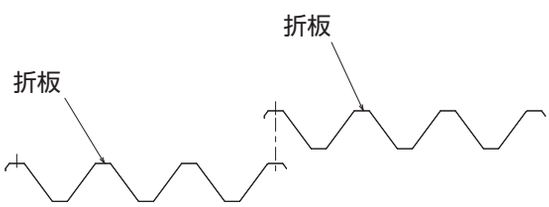
シーリングは必ず実施してください!

- 「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。
  シーリングがされないと、**漏水の原因**となります。
- シーリング材は別途手配品です。

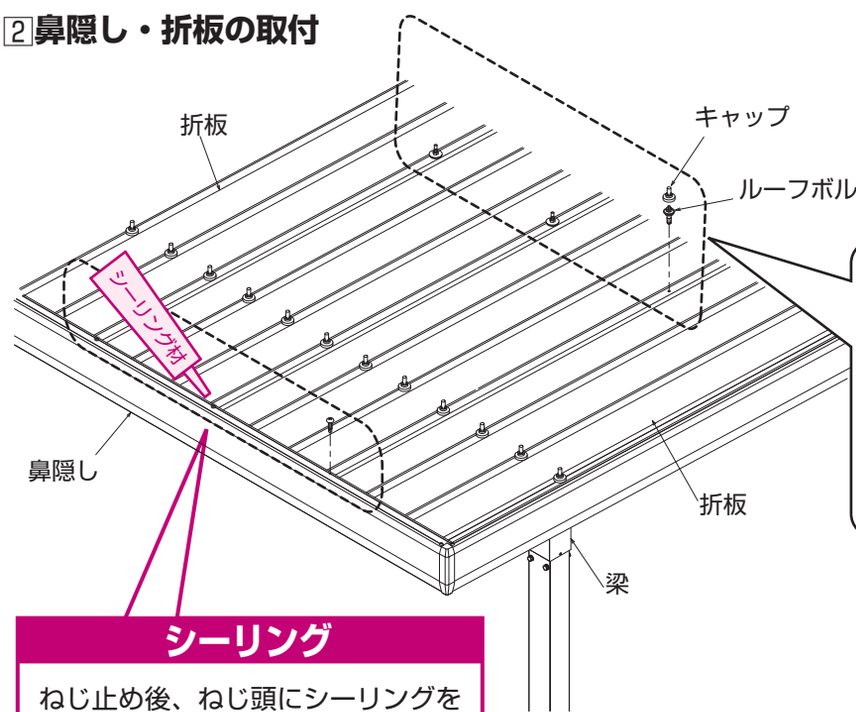
加工・取付

1 折板の加工

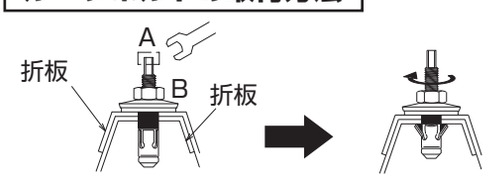
折板の重なり部に(φ12)の穴加工をしてください。
また、奥行き方向に関しては梁と梁の中間部に穴加工をしてください。



2 鼻隠し・折板の取付



ルーフボルトの取付方法



A部をスパナ等で固定しながらBのボルトを締め付けてください。

シーリング

ねじ止め後、ねじ頭にシーリングを施してください。

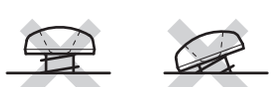
鼻隠し取付用

なべドリルねじ (φ4×19)

お願い

ねじは確実に締め付けてください。
雨漏りの原因になります。

ねじ浮き　**斜め取付**



組立・施工説明書

SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

横連棟・間口延長・3台用

チェックシート

組立・取付時、下記項目の確認をしてください。

	項　目	チェック欄
❶	ねじは確実に締めましたか?	
❷	ねじ頭にシーリングをしましたか?	

シーリングは必ず実施してください!

●「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。
シーリングがされないと、**漏水の原因**となります。
●シーリング材は別途手配品です。

シーリングマーク

本説明書は専門知識を有する組立・施工業者様向けの内容となっております。
商品の不具合や組立・施工作業には危険が伴いますので、組立・施工は専門知識を有する組立・施工業者様が行ってください。

●本説明書は、「**SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ 横連棟・間口延長・3台用**」の組立・施工について説明しています。
SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ 本体の組立・施工要領については、商品に同梱包の組立・施工説明書を併用してご覧ください。
●3台用の場合、梁を連結すると重量が約90kgになります。
移動式クレーン車等を用いて施工してください。

'11-2月 発行

目　次

■組立・施工の前に ・・・

■組立・施工の前に

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工してていただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…
取扱説明書を施主様にお渡しください。

注意

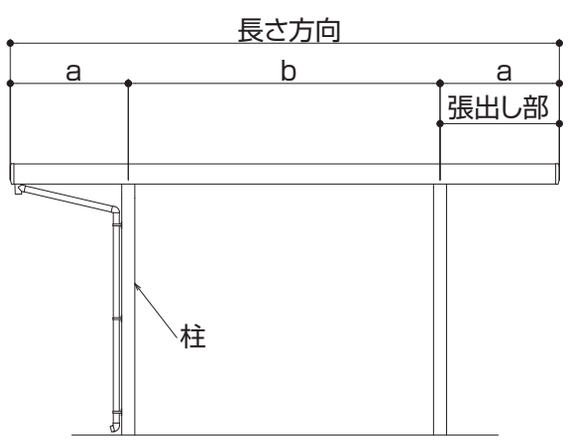
- 商品をご確認のうえ梁に貼付けのPLラベルに示す積雪量になる前に必ず雪おろしを行うことを施主様にご説明ください。
- カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。
商品に倒壊のおそれがあります。
- 屋根ふき材(折板)の取付は、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。

お願い

- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は事故の原因になります。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には取付けないでください。
- ユニットの組替え等により製作する場合は、製作範囲を確認して製作してください。
製作範囲を超えると事故(人損・物損)の原因になります。
- 基礎コンクリートには**塩素系の混和剤(急結剤等)や海砂を使用しない**でください。
柱の腐食の原因になります。

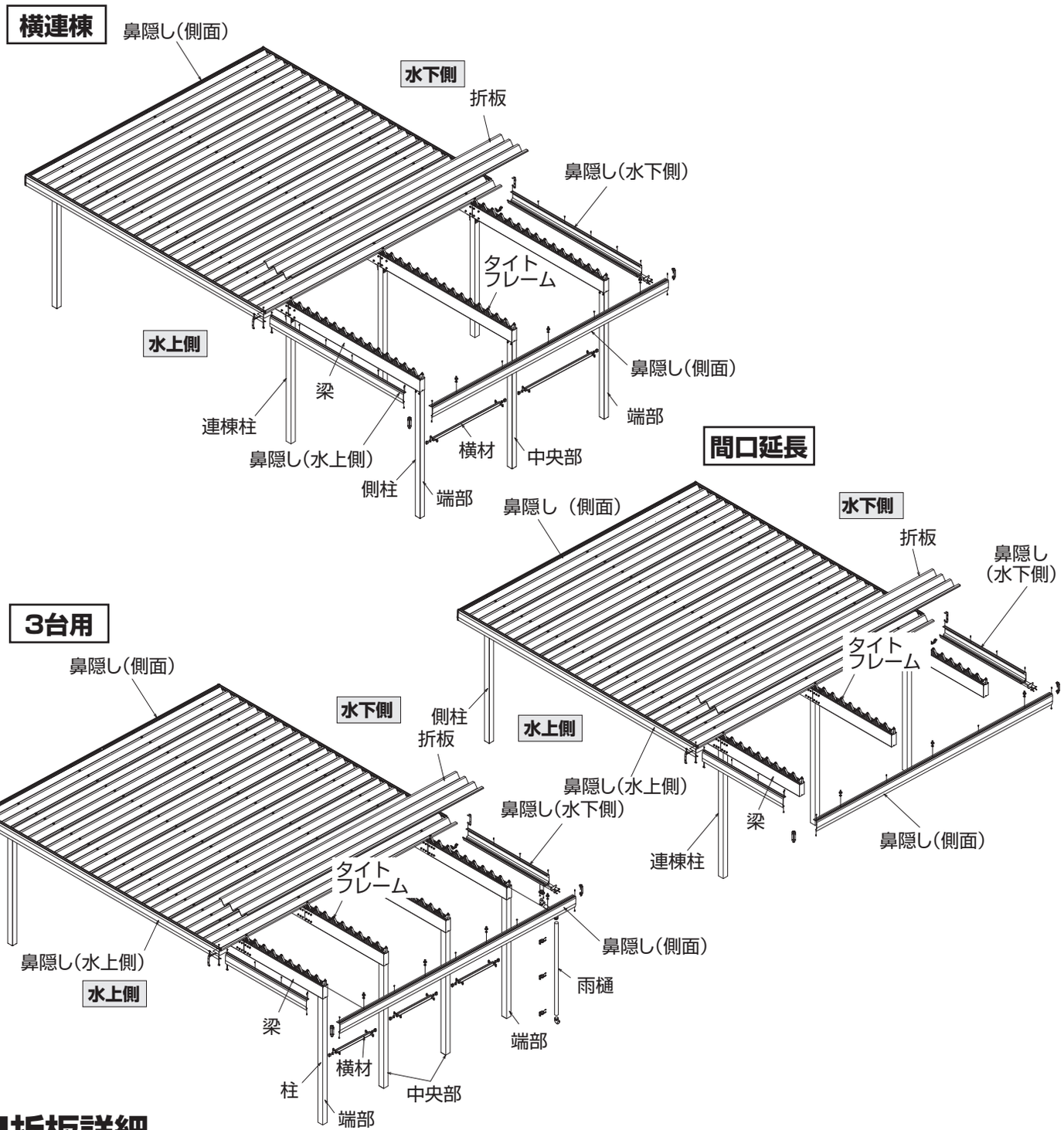
注　意

長さ方向張出し部のみ切詰めると、
カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、
積雪時や暴風時に商品が破損するおそれが
あります。
切詰めを行う際は、おおむね規格サイズの
長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を
行ってください。



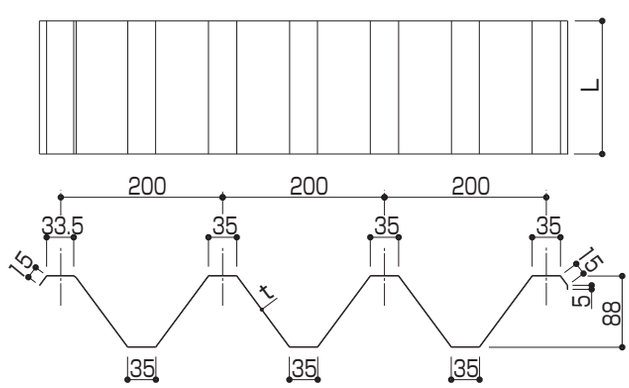
2 全体構成図／折板詳細

■全体構成図



■折板詳細

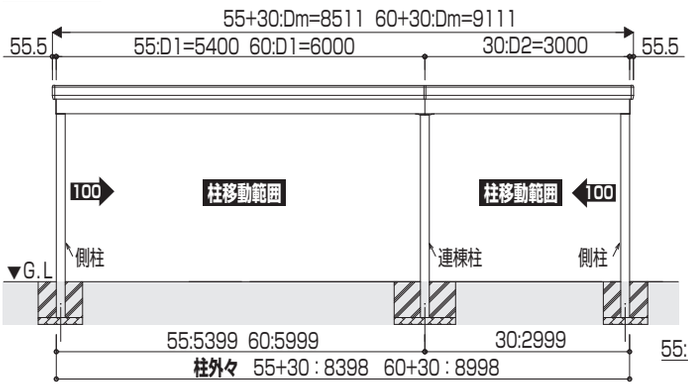
呼称長さ L	呼称幅 D	寸法(mm) L	寸法(mm) t	枚数
55	30	5390	0.6	5
			0.8	5
	55		0.6	9
			0.8	9
	60		0.6	10
			0.8	10
60	30	5900	0.6	5
			0.8	5
	55		0.6	9
			0.8	9
	60		0.6	10
			0.8	10



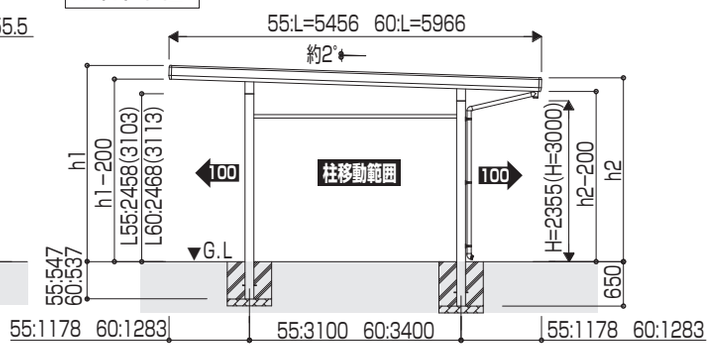
■寸法図

■SSポートGⅡ（横連棟）

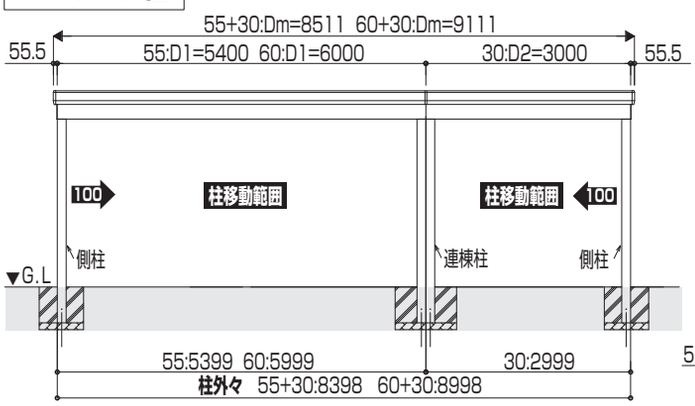
標準柱



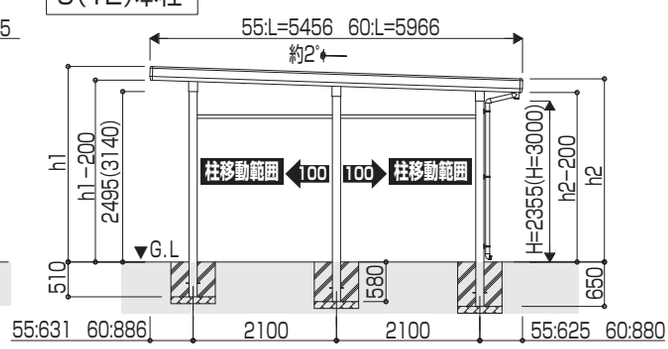
6(8)本柱



ハイルーフ柱



9(12)本柱



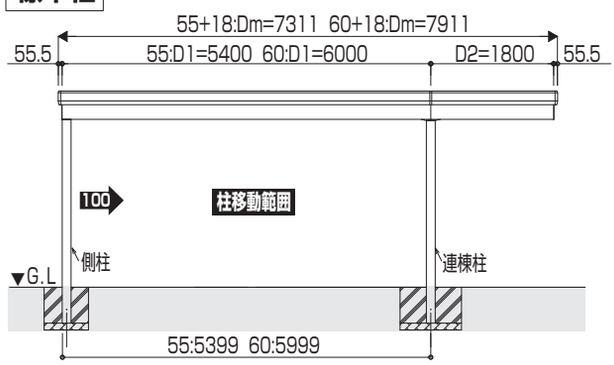
積雪量	柱本数	奥行サイズ	h1	h2
100cm	6(8)	L55	2873(3518)	2692(3337)
		L60	2886(3531)	2688(3333)
150cm	9(12)	L55	2891(3536)	2710(3355)
		L60	2900(3545)	2702(3347)

（ ）内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合

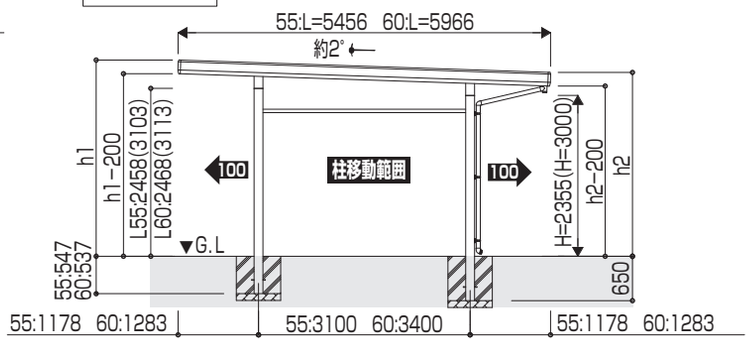
4 寸法図

■SSポートGⅡ(間口延長)

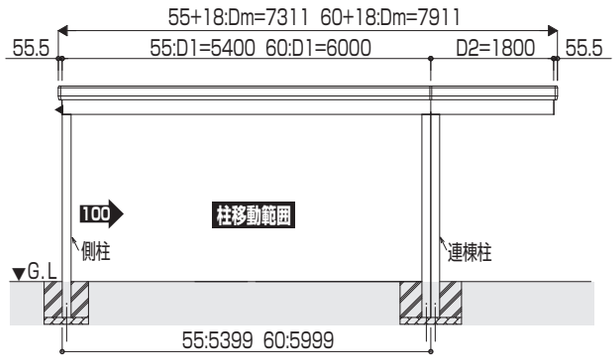
標準柱



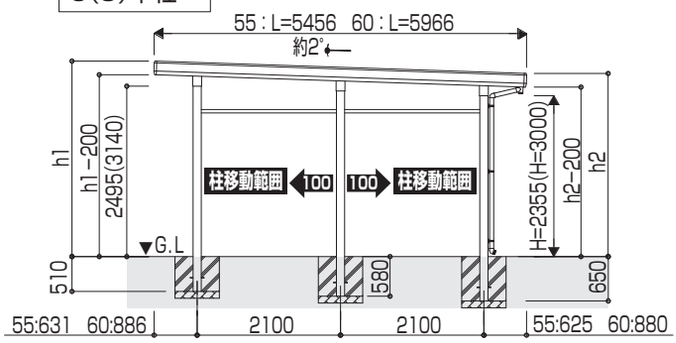
4(6)本柱



ハイルーフ柱



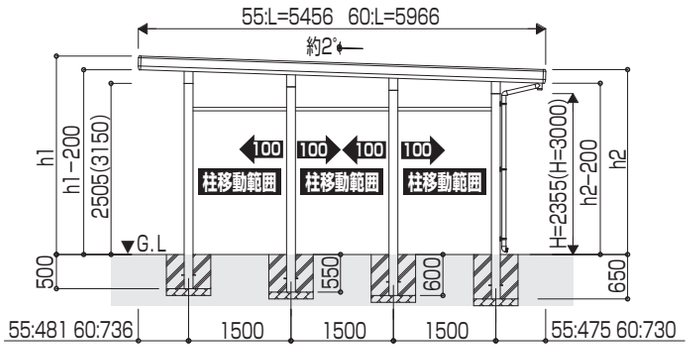
6(9)本柱



積雪量	柱本数	奥行サイズ	h1	h2
100cm	4(6)	L55	2873(3518)	2692(3337)
		L60	2886(3531)	2688(3333)
150cm	6(9)	L55	2891(3536)	2710(3355)
		L60	2900(3545)	2702(3347)

( )内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合

■SSポートGⅡ(3台用)

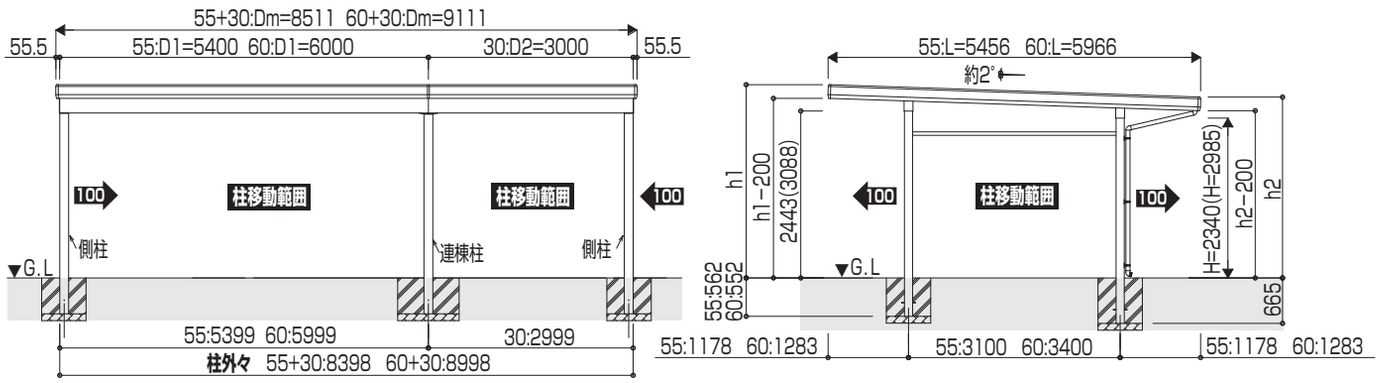


積雪量	柱本数	奥行サイズ	h1	h2
100cm	8	L55	2895(3540)	2714(3559)
		L60	2905(3550)	2707(3352)

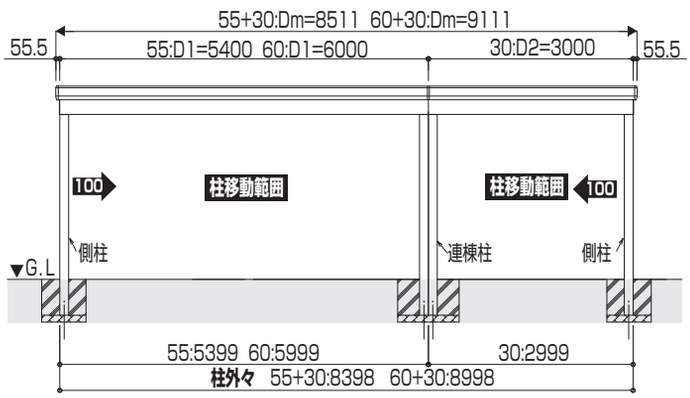
( )内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合

■ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ（横連棟）

標準柱



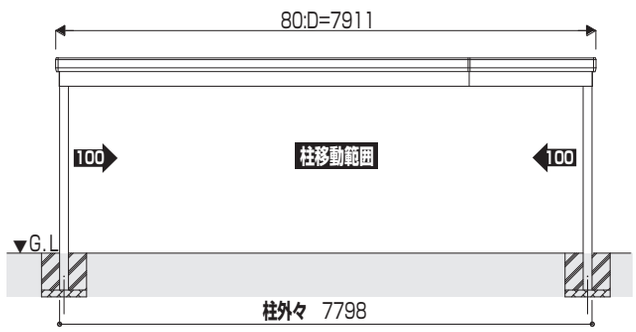
ハイルーフ柱

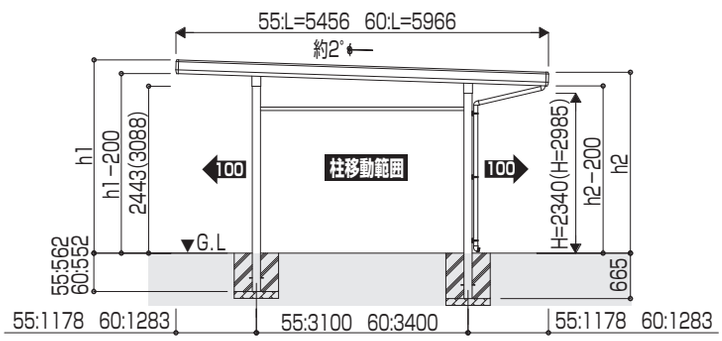


積雪量	柱本数	奥行サイズ	h1	h2
50cm	6(8)	L55	2829(3474)	2648(3293)
		L60	2842(3487)	2644(3289)

（ ）内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合

■ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ（3台用）





積雪量	柱本数	奥行サイズ	h1	h2
50cm	4	L55	2858(3503)	2677(3322)
		L60	2871(3516)	2673(3318)

（ ）内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合

6 基礎について

■基礎について

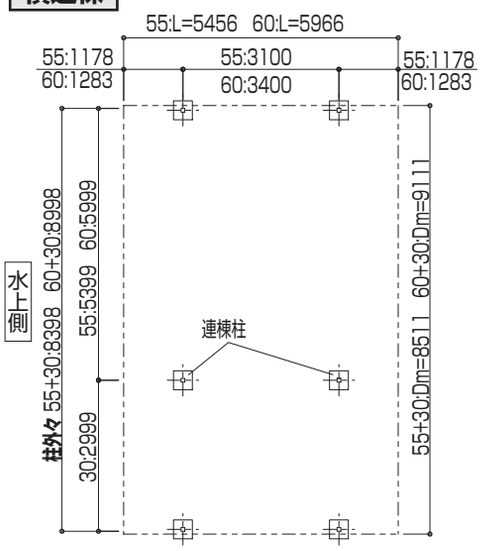
柱の位置決め

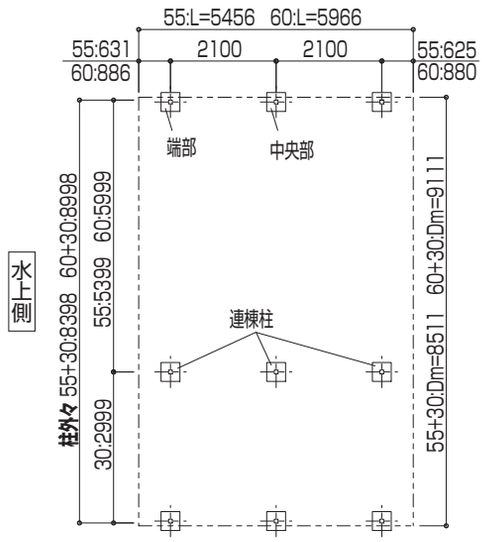
お願い

柱位置を決める際、家屋の屋根、軒等にカーポートが干渉しないように考慮してください。

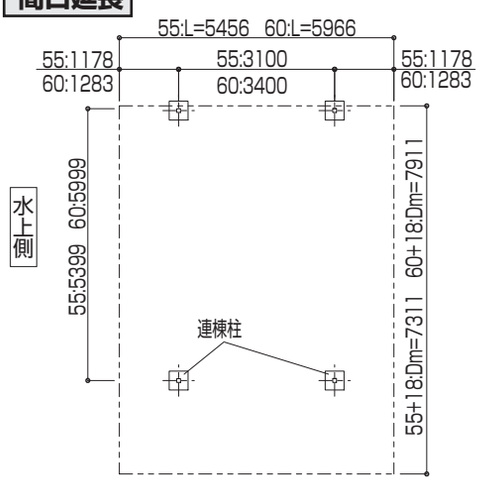
サイズにより柱角寸法が異なるため、本寸法図(横連棟・3台用)は、**柱外々**での寸法を示しています。

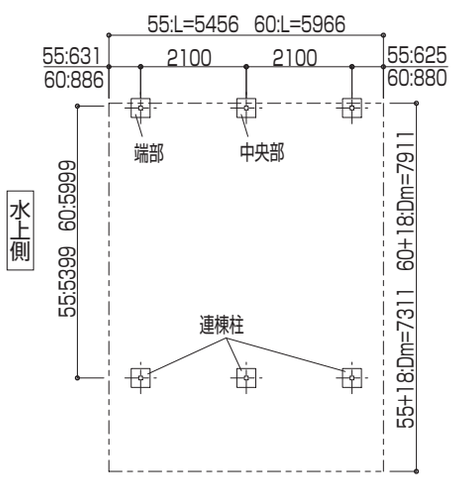
横連棟



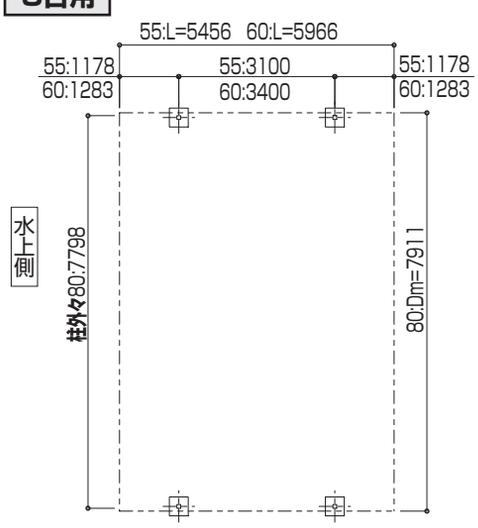


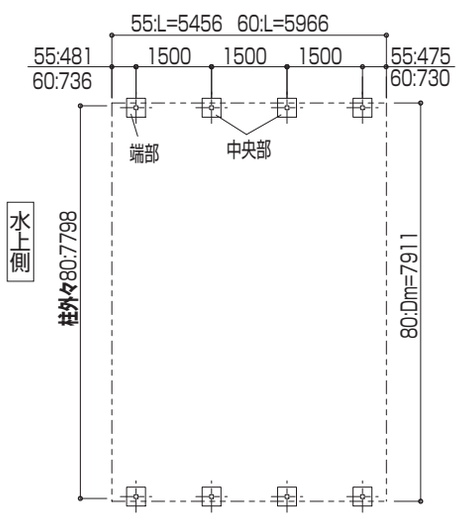
間口延長





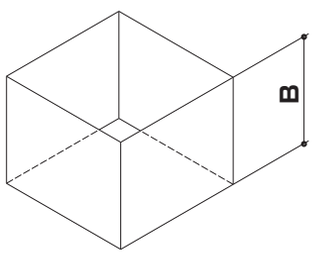
3台用





基礎寸法

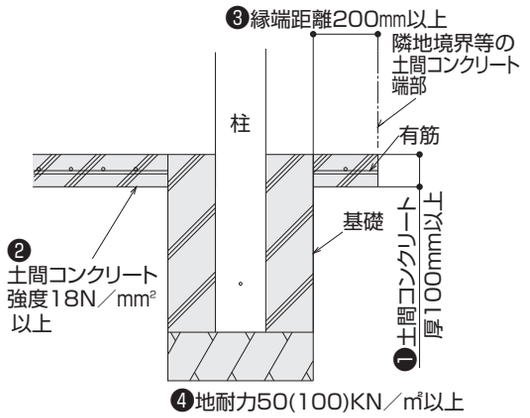
- 基礎寸法は、右表を基に積雪量、柱高さ、本体サイズおよび地耐力に従ってください。
- 基礎は、①独立基礎と②土間コンクリート考慮基礎の2種類があります。②の場合は、『土間コンクリート考慮の基礎条件』を満たしていることを確認してください。
- 寒冷地で凍上するおそれがある場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。



※B寸法
SSポートGⅡ
：500㎜以上
ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ
：550㎜以上

土間コンクリート考慮の基礎条件

❶土間コンクリート厚　：100㎜以上、有筋
❷土間コンクリート強度:18N／㎟以上
❸縁端距離　　：200㎜以上
❹地耐力　　：50(100)KN／㎡ 以上



■SSポートGⅡ

	積雪量	柱高さ H(mm)	本体サイズ	柱本数	①独立基礎				②土間コンクリート考慮基礎					
					地耐力:50KN/㎡				地耐力:50KN/㎡		地耐力:100KN/㎡			
					サイドパネル無		サイドパネル有		―		サイドパネル無		サイドパネル有	
					中央部	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	端部
横連棟	100cm	2355 (3000)	55-55・30	6(8)	680 830		680(790) 830(940)		680 830		450 560		450(590) 560(750)	
			55-60・30		720 860		720(800) 860(950)		720 860		470 560		470(600) 560(760)	
			60-55・30		710 870		710(830) 870(990)		710 870		470 610		470(630) 610(800)	
	150cm	2355 (3000)	55-55・30	9(12)	720 870	650 790	720 870	650 790	720 870	650 790	480 600	430 520	480 600	430 520
			55-60・30		750 900	680 810	750 900	680 810	750 900	680 810	500 610	450 540	500 610	450 540
			60-55・30		720 870	690 840	720 870	690 840	720 870	690 840	480 600	460 590	480 600	460 590
間口延長	100cm	2355 (3000)	55-55・18	4(6)	680 940		680(790) 940(980)		680 940		450 620		450(590) 620(790)	
			55-60・18		720 940		720(800) 940(980)		720 940		470 620		470(600) 620(790)	
			60-55・18		710 980		710(830) 980(1030)		710 980		470 640		470(630) 640(840)	
			60-60・18		750 980		750(840) 980(1030)		750 980		490 640		490(640) 640(840)	
	150cm	2355 (3000)	55-55・18	6(9)	720 990	650 890	720 990	650 890	720 990	650 890	480 660	430 590	480 660	430 590
			55-60・18		750 990	680 890	750 990	680 890	750 990	680 890	500 660	450 590	500 660	450 590
			60-55・18		720 990	690 950	720 990	690 950	720 990	690 950	480 660	460 640	480 660	460 640
			60-60・18		750 990	730 950	750 990	730 950	750 990	730 950	500 660	480 640	500 660	480 640
3台用	100cm	2355 (3000)	5580	8	600	550	600	550	600	550	400	390	400	390
			6080		600	600	600	600	600	600	400	400	400	400

■ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

	積雪量	柱高さ H(mm)	本体サイズ	柱本数	①独立基礎		②土間コンクリート考慮基礎		
					地耐力:50KN/㎡		地耐力:50KN/㎡	地耐力:100KN/㎡	
					サイドパネル無	サイドパネル有	―	サイドパネル無	サイドパネル有
横連棟	50cm	2340 (2985)	55-55・30	6(8)	580 710	620(740) 750(890)	580 710	390 520	390(530) 520(680)
			55-60・30		610 730	630(750) 760(900)	610 730	400 520	400(520) 520(690)
			60-55・30		610 740	660(790) 800(940)	610 740	400 520	400(570) 520(730)
3台用	50cm	2340 (2985)	5580	4	700	700(780)	700	520	520
			6080		730	730(830)	730	580	580

- (　)内寸法は、ハイルーフ柱H3000、上段は側柱、下段は連棟柱の基礎寸法になります。
- ②土間コンクリート考慮基礎（地耐力：50KN/㎡）の場合、サイドパネルの有無による基礎の大きさに違いはありません。

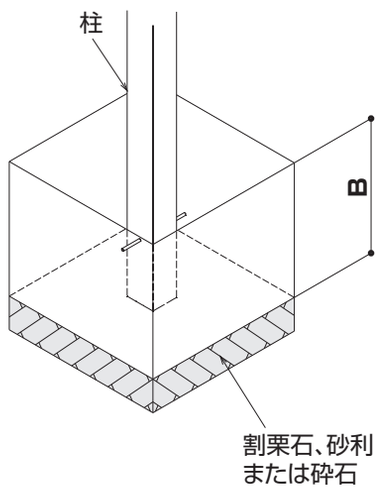
8 基礎について

基礎部の施工

❶「**基礎について・寸法図**」を参考に柱埋込み位置を決めてください。
❷ 基礎寸法 を参考に穴を掘ってください。
❸ 割栗石、砂利または砕石を敷き詰め必ず突き固めてください。

柱を切断しない場合

❹水勾配を付けるため、下表を参考に各穴の深さを調整してください。



柱を切断しない場合の埋込み深さB

■SSポートGⅡ

側面から見た柱本数	呼称長さL	水上側			水下側
2	55	547			650
	60	537			650
3	55/60	510	580		650
4	55/60	500	550	600	650

■ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

側面から見た柱本数	呼称長さL	水上側	水下側
2	55	562	665
	60	552	665

■組立・施工

1.柱の切断・加工

柱を切断する場合

❶各穴に入る柱を決めてください。
❷穴底からの埋込み深さを測定してください。

ポイント
埋込み深さは、**SSポートGⅡ**の場合は**500㎜以上、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ**の場合は**550㎜以上を確保**してください。

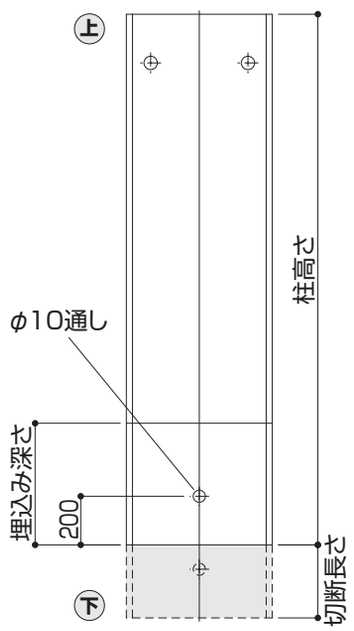
❸測定した埋込み寸法の誤差寸法と屋根勾配(右表参照)を考慮して、各柱の切断寸法を決めてください。
側柱と連棟柱で柱長さが異なります。
梁の見付けが250㎜の場合は、16㎜、280㎜の場合は、13.5㎜連棟柱を切詰めるか、深く埋め込んでください。

側面から見た柱本数	呼称長さ L	柱ピッチ	1ピッチあたりの柱の長さの差
2	55	3100	103
	60	3400	113
3	55/60	2100	70
4	55/60	1500	50

❹各柱の下端を切断してください。

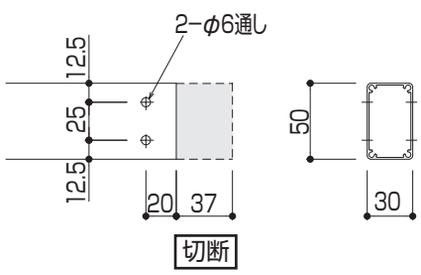
ポイント
アンカー用の穴がある方が下側です。

❺柱を切断し、アンカー用の穴を失った場合は、右図を参考に穴加工(φ10通し)を施してください。



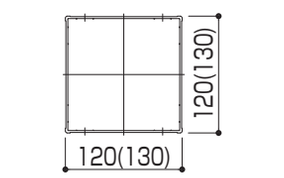
丸柱に横材を取付ける場合

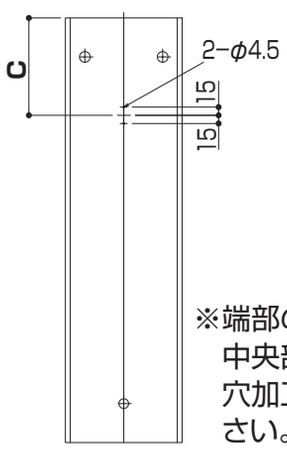
横材の片面を37㎜切断し、下図の穴加工を施してください。



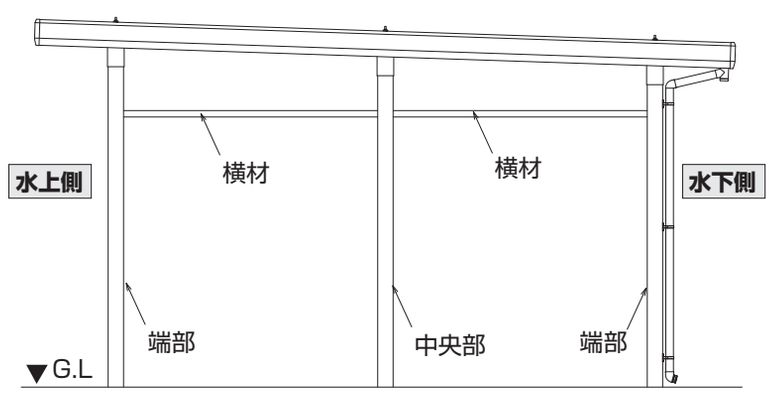
横材を取付ける場合

表を参考に、横材取付位置に穴加工(φ4.5)を施してください。
横材の切断寸法は、取付ける柱の外形寸法(120/130)により異なりますので、確認の上取付けてください。





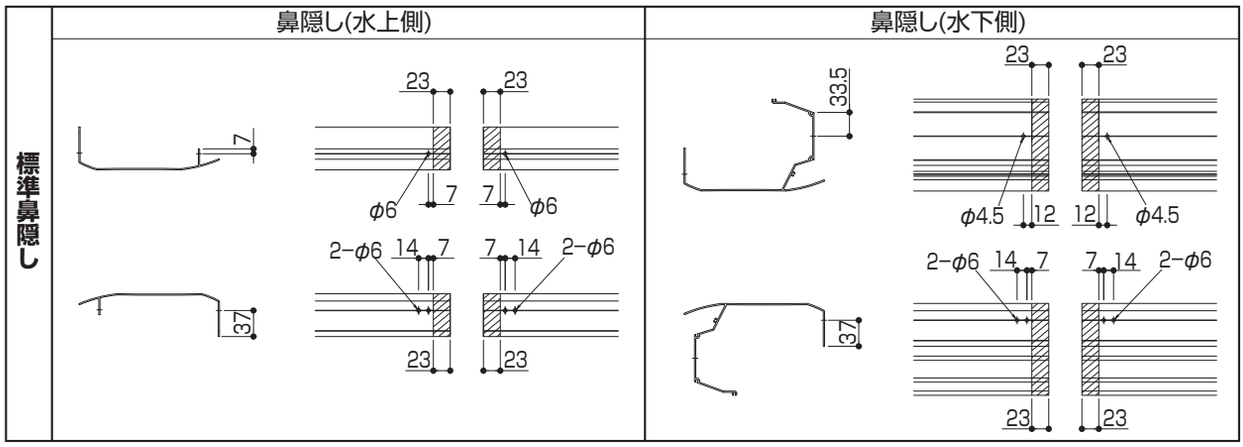
※端部の柱は片面、中央部の柱は両面に穴加工を施してください。



横材取付穴加工位置C

側面から見た柱本数	呼称長さ L	水上側			水下側
2	55	333			230
	60	343			230
3	55／60	370	300		230
4	55／60	380	330	280	230

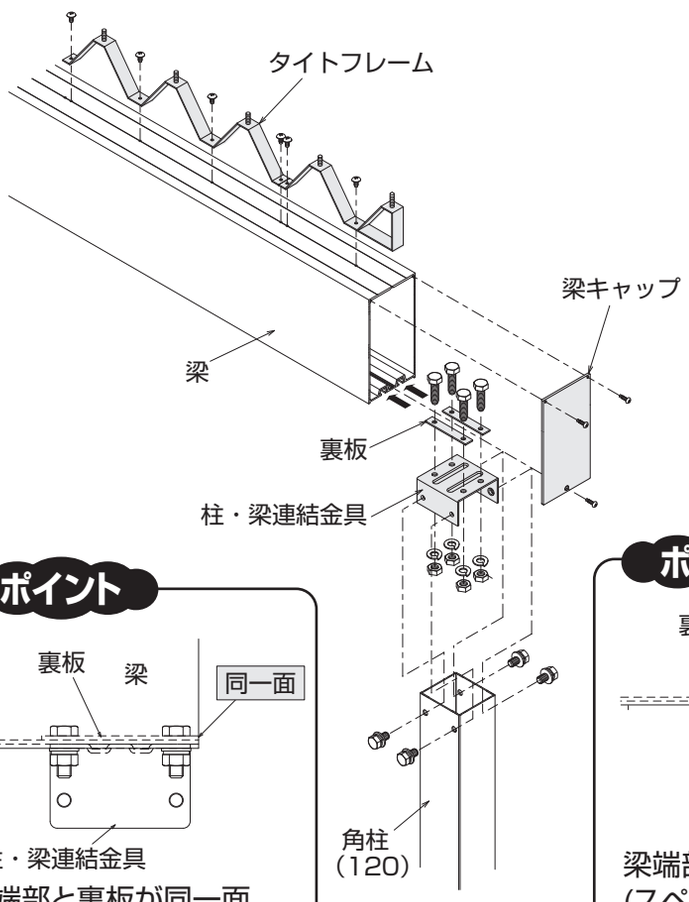
2.鼻隠しの切詰・加工



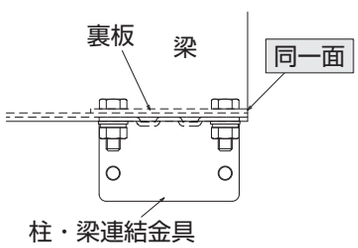
3.梁・柱の取付

1側柱の取付

角柱(120角)の場合



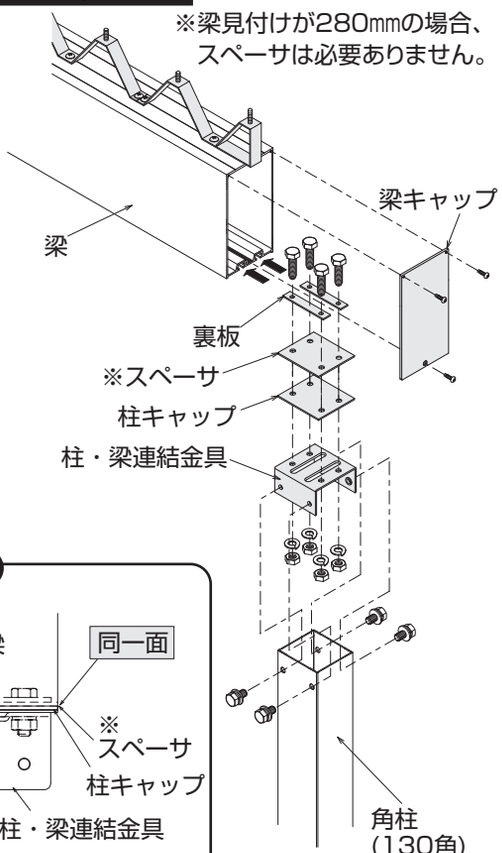
ポイント



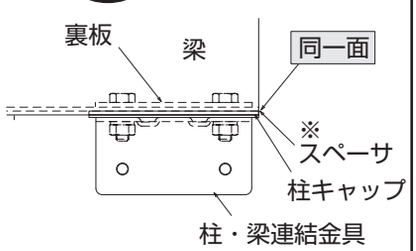
梁端部と裏板が同一面

角柱(130角)の場合

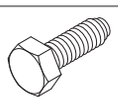
※梁見付けが280㎜の場合、
スペーサは必要ありません。



ポイント



梁端部と柱キャップ
(スペーサ)が同一面

柱・梁連結金具取付用	
	六角ボルト (M10×30)
	スプリング ワッシャ
	六角ナット

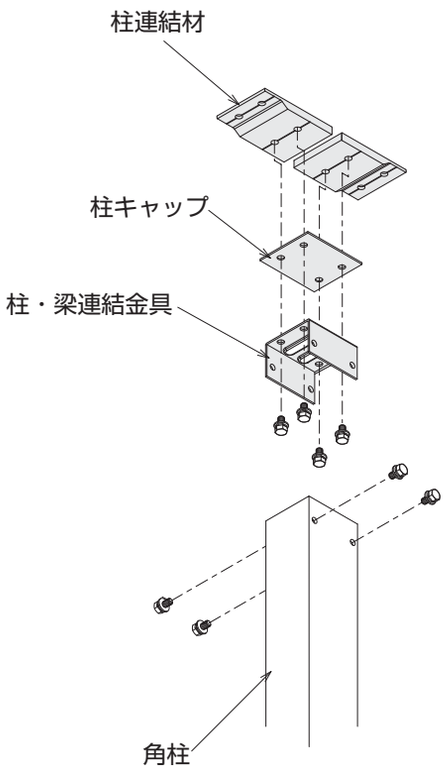
梁キャップ取付用	
	なべドリルねじ (φ4×19)

タイトフレーム取付用	
	トラスタッピンねじ (φ5×10)

柱・梁連結用	
	座金組込六角ボルト (M10×20)

2連棟柱の部品付(横連棟・間口延長)

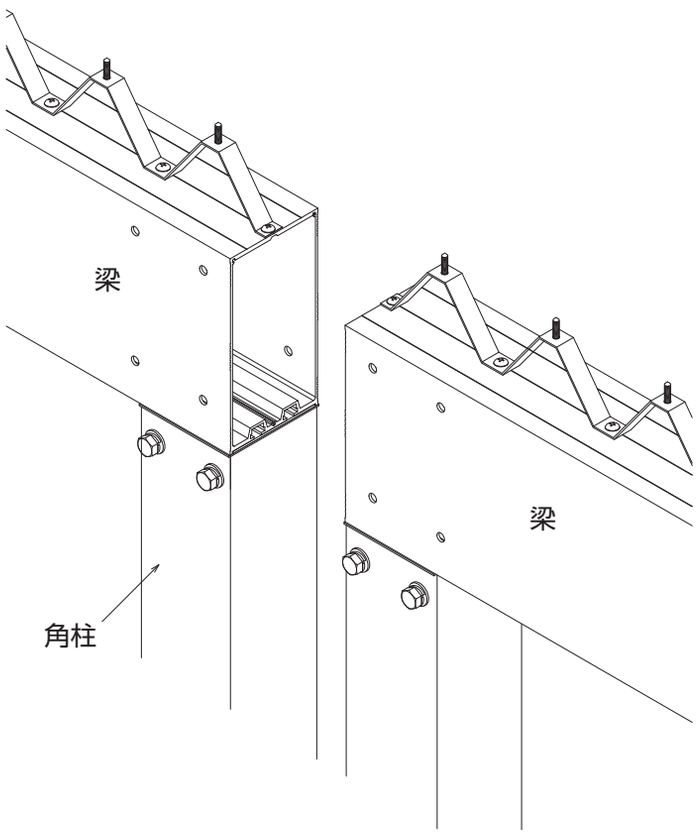
角柱標準の場合



柱・梁連結用
座金組込六角ボルト (M10×20)

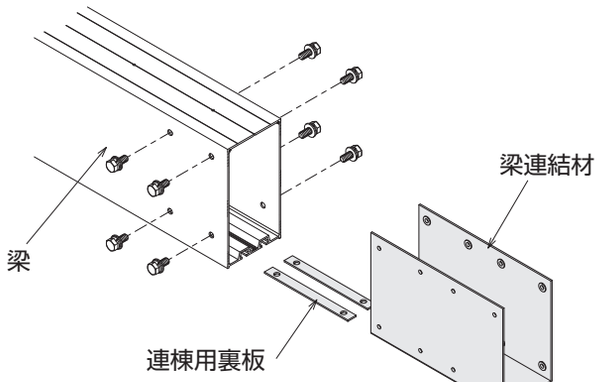
角柱ハイルーフの場合

梁、柱の取付は1**側柱の取付**と同様です。
図は角柱ハイルーフの場合で示しています。



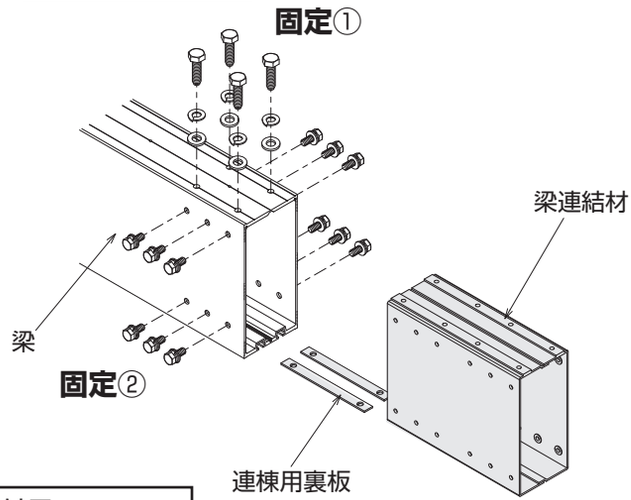
3 梁連結材の取付

横連棟の場合



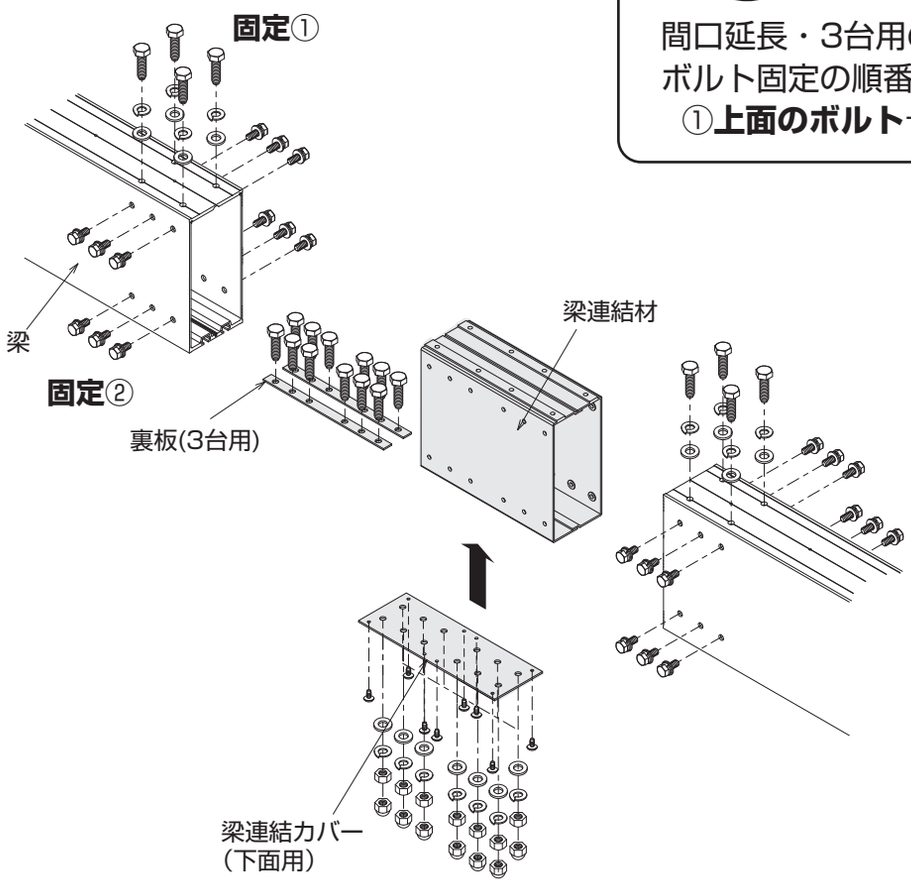
※梁見付が280㎜の場合は、
取付用のボルト個数が異なります。

間口延長の場合



梁連結材取付用
座金組込六角ボルト（M10×20）

3台用の場合（※連棟柱は必要ありません。）



※梁連結カバー(下面用)はナットで固定した後、
現合でφ4.7の下穴をあけ、トラスタッピン
ねじを取付けてください。

ポイント

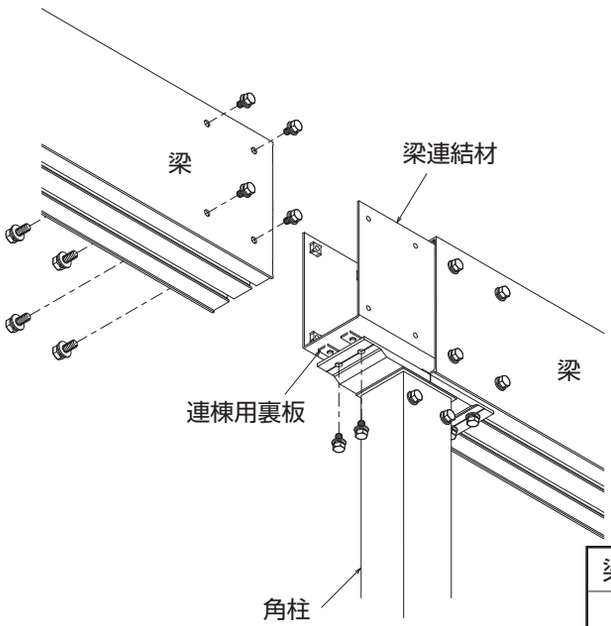
間口延長・3台用の梁連結材の組立時は
ボルト固定の順番があります。
①**上面のボルト**→②**側面のボルト**

梁連結材(梁上部用)取付用 梁連結カバー(梁下部用)取付用
六角ボルト（M10×30）
トラスタッピンねじ（φ5×16）
ワッシャ
スプリングワッシャ
六角ナット
六角袋ナット

4 梁の連結

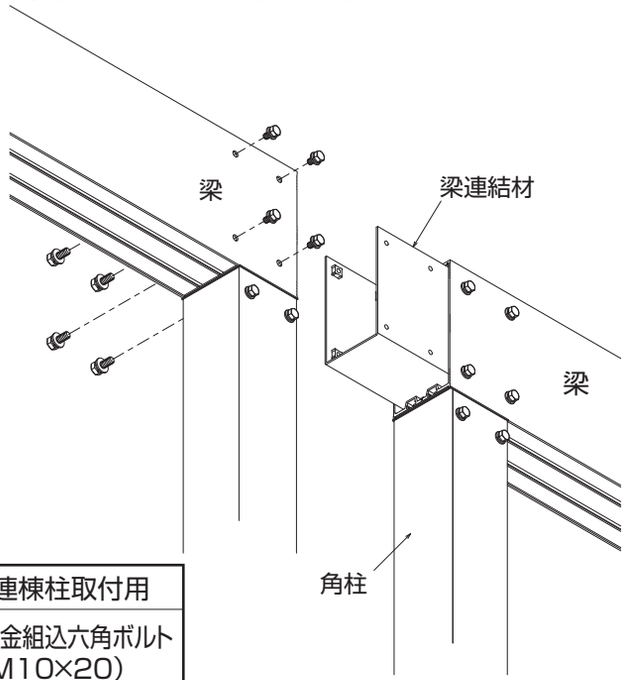
角柱標準の場合

図は角型標準の場合を示しています。
丸柱標準の場合も同様です。



角柱ハイルーフの場合

図は角型ハイルーフの場合を示しています。
丸柱ハイルーフの場合も同様です。



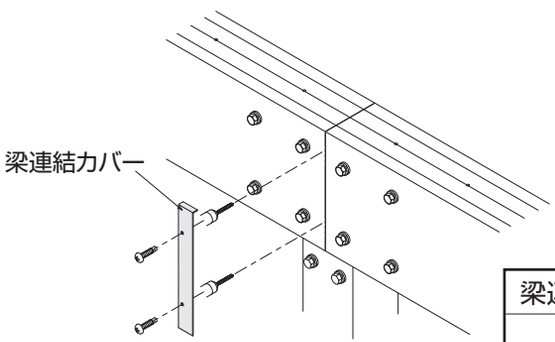
梁連結材・連棟柱取付用

座金組込六角ボルト
(M10×20)

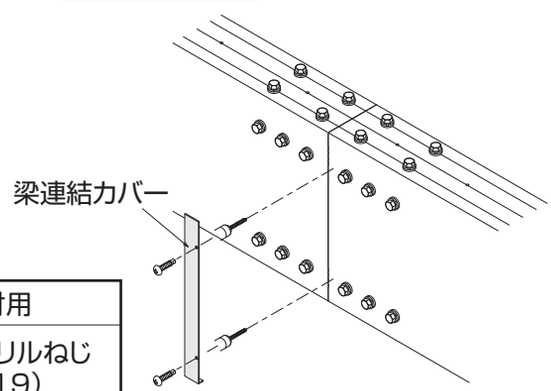
5 梁連結カバーの取付

梁連結カバーの穴に合せて、梁に下穴(φ3.8)を現合にて加工して、
梁連結カバーをねじ止めしてください。

横連棟・間口延長の場合



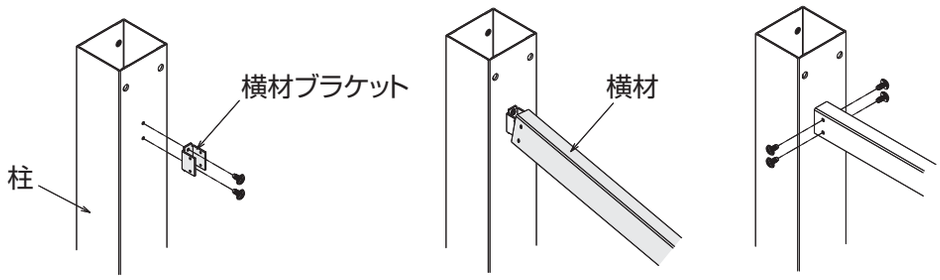
3台用の場合



梁連結カバー取付用

なべドリルねじ
(φ4×19)

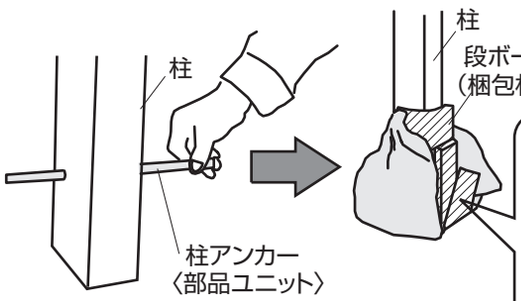
4.横材の取付



横材取付用

トラスタッピンねじ
(φ5×10)

5.コンクリートの打込み



- 土のう袋、木片等を利用して柱を仮固定してください。
- キズ防止のため、柱を段ボール等で養生してください。

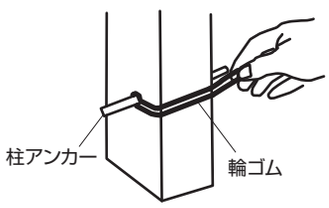
注　意

折板・鼻隠しの取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。

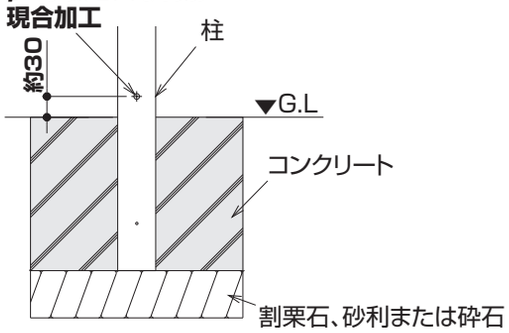
ポイント

柱アンカーの脱落防止

例:輪ゴムを柱アンカーにひっかける



φ6水抜き穴(片側)
現合加工



お願い

- 基礎コンクリートには、**塩素系の混和剤(急結剤等)や海砂を使用しない**でください。柱の腐食の原因となります。
- 凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。

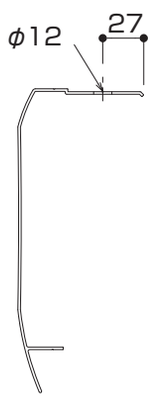
6.折板・鼻隠し(側面)の加工

表を参考に折板と鼻隠し(側面)に穴加工φ12を施してください。

お願い

- 柱移動をした場合は、穴位置を移動した柱に合わせて加工してください。
- サビの原因になりますので、折板から切粉を取り除いてください。

鼻隠し(側面)穴加工寸法



■折板・鼻隠し(側面)の加工位置

呼称長さ L	折板長さ Lr	側面から見た柱本数	加工位置	
55 [60]※1	5390 [5900]	2 ※2	折板	1144 [1249] / 3102 [3402] / 1144 [1249]
			鼻隠し	1144 [1249] / 3102 [3402] / 1144 [1249]
		3	折板	594 [849] / 2101 / 2101 / 594 [849]
			鼻隠し	594 [849] / 2101 / 2101 / 594 [849]
		4	折板	444 [699] / 1501 / 1501 / 1501 / 444 [699]
			鼻隠し	444 [699] / 1501 / 1501 / 1501 / 444 [699]

※1:[　] 寸法は、L60の場合
※2:側面から見た柱本数が2本の場合、折板同士が重なり合う長尺方向の中央部にルーフボルト取付用の穴加工(φ12)を施してください。

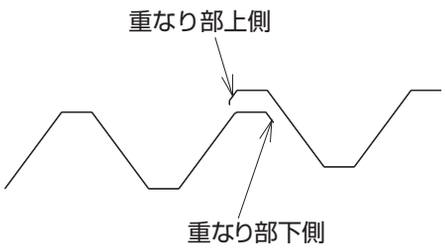
7.折板・鼻隠し(側面)の取付

❶折板をのせ、鼻隠し(側面)を取付けてください。

注　意

折板には向きがありますので確認してください。
逆向きに取付けると雨漏りの原因になります。

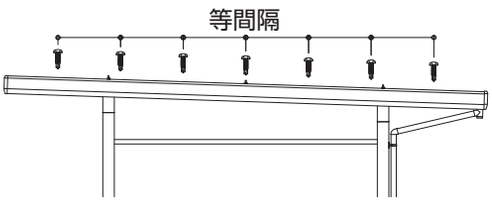
折板重なり部詳細



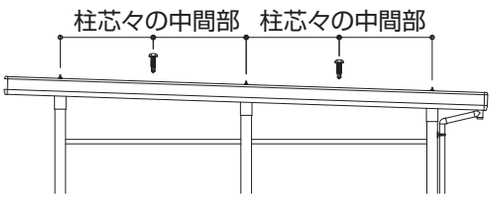
❷折板取付ナットで固定し、剣先キャップをたたき込んでください。

❸鼻隠し(側面)と折板をねじ止めしてください。

■側面から見た柱本数：2本



■側面から見た柱本数：3、4本



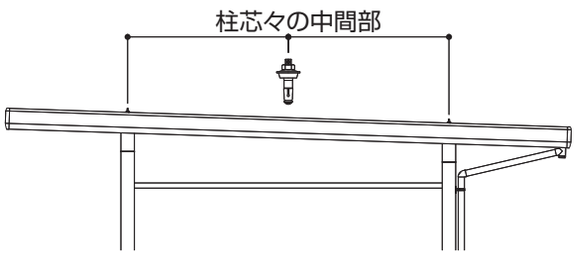
シーリング

鼻隠しねじ止め後、ねじ頭にシーリングを施してください。

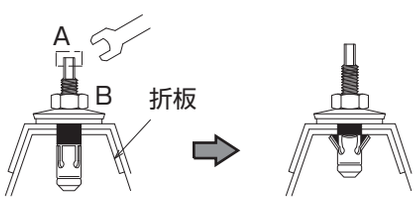
❹側面から見た柱本数が2本の場合は、ルーフボルトを取付けてください。

● ルーフボルトの取付位置

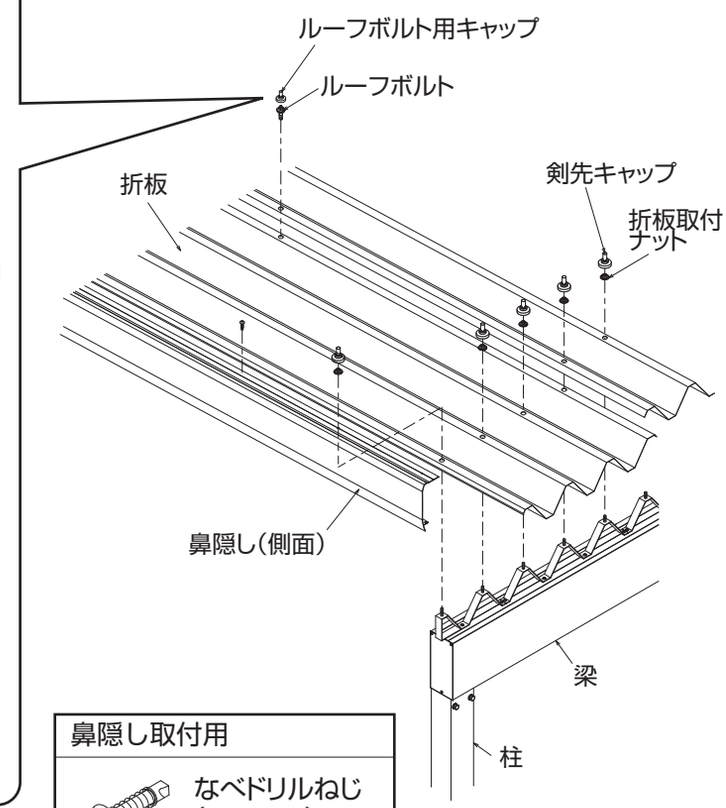
折板同士が重なり合う柱芯々の中間部にルーフボルトを取付けてください。



● ルーフボルトの取付方法



A部をスパナ等で固定しながらBボルトを締め付けてください。

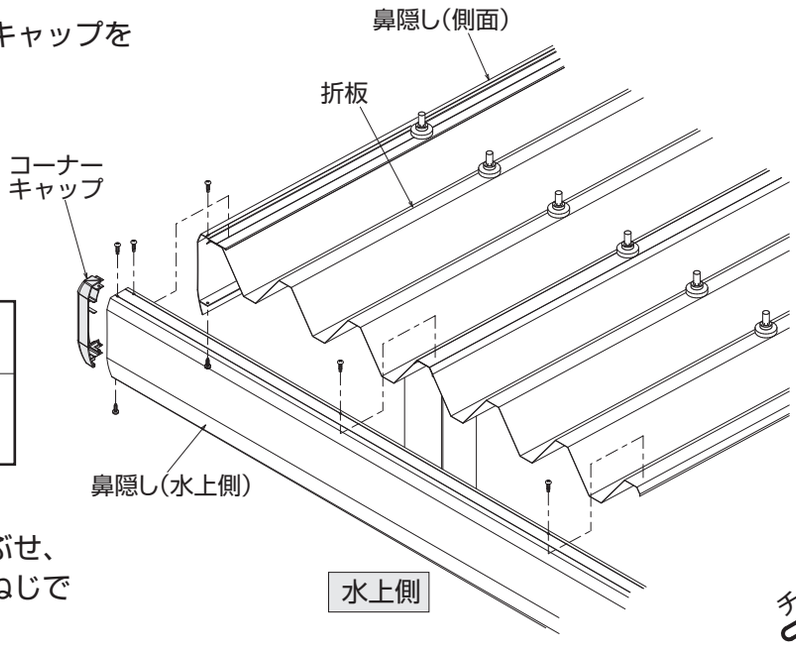


鼻隠し取付用

なべドリルねじ
(φ4×19)

8.鼻隠し(水上側)の取付

1鼻隠し(水上側)にコーナーキャップを
取付けてください。



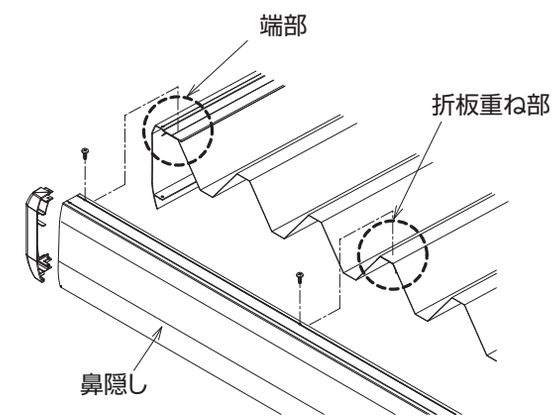
鼻隠し取付用 コーナーキャップ取付用
なべドリルねじ (φ4×19)

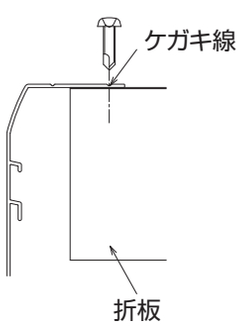
2鼻隠し(水上側)を折板にかぶせ、
鼻隠し(側面)をなべドリルねじで
連結してください。

チェック❶

3鼻隠し(水上側)の穴に合わせ、
現合で折板にねじ止めしてください。

※木調ラミネート色の場合は、鼻隠しに固定用の
穴があいていません。
現合にて端部・折板重ね部にねじ止めしてください。





お願い

ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。

ねじ浮き

斜め取付

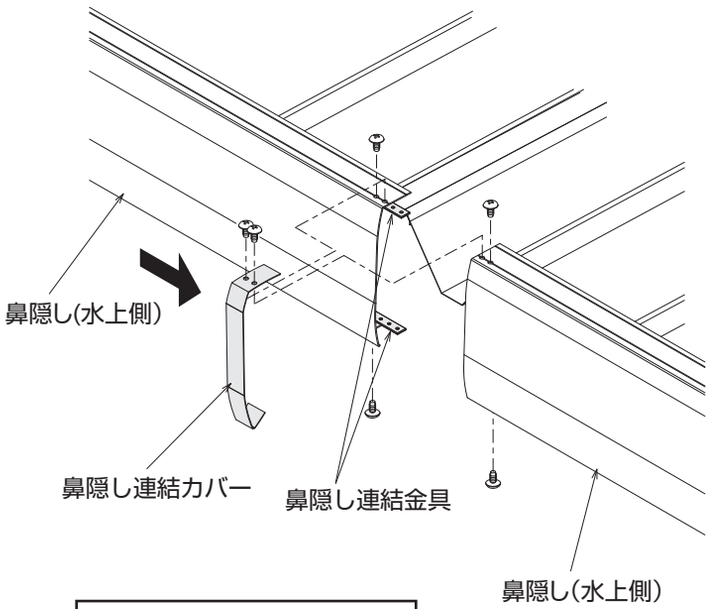
シーリング

ねじ止め後、ねじ頭にシーリングを施してください。

チェック❷

9.鼻隠し(水上側)の連結

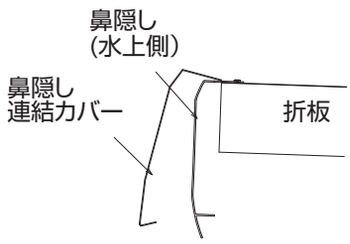
❶鼻隠しを鼻隠し連結金具で連結してください。



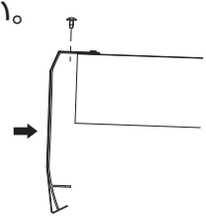
鼻隠し連結金具取付用
鼻隠し連結カバー取付用
トラスタッピンねじ
(φ5×10)

❷鼻隠し連結カバーを取付けてください。

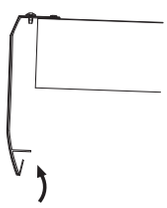
①鼻隠し連結カバーを鼻隠しに
はめ込んでください。



②鼻隠し連結カバーを押さえつけて、
ねじで固定してください。



③鼻隠し連結カバーの下部を
折り曲げてください。



チェック❷

シーリング

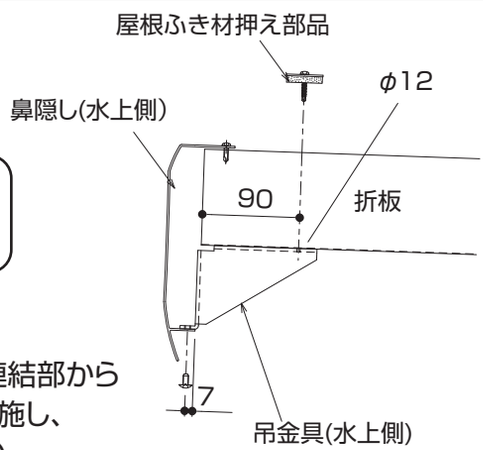
鼻隠し取付後、ねじ頭にシーリングを施してください。

❸吊金具を取付けてください。

①図を参考に、折板に穴加工
(φ12)を施してください。

ポイント

連結部から、左右どちらかの
折板の谷底にあけてください。



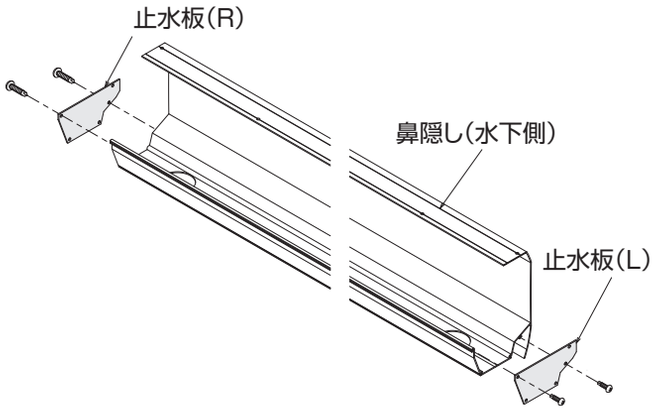
②折板の穴加工に合せ、鼻隠し連結部から
100㎜の所にφ6の穴加工を施し、
吊金具をねじ止めしてください。

③吊金具を折板に固定してください。

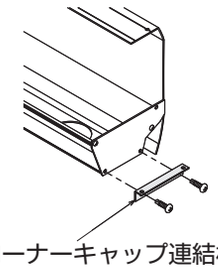
吊金具(水上側)取付用
トラスタッピンねじ
(φ5×10)

10.鼻隠し(水下側)の取付

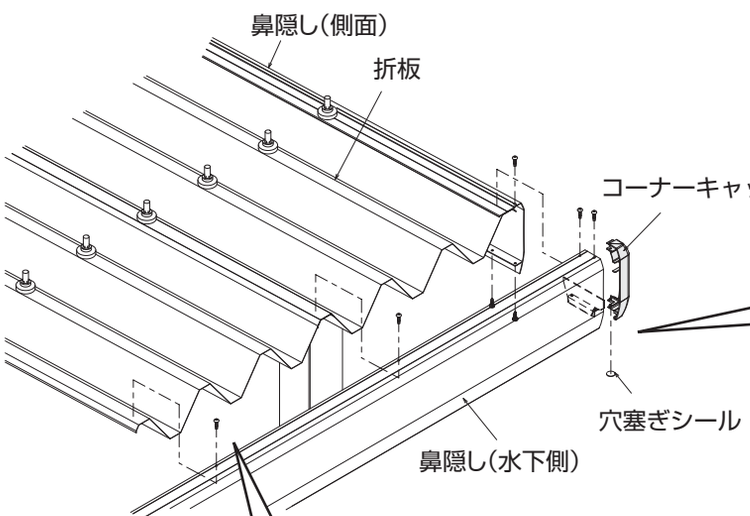
❶鼻隠し端部に止水板を取付けてください。



❷コーナーキャップ連結材を取付けてください。



止水板・コーナーキャップ連結材取付用
なべドリルねじ (φ4×19)



❸鼻隠し(水下側)にコーナーキャップを取付けてください。

ポイント

コーナーキャップの捨て穴に穴塞ぎシールを貼ってください。

❹鼻隠し(水下側)を折板にかぶせ、鼻隠し(側面)となべドリルねじで連結してください。

鼻隠し取付用 コーナーキャップ取付用
なべドリルねじ (φ4×19)

❺鼻隠し(水下側)の穴に合わせ、現合で折板にねじ止めしてください。

シーリング

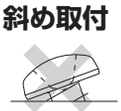
ねじ止め後、ねじ頭にシーリングを施してください。

お願い

ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。

ねじ浮き

斜め取付

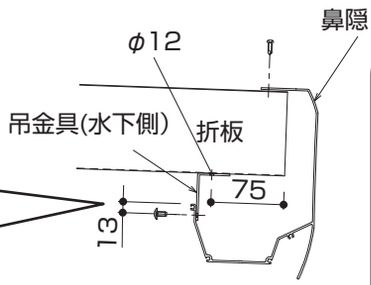


11.鼻隠し(水下側)の連結

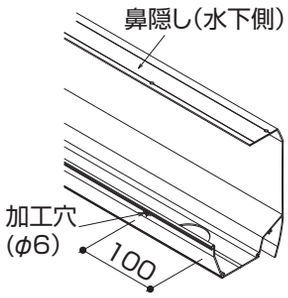
❶図を参考に、折板に穴加工(φ12)を施してください。

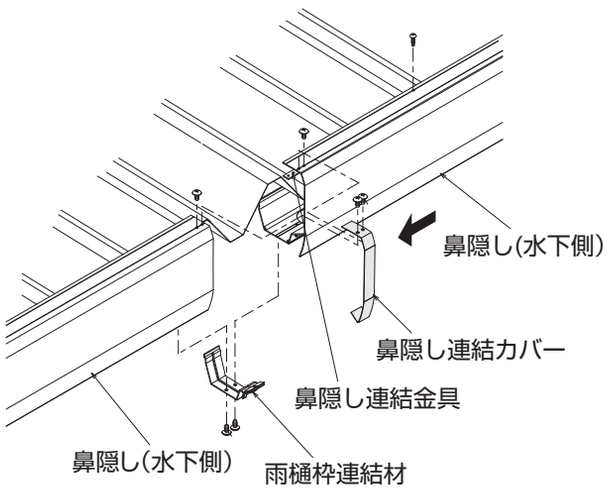
ポイント

連結部から、左右どちらかの折板の谷底にあけてください。



❷折板の穴加工に合せ、鼻隠し連結部から100㎜の所にφ6の穴加工を施してください。



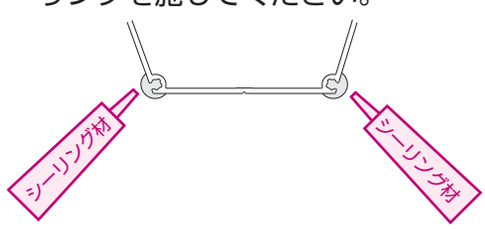


❸吊金具(水下側)を鼻隠しに取付けてください。

❹鼻隠しを鼻隠し連結金具で連結してください。

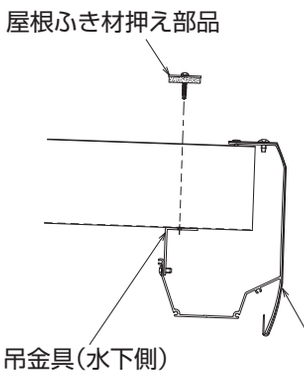
シーリング

連結部のねじホール部に
シーリングを施してください。



❺鼻隠し連結カバーを取付けてください。

❻吊金具を折板に固定してください。



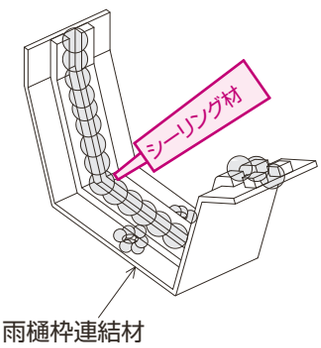
鼻隠し連結カバー取付用
雨樋枠連結材取付用
吊金具(水下側)取付用

トラスタッピンねじ
(φ5×10)

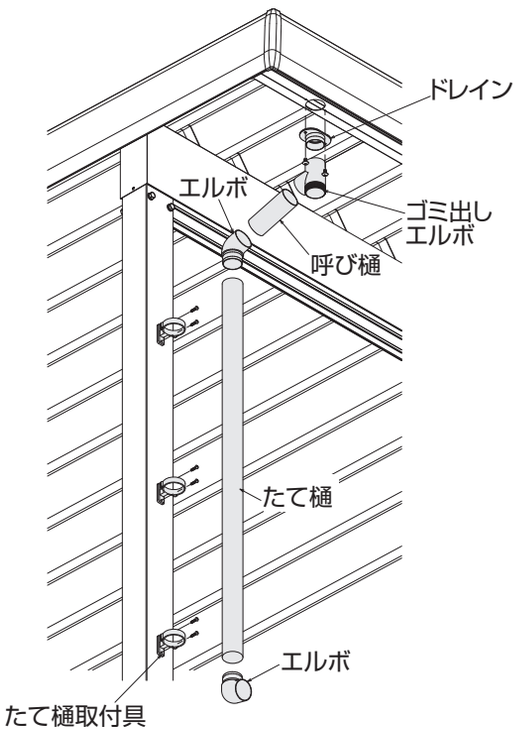
シーリング

鼻隠し取付後、ねじ頭にシーリングを施してください。

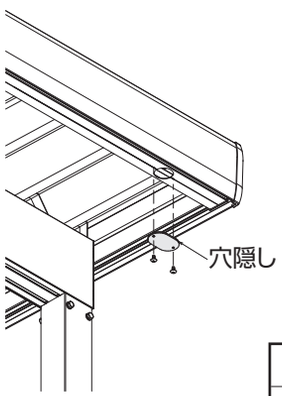
❼雨樋枠連結材の溝部に、シーリングを塗布し雨樋に取付けてください。



■雨樋の取付



接着剤にて順次組立ててください。



ドレイン・穴隠し取付用
トラスタッピンねじ（φ5×10）

たて樋取付具取付用
なべドリルねじ（φ4×19）

■同梱包一覧

■柱　GCD-(DS)A24#

品　名	柱
品　番	ー
個　数	2

■柱　GCD-(DS)A24#-1

品　名	柱
品　番	ー
個　数	1

■柱　GCD-(DS)A30#-1

品　名	柱
品　番	ー
個　数	1

■連棟用柱 GCD-(DS)AM24#-1

品　名	柱
品　番	ー
個　数	1

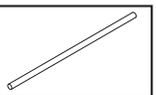
■連棟用梁(横連棟の場合) GCD-(DS)BM####

品　名	柱
品　番	ー
個　数	1

■連棟用梁(間口延長・3台用の場合) GCD-(DS)BT##E#

品　名	梁
品　番	ー
個　数	1

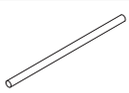
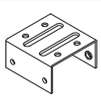
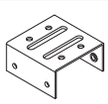
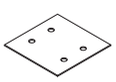
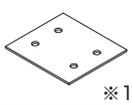
■鼻隠し(前・後)　GCD-(DS)D##

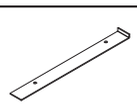
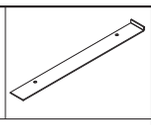
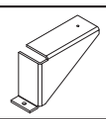
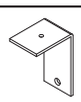
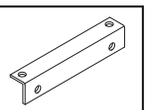
姿　図	——	——	
品　名	鼻隠し	鼻隠し	たて樋
品　番	ー	ー	**K-35418**
個　数	1	1	1
備　考	(水上側)	(水下側)	L=3000

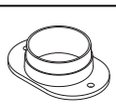
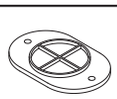
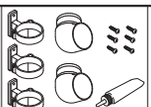
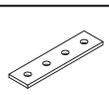
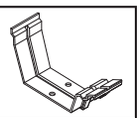
■鼻隠し(側面) GCD-(DS)C##

品　名	鼻隠し
品　番	ー
個　数	2
備　考	(側面)

■部品(角柱)　GCD-(DS)EM#-#[H]

姿　図								 ※1
品　名	柱アンカー	梁キャップ		柱･梁連結金具		裏板	柱キャップ	スペーサ
品　番	**K-11711**	**2K-36090**	**2K-36091**	**5K-11168**	**5K-11169**	**5K-11171**	**5K-11172**	**5K-11173**
GCD-(DS)EMB-4[H]	4	4	ー	4 [–]	– [4]	8	– [4]	– [4]
GCD-(DS)EMB-6[H]	6	6	ー	6 [–]	– [6]	12	– [6]	– [6]
GCD-(DS)EMC-4[H]	4	ー	4	– [4]	4 [–]	8	4 [4]	ー
GCD-(DS)EMC-6[H]	6	ー	6	– [6]	6 [–]	12	6 [6]	ー
GCD-(DS)EMC-8[H]	8	ー	8	– [8]	8 [–]	16	8 [8]	ー
備　考	L=200mm	250用	280用	□120柱用	□130柱用			

姿　図								
品　名	梁連結カバー		吊金具		止水板		コーナーキャップ	コーナーキャップ 連結材
品　番	**5K-11178**	**5K-11179**	**3K-18990**	**3K-18991**	**5K-10039**	**5K-10040**	**2K-35753**	**3K-19190**
GCD-(DS)EMB-4[H]	4	–	1	1	1	1	4	2
GCD-(DS)EMB-6[H]	6	–	1	1	1	1	4	2
GCD-(DS)EMC-4[H]	–	4	1	1	1	1	4	2
GCD-(DS)EMC-6[H]	–	6	1	1	1	1	4	2
GCD-(DS)EMC-8[H]	–	8	1	1	1	1	4	2
備　考	250用	280用	水上側	水下側	L	R		

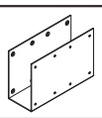
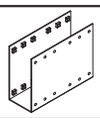
姿　図							
品　名	ドレイン	穴隠し	穴塞ぎシール	雨樋セット	ゴミ出しエルボ	鼻隠し連結金具	鼻隠し連結カバー	雨樋枠連結材
品　番	**K-36979**	**K-36980**	**K-41844**	**EA-C6**	**2K-36149**	**3K-18989**	**5K-10041**	**5K-11243**
GCD-(DS)EMB-4[H]	2	2	2	2	2	3	2	1
GCD-(DS)EMB-6[H]	2	2	2	2	2	3	2	1
GCD-(DS)EMC-4[H]	2	2	2	2	2	3	2	1
GCD-(DS)EMC-6[H]	2	2	2	2	2	3	2	1
GCD-(DS)EMC-8[H]	2	2	2	2	2	3	2	1
備　考			φ10					

22 同梱包一覧

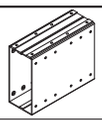
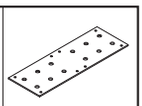
姿　図							※2	——
品　名	屋根ふき材押え部品	座金組込六角ボルト(M10×20)	六角ボルト(M10×30)	六角ナット(M10用)	スプリングワッシャ(M10用)	トラスタッピンねじ(φ5×10)	なべドリルねじ(φ4×19)	組立施工説明書
品　番	**3K-14421**	**3K-18992**	**SBH-M10030**	**N-M10**	**SW-10**	**ET-5010**	**K-13526**	–
GCD-(DS)EMB-4[H]	2	48	16	16	16	24	100	1
GCD-(DS)EMB-6[H]	2	72	24	24	24	24	100	1
GCD-(DS)EMC-4[H]	2	64	16	16	16	24	100	1
GCD-(DS)EMC-6[H]	2	96	24	24	24	24	100	1
GCD-(DS)EMC-8[H]	2	128	32	32	32	24	112	1
備　考		柱梁連結材取付用	柱梁連結金具取付用	柱梁連結金具取付用	柱梁連結金具取付用	その他	その他	

[　]は、ハイルーフ柱H3000の場合
※1 梁見付けが280㎜の場合、必要ありません。
※2 本体サイズによっては余ります。

■梁連結部品(横連棟の場合)　GCD-(DS)EN#-#

姿　図		
品　名	梁連結材	
品　番	**5K-11176**	**5K-11177**
GCD-(DS)ENB-2	2	—
GCD-(DS)ENB-3	3	—
GCD-(DS)ENC-2	—	2
GCD-(DS)ENC-3	—	3
備　考	250用	280用

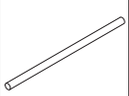
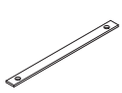
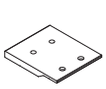
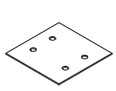
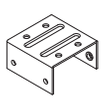
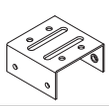
■梁連結部品(間口延長・3台用の場合)　GCD-(DS)ET-#

姿　図			
品　名	裏板(3台用)	梁連結金具	梁連結カバー(下面用)
品　番	**5K-11261**	**5K-11181**	**5K-11182**
GCD-(DS)ET-1	—	1	—
GCD-(DS)ET-2	4	2	2
備　考			

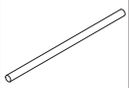
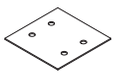
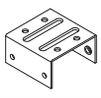
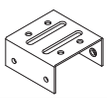
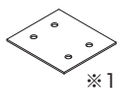
姿　図									
品　名	六角ボルト(M10×30)	スプリングワッシャ(M10用)	ワッシャ(M10用)	六角ボルト(M10×30)	六角ナット(M10用)	スプリングワッシャ(M10用)	ワッシャ(M10用)	六角袋ナット	トラスタッピンねじ(φ5×16)
品　番	**SBH-M10030**	**SW-10**	**W-10**	**SBH-M10030**	**N-M10**	**SW-10**	**W-10**	**FN-10**	**ET-5016**
GCD-(DS)ET-1	8	8	8	—	—	—	—	—	—
GCD-(DS)ET-2	16	16	16	24	24	24	24	24	16
備　考	梁連結材(梁上部用)取付用			梁連結カバー(梁下部用)取付用					

間口延長の場合、部品が余ります。

■連棟用柱部品(角柱標準)　GCD-(DS)EL#-#

姿　図							
品　名	柱アンカー	連棟用裏板	柱連結材	柱キャップ	柱･梁連結金具		座金組込六角ボルト(M10×20)
品　番	**K-11711**	**4K-12568**	**5K-11180**	**5K-11172**	**5K-11168**	**5K-11169**	**3K-18992**
GCD-(DS)ELA-2	2	4	4	2	—	2	24
GCD-(DS)ELA-3	3	6	6	3	—	3	36
GCD-(DS)ELB-2	2	4	4	2	2	—	24
GCD-(DS)ELB-3	3	6	6	3	3	—	36
備　考					□120柱用	□130柱用	柱・梁連結用

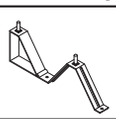
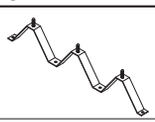
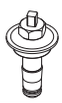
■連棟用柱部品(角柱ハイルーフ)　GCD-(DS)EL#-#H

姿　図						 ※1	
品　名	柱アンカー	連棟用裏板	柱キャップ	柱・梁連結金具		スペーサ	座金組込六角ボルト(M10×20)
品　番	**K-11711**	**5K-11171**	**5K-11172**	**5K-11168**	**5K-11169**	**5K-11173**	**3K-18992**
GCD-(DS)ELA-4H	4	8	4	–	4	4	16
GCD-(DS)ELA-6H	6	12	6	–	6	6	24
GCD-(DS)ELB-4H	4	8	4	4	–	–	16
GCD-(DS)ELB-6H	6	12	6	6	–	–	24
備　考				□120柱用	□130柱用		柱・梁連結用

※1 梁見付けが280㎜の場合、必要ありません。

姿　図			
品　名	六角ボルト(M10×30)	六角ナット(M10用)	スプリングワッシャ(M10用)
品　番	**SBH-M10030**	**N-M10**	**SW-10**
GCD-(DS)ELA-4H	16	16	16
GCD-(DS)ELA-6H	24	24	24
GCD-(DS)ELB-4H	16	16	16
GCD-(DS)ELB-6H	24	24	24
備　考	柱・梁連結金具取付用		

■タイトフレーム　GCD-(DS)F##-##

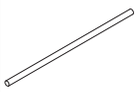
姿　図							
品　名	タイトフレーム	タイトフレーム	折板取付ナット	剣先キャップ	ルーフボルト	ルーフボルト用キャップ	トラスタッピンねじ(φ5×10)
品　番	**4K-19023**	**4K-19024**	**4K-19025**	**2K-35365**	**5K-10043**	**2K-35755**	**ET-5010**
GCD-(DS)F18-4	4	4	20	20	2	2	24
GCD-(DS)F18-6N	6	6	30	30	–	–	36
GCD-(DS)F18-8N	8	8	40	40	–	–	48
GCD-(DS)F30-4	4	8	32	32	4	4	40
GCD-(DS)F30-6N	6	12	48	48	–	–	60
備　考	端部	中間部					タイトフレーム取付用

■横連棟用タイトフレーム　GCD-FM##-##

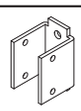
姿　図						
品　名	タイトフレーム	折板取付ナット	剣先キャップ	ルーフボルト	ルーフボルト用キャップ	トラスタッピンねじ(φ5×10)
品　番	**4K-19024**	**4K-19025**	**2K-35365**	**5K-10043**	**2K-35755**	**ET-5010**
GCD-FM55-4	18	54	54	9	9	72
GCD-FM55-6N	27	81	81	–	–	108
GCD-FM60-4	20	60	60	10	10	80
GCD-FM60-6N	30	90	90	–	–	120
GCD-FM60-8N	40	120	120	–	–	160
備　考	中間部					タイトフレーム取付用

24 同梱包一覧

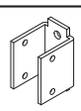
■たて樋　GCD-(DS)KT##

姿　図	
品　名	たて樋(L寸法)
品　番	**K-35418**
GCD-(DS)KT13	1(1300)
CPE-(DS)KT30	1(3000)
備　考	

■横材　GCD-(DS)H##-##

姿　図	——		
品　名	横材(L寸法)	横材ブラケット	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品　番	—	**4K-12570**	**ET-5010**
GCD-(DS)H2A-55	2(2981)	4	24
GCD-(DS)H2A-60	2(3281)	4	24
GCD-(DS)H2B-55	2(2971)	4	24
GCD-(DS)H2B-60	2(3271)	4	24
GCD-(DS)H3A	4(1981)	8	48
GCD-(DS)H3B	4(1971)	8	48
GCD-(DS)H4B	6(1371)	12	72
備　考			横材取付用

■連棟用横材　GCD-HM#B-##

姿　図	——		
品　名	横材(L寸法)	横材ブラケット	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品　番	—	**4K-12570**	**ET-5010**
GCD-HM2B-55	1(2971)	2	12
GCD-HM2B-60	1(3271)	2	12
GCD-HM3B	2(1971)	4	24
GCD-HM4B	3(1371)	6	36
備　考			横材取付用

組立・施工説明書 SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ 波板パネル

'11-2月 発行

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…
取扱説明書を施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する組立・施工業者様向けの内容となっております。
商品の不具合や組立・施工作業には危険が伴いますので、組立・施工は専門知識を有する組立・施工業者様が行ってください。

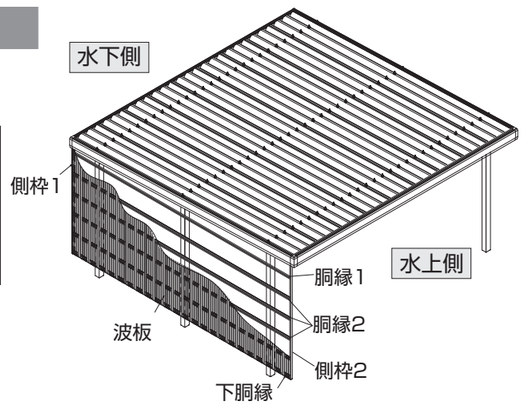
お願い

- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
  締め付け不良は事故の原因になります。
- みだりに改造や変更はしないでください。

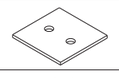
- 本説明書は**SSポートGⅡ／ゆき盛くんⅡ／耐風くんⅡ** 波板パネルの組立・施工要領について説明しています。本体の組立・施工については同梱包の組立・施工説明書を併せてご覧ください。
- 内側施工金具を使用する場合、同ユニットに梱包の組立・施工説明書をご覧ください。

全体構成図

本体の左右どちらの側面に波板パネルを取付けるかにより、
切断・加工等が左右逆になりますのでご注意ください。
ここでの切詰・加工は、全体構成図と同じ側面（内観左：水上側）に波板パネルを取付ける場合について示しています。



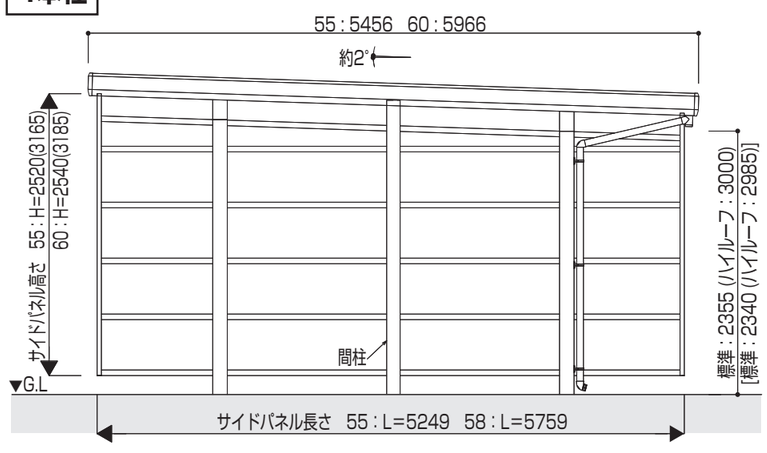
同梱包部品一覧

姿　図						——
品　名	小口カバー	波板固定ねじ	なべドリルねじ（φ5×19）	トラスタッピンねじ（φ5×10）	トラスタッピンねじ（φ5×10）	組立・施工説明書
品　番	**4K-15493**	**3K-11470**	**3K-16449**	**ET-5010**	**ET-5010**	–
8SP-(DS)A5224	2	168+2(予備)	48+2(予備)	12	4+2(予備)	1
8SP-(DS)A5824	2	186+2(予備)	48+2(予備)	12	4+2(予備)	
8SP-(DS)A5230	2	196+2(予備)	56+2(予備)	14	4+2(予備)	
8SP-(DS)A5830	2	217+2(予備)	56+2(予備)	14	4+2(予備)	
備　考		波板取付用	胴縁取付用	側枠取付用	小口カバー取付用	

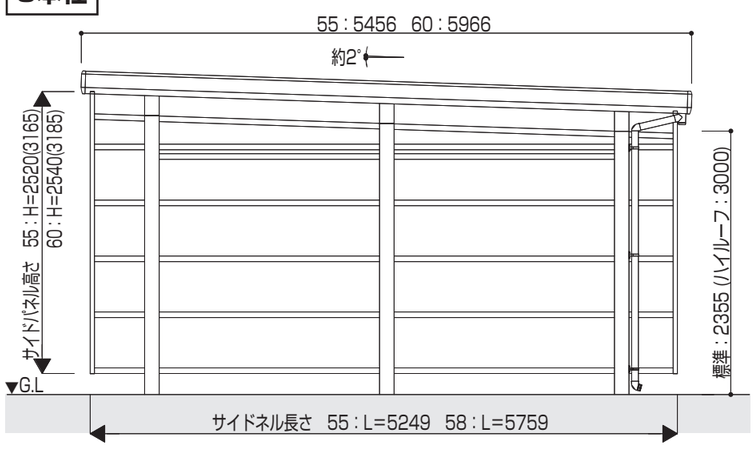
寸法図

( )内寸法は、h3000の場合
[ ]内寸法は、ゆき盛りくんⅡの場合

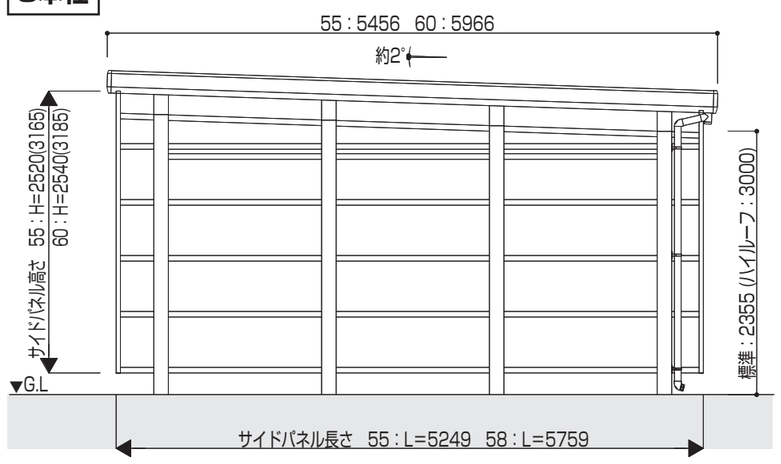
4本柱



6本柱



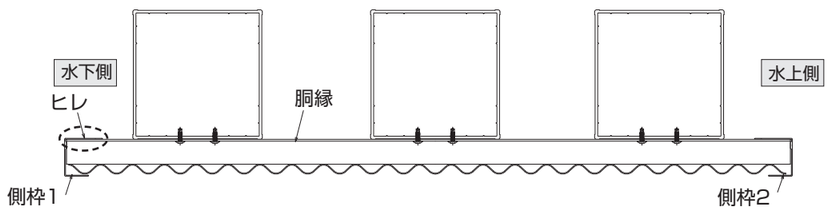
8本柱



1.切詰・加工

1 側枠の切詰・加工

取付けの際、側枠の長い方のヒレが柱側になります。側枠1、2の向きを確認の上、水下側に用いる側枠1を切詰めてください。

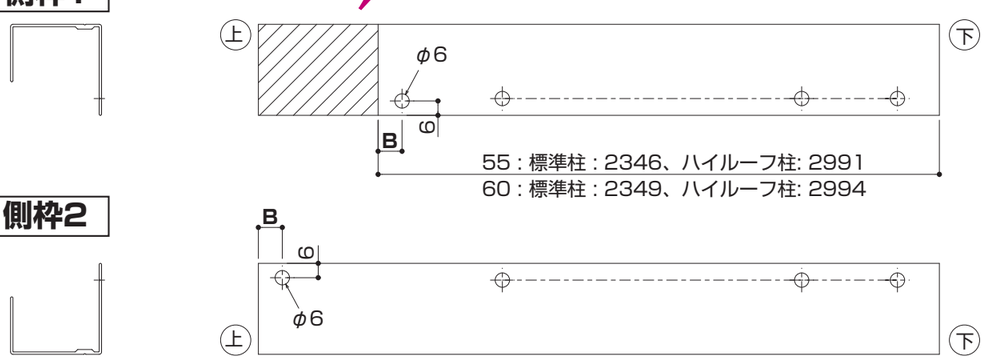


● B寸法表

梁の見付高さ	150	250	280
B	110	210	240

注　意
側枠には上下の方向があります。加工のない側(上側)から切詰してください。

側枠1



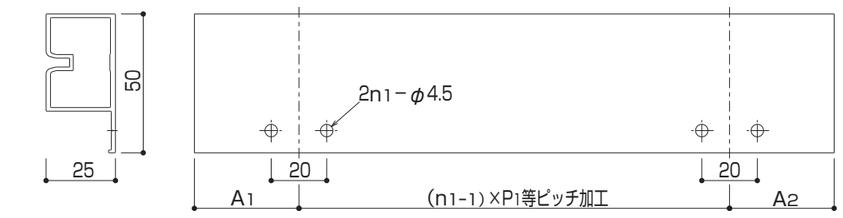
側枠2

2 胴縁・下胴縁加工

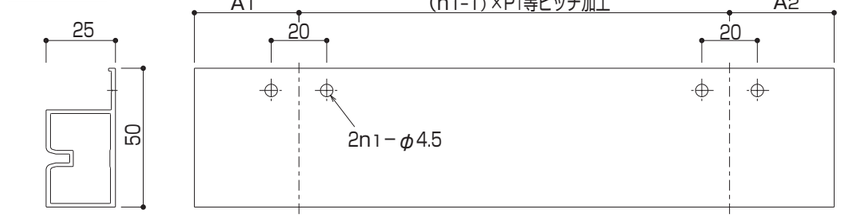
カーポート本体		n1	出幅寸法		加工ピッチ P1
L	柱本数		A1	A2	
55	4	1	1096	1049	3100
60			1202	1153	3400
55	6	2	549	496	2100
60			805	750	2100
55	8	3	399	346	1500
60			655	600	1500

ポイント
- 柱移動をした場合は、柱位置に合わせて下穴（φ4.5）をあけてください。
- 胴縁1、2は同寸法、同形材ですが、取付ける向きが異なるため、ここでは区別しています。

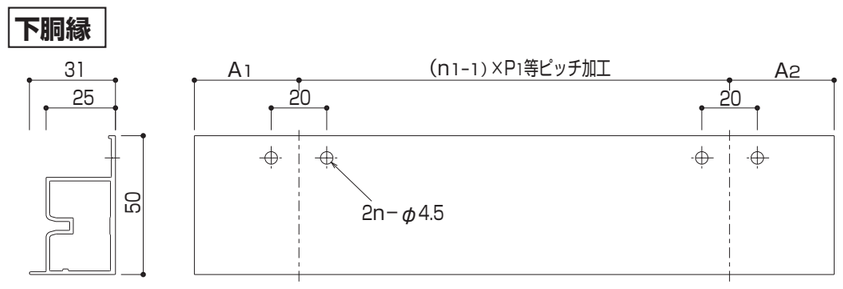
胴縁1



胴縁2



下胴縁



2.胴縁・側枠の取付

❸左右の側枠を胴縁1に取付けてください。

側板取付用
トラスタッピンねじ（φ5×10）

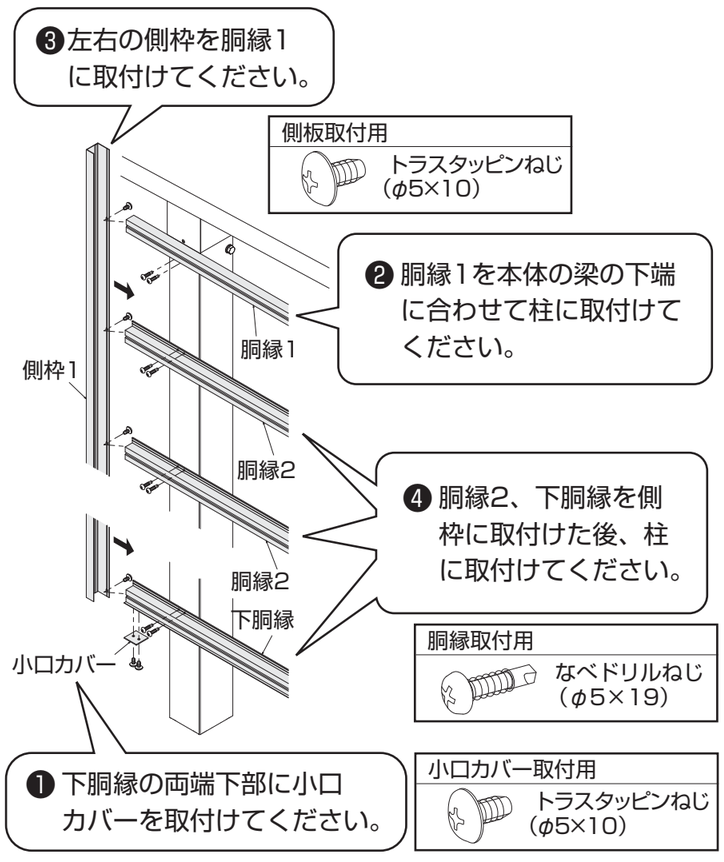
❷胴縁1を本体の梁の下端に合わせて柱に取付けてください。

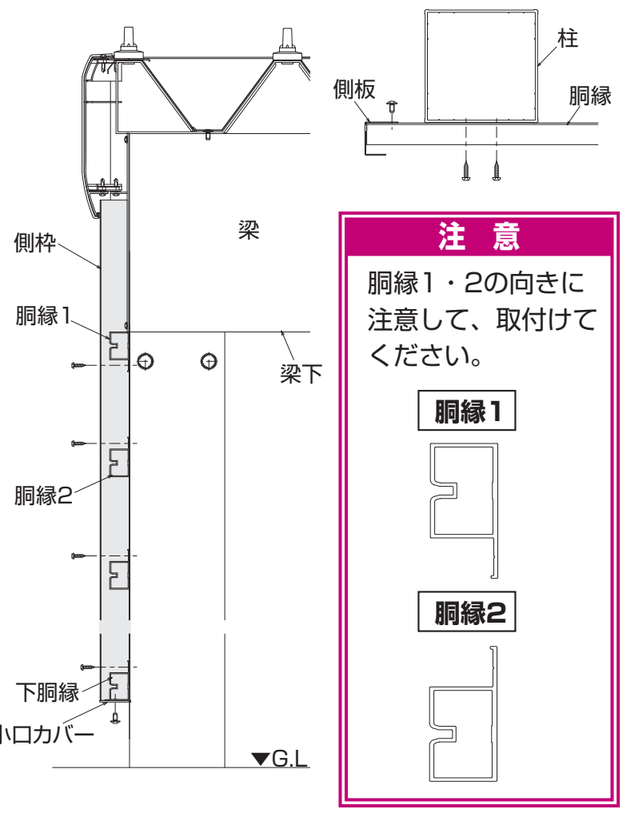
❹胴縁2、下胴縁を側枠に取付けた後、柱に取付けてください。

胴縁取付用
なべドリルねじ（φ5×19）

❶下胴縁の両端下部に小口カバーを取付けてください。

小口カバー取付用
トラスタッピンねじ（φ5×10）





注　意
胴縁1・2の向きに注意して、取付けてください。

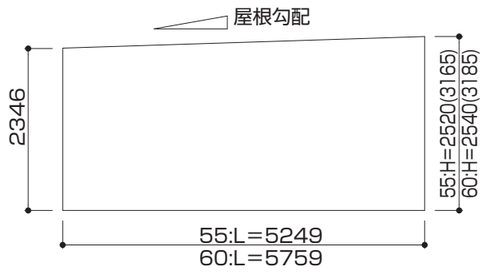
胴縁1

胴縁2

3.波板の取付

1 波板の切断

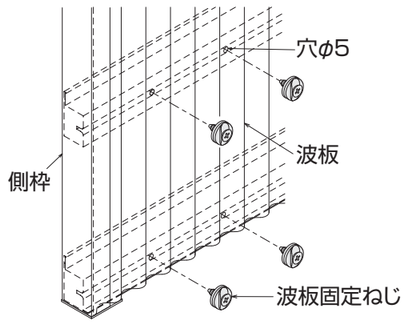
波板上部を現合で切断してください。
(参考：下図は屋根勾配2° の場合の寸法図です。)



ポイント
波板と波板の重なり代(2山以上)を考慮してください。

2 波板の固定

波板にφ5の穴を胴縁の溝に沿ってあけ、波板を取付けてください。



ポイント
- 波板の重なり代は2山以上とし、重なり部、端部は必ず固定してください。
- 波板は200mm以下のピッチで山面で固定してください。

DS　No. XAAAX-K10-701B1　Y

組立・施工説明書 SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ 変形敷地対応納まり

'11-2月 発行 1ページ

このたびは､本商品をご採用いただき誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工していただくために､説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については､必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…
取扱説明書を施主様にお渡しください。

本説明書は､**SSポートGⅡ／ゆき盛くんⅡ／耐風くんⅡ**を変形敷地で施工する場合の屋根部の加工・切断・取付要領について説明しています。
本体の組立・施工については本体に同梱包の組立・施工説明書を併せてご覧ください。

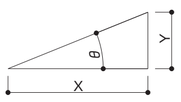
折板カットのポイント
- 折板のカットは､マキタ製 ニブラ(品番：JN1601)等を使用すると容易にカットできます。
- 折板にテープを貼って位置決めすると､容易にカットできます。

注　意
- カーポートを傾斜地に設置する場合は､低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。
  商品に倒壊のおそれがあります。
- 屋根ふき材(折板)の取付は､基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
  基礎コンクリートは4～7日の養生期間が必要です。

お願い
- 組立は､所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
  締め付け不良は事故の原因になります。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には取付けないでください。
- ユニットの組替え等により製作する場合は製作範囲を確認して製作してください。
  製作範囲を超えると事故(人損・物損)の原因になります。
- 基礎コンクリートには**塩素系の混和剤(急結剤)や海砂を使用しない**でください。
  柱の腐食の原因になります。

本説明書は専門知識を有する組立・施工業者様向けの内容となっております。
商品の不具合や組立・施工作業には危険が伴いますので､組立・施工は専門知識を有する組立・施工業者様が行ってください。

角度割り出し表・三角関数表



θ	X	Y	cosθ	tanθ
1.0°	1000	17	0.99985	0.01746
1.5°		26	0.99966	0.02619
2.0°		35	0.99939	0.03492
2.5°		44	0.99905	0.04366
3.0°		52	0.99863	0.05241
3.5°		61	0.99813	0.06116
4.0°		70	0.99756	0.06993
4.5°		79	0.99692	0.07870
5.0°		87	0.99619	0.08749
6.0°		105	0.99452	0.10510
7.0°		123	0.99255	0.12278
8.0°		141	0.99027	0.14054
9.0°		158	0.98769	0.15838

同梱包部品一覧

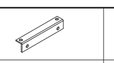
■出隅自在コーナー部品 GCD-(DS)EH-A

姿図				
品名	出隅自在コーナーキャップA	出隅自在コーナーキャップB	なべドリルねじ(φ4×19)	なべドリルねじ(φ4×19)
図番	2K-36092	2K-36093	K-13526	K-13526
個数	2	2	12	2
備考			出隅自在コーナーキャップ取付用	鼻隠し取付用

■雨樋部品 GCD-(DS)EH-C

姿図						
品名	雨樋セット	ゴミ出しエルボ	止水板	止水板	ドレイン(φ4×19)	なべドリルねじ
図番	EA- C6	2K-36149	5K-10039	5K-10040	K-36979	K-13526
個数	1	1	1	1	1	8
備考			L	R		止水板取付用

■入隅コーナー部品 GCD-(DS)EH-B

姿図										
品名	コーナーキャップ	入隅コーナーキャップ	入隅コーナー連結金具	コーナーキャップ連結材	なべドリルねじ(φ4×19)	なべドリルねじ(φ4×19)	なべドリルねじ(φ4×19)	なべドリルねじ(φ4×19)	なべドリルねじ(φ4×19)	穴塞ぎシール
図番	2K-35753	2K-36094	3K-19840	3K-19190	K-13526	K-13526	K-13526	K-13526	K-13526	K-41844
個数	1	1	1	1	4	3	2	1	2	1
備考					コーナーキャップ取付用	入隅コーナーキャップ取付用	入隅コーナー連結金具取付用	コーナーキャップ連結材取付用	鼻隠し取付用	

■たて樋 GCD-(DS)KT30

姿図	
品名	たて樋
図番	K-35418
個数	1
備考	L=3000

■たて樋 GCD-(DS)KT13

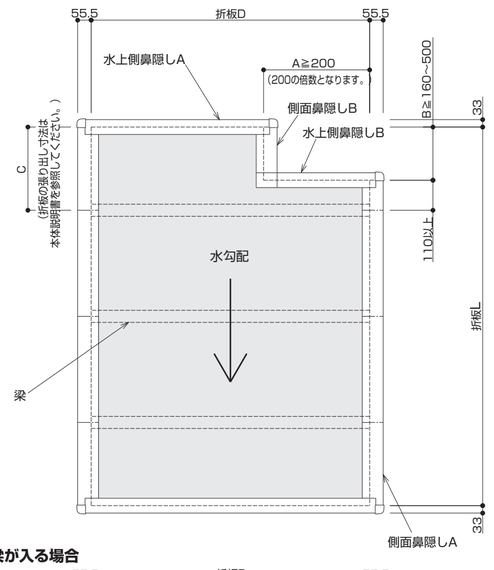
姿図	
品名	たて樋
図番	K-35418
個数	1
備考	L=1300

加工・切断・取付要領

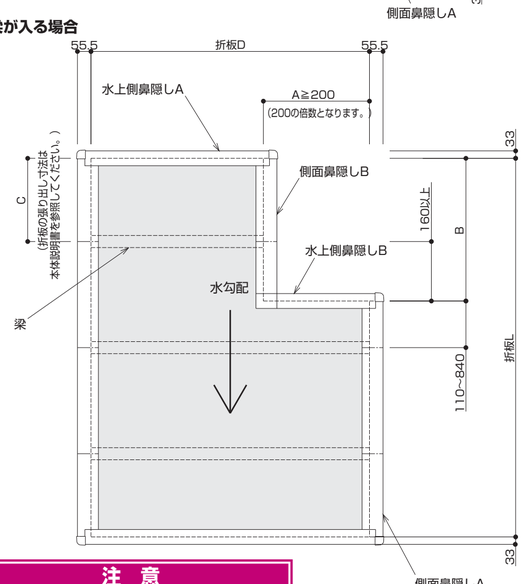
入隅(水上側)

■製作制限

●入隅部に梁が入らない場合



●入隅部に梁が入る場合



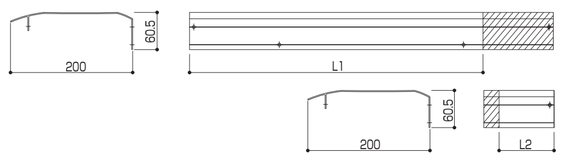
注　意
4本柱の場合、梁を超えて切詰めることはできません。

■切断・加工要領

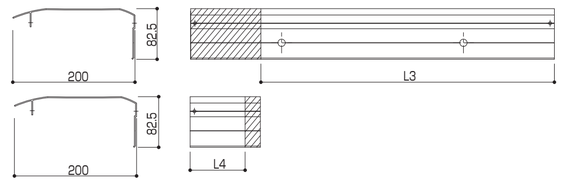
〈切断寸法表〉

	条件		折板		水上側鼻隠しA	水上側鼻隠しB	側面鼻隠しA	側面鼻隠しB	梁
	D	L	A	B	L1=D−A+46	L2=A−33.5	L3=L−B	L4=B−33.5	L5=D−A
寸法例	5400	5390	1200	300	4246	1166.5	5090	266.5	4200

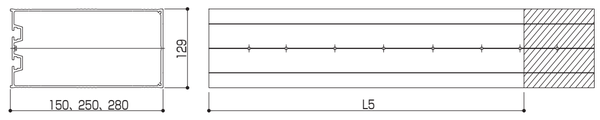
●水上側鼻隠し



●側面鼻隠し



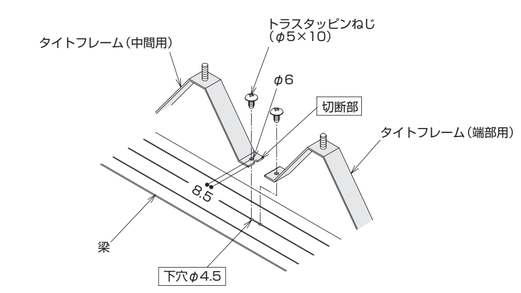
●梁(入隅部に梁が入る場合)



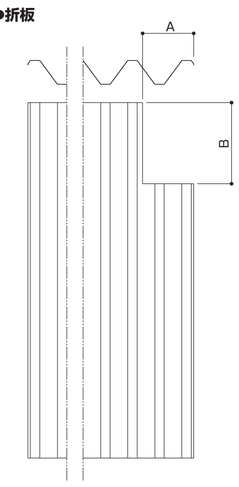
●タイトフレーム
梁を切詰めた場合、タイトフレーム(中間部)に加工が必要な場合があります。

梁の切詰め寸法(単位:㎜)	タイトフレーム(中間用)の切断
600の倍数	切断無
600以外の200ピッチでの切詰め	タイトフレーム谷の中心200ピッチ

1 タイトフレーム中間用を切断してください。
2 切断面から8.5㎜の位置に穴加工(φ6)を施してください。
3 梁に現合で下穴(φ4.5)をあけ、タイトフレームを取付けてください。



●折板

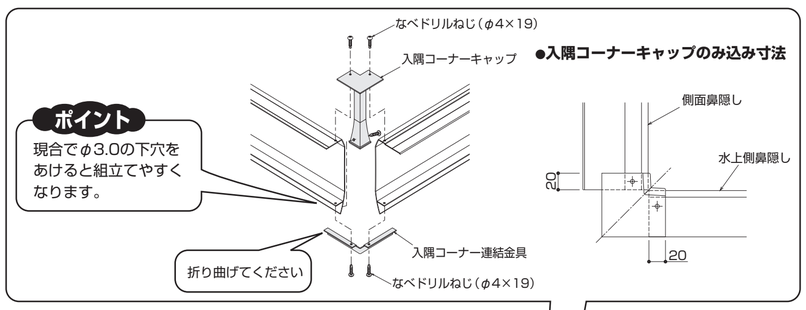


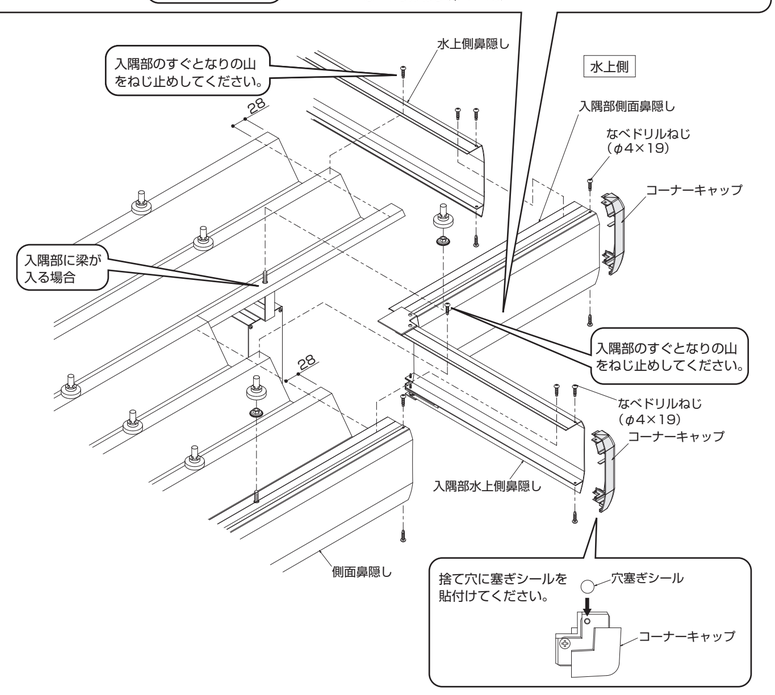
■取付要領

❶側面鼻隠しを本体説明書を参考に取付けてください。
❷折板の端部から、28㎜ の位置に水性ペン、またはテープ等で印を付けてください。(図参照)

ポイント
折板にケガキ線などのキズをつけるとサビの原因になります。

❸入隅部の水上側鼻隠しと側面鼻隠しを入隅部の角度に合わせて折り曲げた入隅コーナー連結金具と入隅コーナーキャップで連結してください。
❹連結した入隅部水上側鼻隠しの端部にコーナーキャップを取付け、折板の印に合わせてかぶせ、側面鼻隠しと連結してください。
❺水上側鼻隠しにコーナーキャップを取付け、折板にかぶせて、入隅部側面鼻隠しと連結してください。
❻鼻隠しの穴に合わせ、現合で折板にねじ止めしてください。

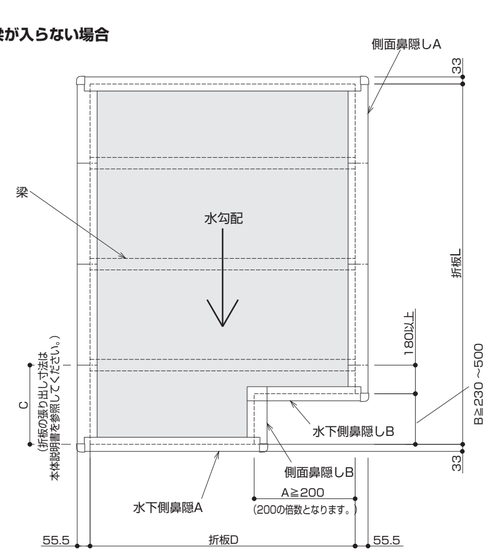




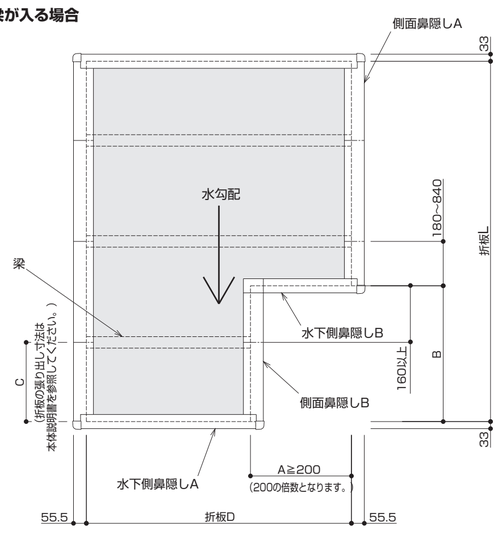
入隅(水下側)

■製作制限

●入隅部に梁が入らない場合



●入隅部に梁が入る場合



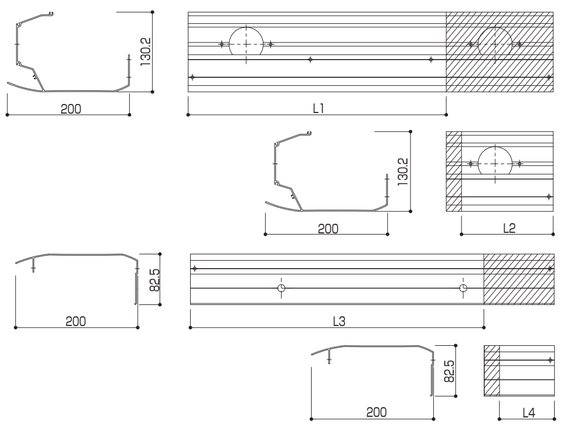
注　意
4本柱の場合、梁を超えて切詰めることはできません。

■切断・加工要領

〈切断寸法表〉

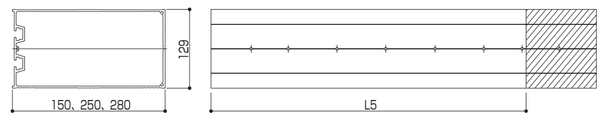
	条件		折板		水下側鼻隠しA	水下側鼻隠しB	側面鼻隠しA	側面鼻隠しB	桁
	D	L	A	B	L1=D−A+46	L2=A−19	L3=L−B	L4=B−33.5	L5=D−A
寸法例	5400	5390	1200	300	4246	1181	5090	271	4200

●水下側鼻隠し



●側面鼻隠し

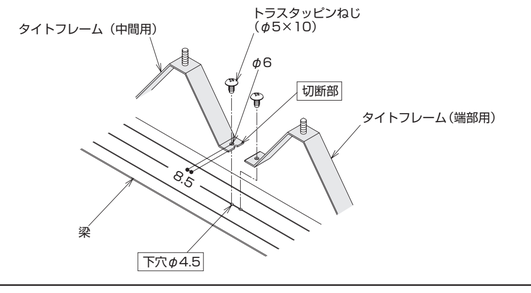
●梁(入隅部に梁が入る場合)



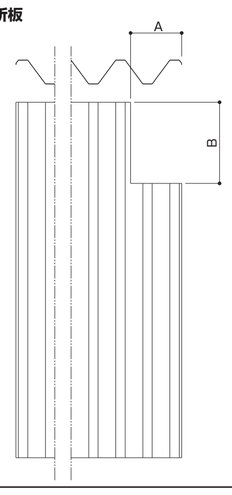
●タイトフレーム
梁を切詰めた場合、タイトフレーム(中間部)に加工が必要な場合があります。

梁の切詰め寸法(単位:㎜)	タイトフレーム(中間用)の切断
600の倍数	切断無
600以外の200ピッチでの切詰め	タイトフレーム谷の中心200ピッチ

1 タイトフレーム中間用を切断してください。
2 切断面から8.5㎜の位置に穴加工(φ6)を施してください。
3 梁に現合で下穴(φ4.5)をあけ、タイトフレームを取付けてください。



●折板

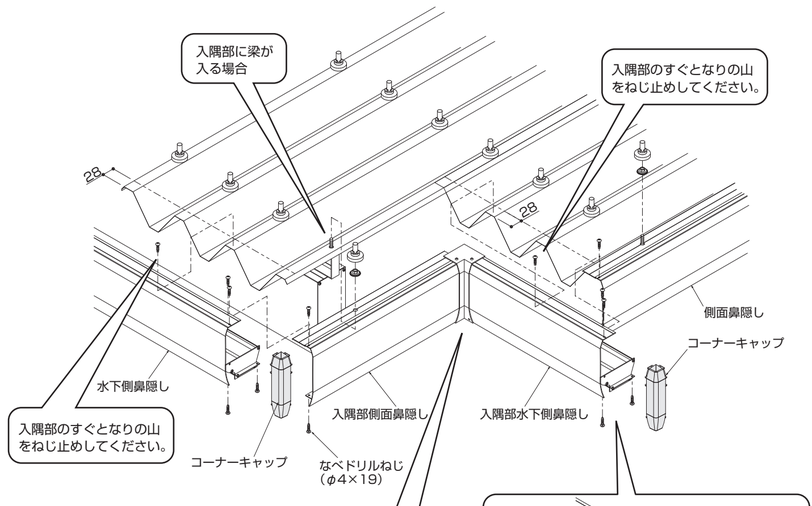


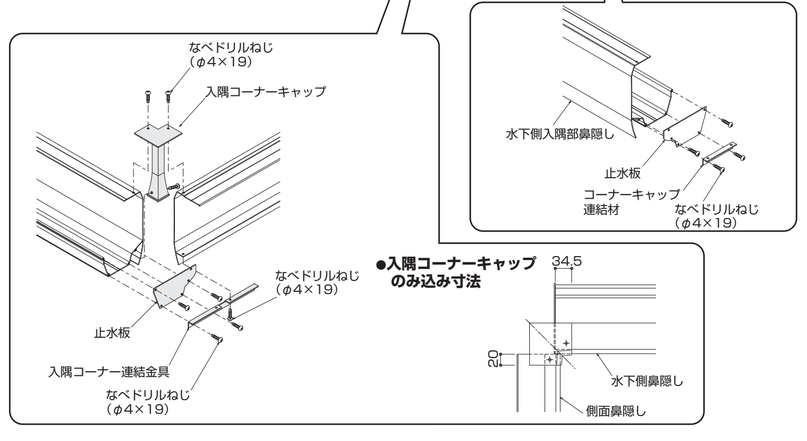
■取付要領

❶側面鼻隠しを本体説明書を参考に取付けてください。
❷折板の端部から、28㎜ の位置に水性ペン、またはテープ等で印を付けてください。(図参照)

ポイント
折板にケガキ線などのキズをつけるとサビの原因になります。

❸水下側鼻隠しの端部に止水板を取付けてください。
入隅部の水下側鼻隠しの外側端部は、止水板とコーナーキャップ連結材を共締めしてください。
内側端部は、止水板と入隅コーナー連結金具を共締めしてください。
❹入隅部の水下側鼻隠しと側面鼻隠しをコーナー連結金具と入隅コーナーキャップで連結してください。
❺連結した入隅部水下側鼻隠しの端部にコーナーキャップを取付け、折板の印に合わせてかぶせ、側面鼻隠しと連結してください。
❻水下側鼻隠しにコーナーキャップを取付け、折板にかぶせて、入隅部側面鼻隠しと連結してください。
❼鼻隠しの穴に合わせ、現合で折板にねじ止めしてください。

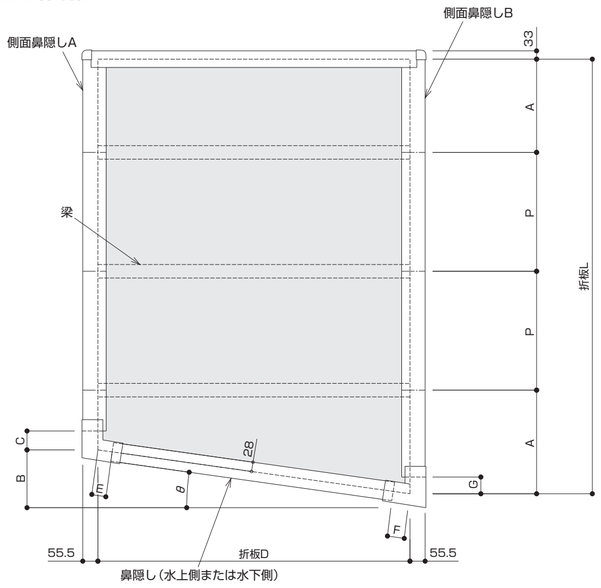




組立・施工説明書 SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ 変形敷地対応納まり

出隅A

■製作制限



カーポート寸法			折板寸法		対応可能角度
柱本数	呼称長さ	呼称幅	長さ	幅	θ
4本柱	L55	D30	5390	3000	9.0°以下
	L60		5900		
	L55	D55	5390	5400	5°以下
	L60		5900		
	L55	D60	5390	6000	4.5°以下
	L60		5900		
	L55	D80	5390	7800	1.5°以下
	L60		5900		3.5°以下
6本柱	L55	D30	5390	3000	7.0°以下
	L60		5900		9.0°以下
	L55	D55	5390	5400	4.0°以下
	L60		5900		5.0°以下
	L55	D60	5390	6000	4.0°以下
	L60		5900		4.5°以下
8本柱	L55	D80	5390	7800	1.5°以下
	L60		5900		3.5°以下

■切断・加工要領

〈切断寸法表〉

	条件			折板		C	E	F	G	鼻隠し（水上側または水下側）	側面鼻隠しA	側面鼻隠しB
	D	L	θ	B=D×TANθ						L1=D÷COSθ−E−F	L2=L−B−C	L3=L−G
寸法例	5400	5390	4	378		51	27	25	46	5361	4961	5344

●寸法公式（標準）

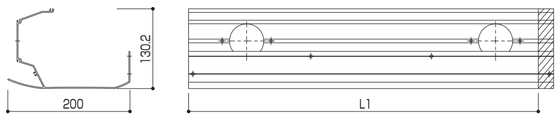
C=36×TANθ−13/COSθ+62
E=13×TANθ−36/COSθ+62
F=62−13×TANθ−36/COSθ
G=62−36×TANθ−13/COSθ

●寸法表

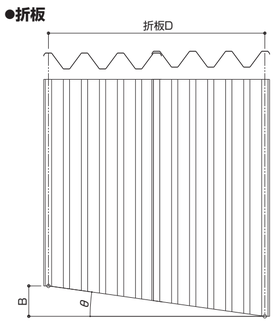
θ	標準				DXタイプ			
	C	E	F	G	C	E	F	G
1	50	26	26	48	46	22	22	44
1.5								
2						23	21	
2.5	51	27	25	47	47			43
3								
3.5					48			42
4				46			20	
4.5	52				49			41
5								
6	53		24	45	50	24	19	40
7				44				
8	54				51			39
9	55	28	23	43				38

●鼻隠し（水上側または、水下側）

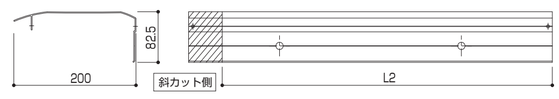
※図は、水下側の場合を示します。



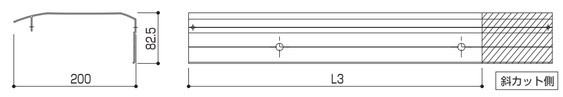
●折板



●側面鼻隠しA



●側面鼻隠しB



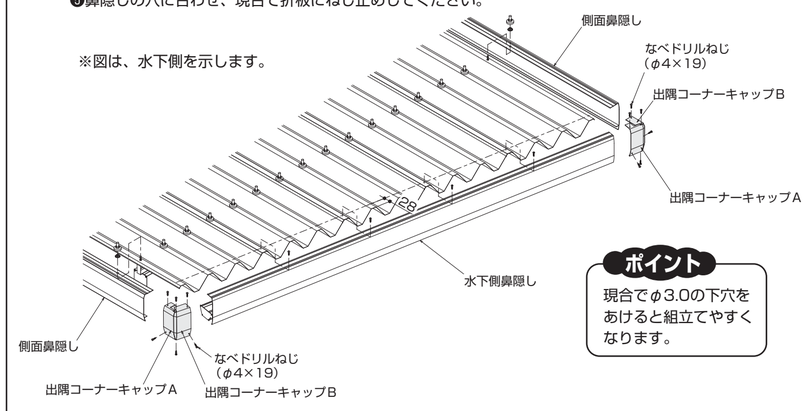
■取付要領

❶側面鼻隠しを本体説明書を参考に取付けてください。
❷折板の端部から、28㎜ の位置に水性ペン、またはテープ等で印を付けてください。（図参照）

ポイント
折板にケガキ線などのキズをつけるとサビの原因になります。

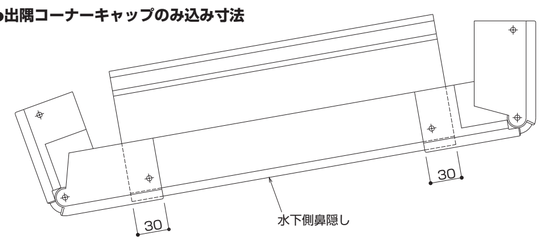
❸鼻隠し（水上側または水下側）に出隅自在コーナーキャップを組立て、取付けてください。
❹鼻隠し（水上側または水下側）を折板の印に合わせてかぶせ、出隅自在コーナーキャップを側面鼻隠しに連結してください。
❺鼻隠しの穴に合わせ、現合で折板にねじ止めしてください。

※図は、水下側を示します。



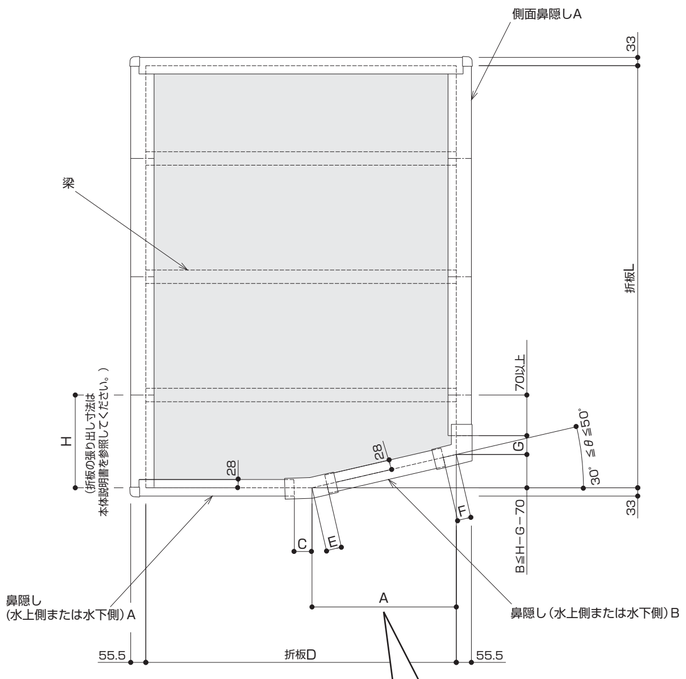
ポイント
現合でφ3.0の下穴をあけると組立てやすくなります。

●出隅コーナーキャップのみ込み寸法



出隅B（右コーナー）

■製作制限



●A寸法は、水下側の場合、雨水が雨樋に流れるようにするために、右表の寸法例の寸法にて設定してください。

●A寸法は、水上側の場合、任意に設定可能ですが、B寸法制限を満足し、規格の鼻隠し長さで足りるようにするためには、A寸法は、下記の表の寸法制限にて、設定してください。

30° の場合	130≦A≦675
35° の場合	125≦A≦590
40° の場合	115≦A≦425
45° の場合	110≦A≦315
50° の場合	100≦A≦230

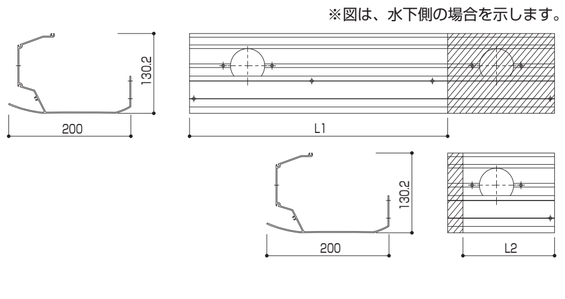
■切断・加工要領

〈切断寸法表〉

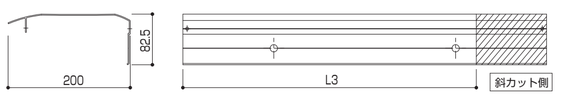
	条件			折板		C	E	F	G	鼻隠し（水上側または水下側）A	鼻隠し（水上側または水下側）B	側面鼻隠し
	D	L	θ	A	B=A×TANθ					L1=D−A−C+23	L2=A/COSθ−E−F	L3=L−B−G
寸法例	5400	5390	30	575	332	60	20	30	70	4788	614	4988
				375	217					4988	383	5103
				175	101					5188	152	5219
			45°	175	175		20	30	80	5188	192	5135

●鼻隠し（水上側または、水下側）

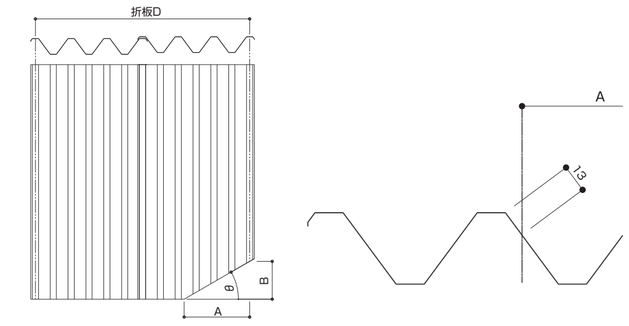
※図は、水下側の場合を示します。



●鼻隠し（側面）



●折板



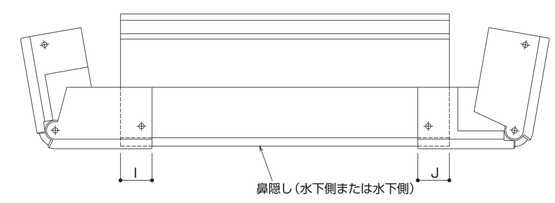
■取付要領

❶側面鼻隠しを本体説明書を参考に取付けてください。
❷折板の端部から、28㎜ の位置に水性ペン、またはテープ等で印を付けてください。（図参照）

ポイント
折板にケガキ線などのキズをつけるとサビの原因になります。

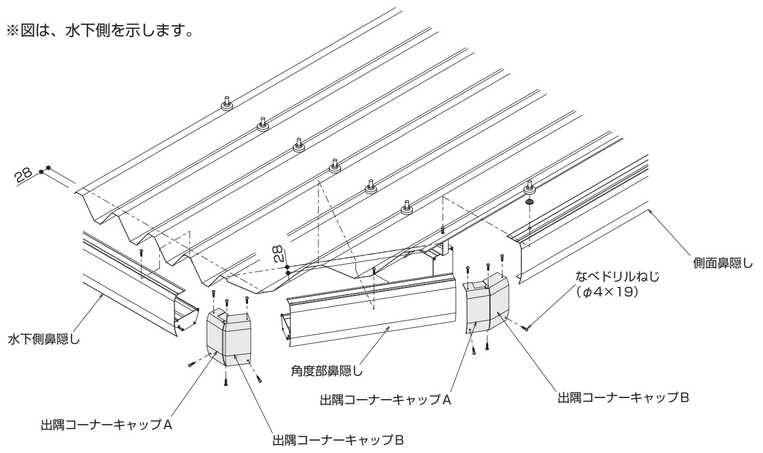
❸角度部鼻隠し（水上側または水下側）の両端に出隅自在コーナーキャップを取付けてください。
❹平行部鼻隠し（水上側または水下側）を取付けてください。
❺角度部鼻隠し（水上側または水下側）を折板の印に合わせてかぶせ、取付けてください。
❻鼻隠しの穴に合わせ、現合で折板にねじ止めしてください。

●出隅コーナーキャップのみ込み寸法



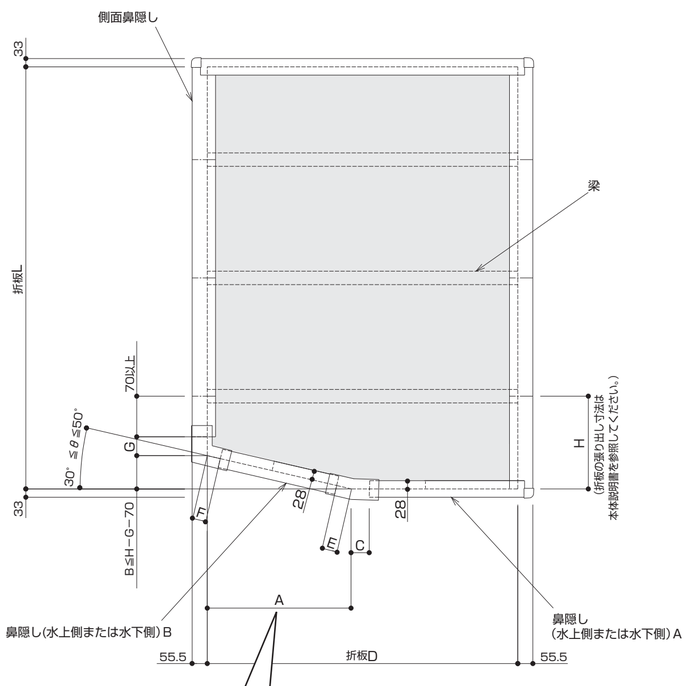
	I	J
30°	69	28
45°	57	29

※図は、水下側を示します。



出隅B（左コーナー）

■製作制限



●A寸法は、水下側の場合、雨水が雨樋に流れるようにするために、右表の寸法例の寸法にて設定してください。

●A寸法は、水上側の場合、任意に設定可能ですが、B寸法制限を満足し、規格の鼻隠し長さで足りるようにするためには、A寸法は、下記の表の寸法制限にて、設定してください。

30° の場合	130≦A≦675
35° の場合	125≦A≦590
40° の場合	115≦A≦425
45° の場合	110≦A≦315
50° の場合	100≦A≦230

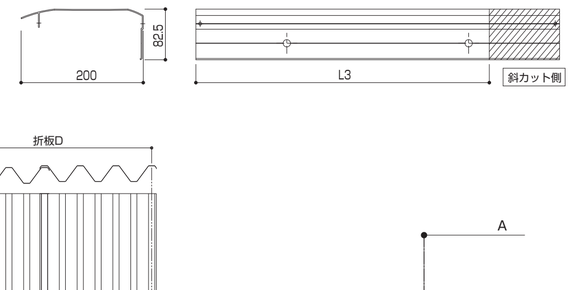
■切断・加工要領

〈切断寸法表〉

	条件			折板		C	E	F	G	鼻隠し（水上側または水下側）A	鼻隠し（水上側または水下側）B	側面鼻隠し
	D	L	θ	A	B=A×TANθ					L1=D−A−C+23	L2=A/COSθ−E−F	L3=L−B−G
寸法例	5400	5390	30	600	346	20	60	25	70	4803	608	4974
				400	231					5003	377	5089
				200	115					5203	146	5205
			45°	215	215	30	60	25	80	5178	219	5095

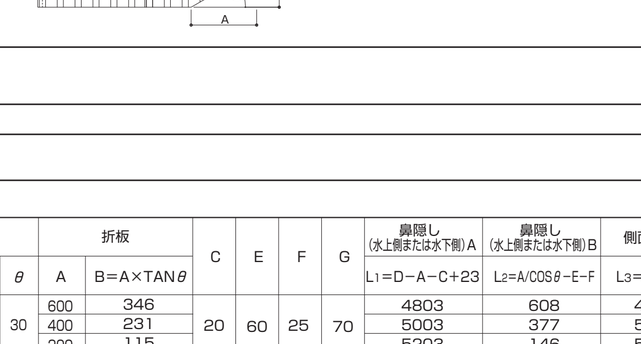
●鼻隠し（水上側または、水下側）

※図は、水下側の場合を示します。



●鼻隠し（側面）

●折板



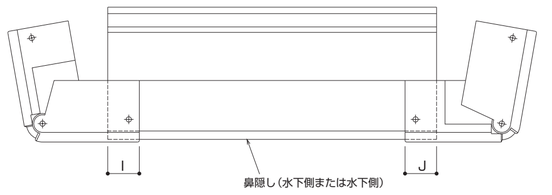
■取付要領

❶側面鼻隠しを本体説明書を参考に取付けてください。
❷折板の端部から、28㎜ の位置に水性ペン、またはテープ等で印を付けてください。（図参照）

ポイント
折板にケガキ線などのキズをつけるとサビの原因になります。

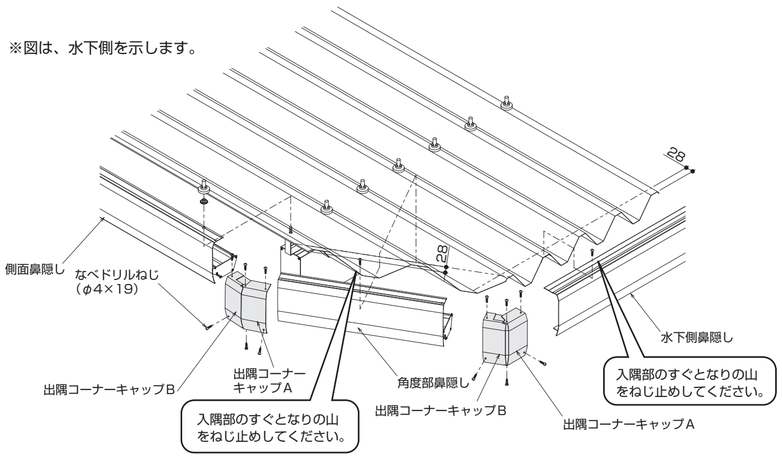
❸角度部鼻隠し（水上側または水下側）の両端に出隅自在コーナーキャップを取付けてください。
❹平行部鼻隠し（水上側または水下側）を取付けてください。
❺角度部連結した鼻隠し（水上側または水下側）を折板の印に合わせてかぶせ、取付けください。
❻鼻隠しの穴に合わせ、現合で折板にねじ止めしてください。

●出隅部コーナーキャップのみ込み寸法



	I	J
30°	33	29
45°	29	27

※図は、水下側を示します。



組立・施工説明書 SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

明かり取り屋根ふき材

'11-2月 発行

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…
取扱説明書をお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する組立・施工業者様向けの内容となっております。
商品の不具合や組立・施工作業には危険が伴いますので、組立・施工は専門知識を有する組立・施工業者様が行ってください。

本説明書は、「**SSポートGⅡ・ゆき盛くんⅡ 明かり取り屋根ふき材**」の取付けについて説明しています。
本体の組立・施工については、本体に同梱包の組立・施工説明書をご覧ください。

注　意

明かり取り屋根ふき材は、積雪100cm (4本柱仕様)には使用できません。

お願い

- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
  締め付け不良は事故の原因になります。
- みだりに改造や変更はしないでください。

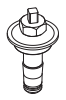
チェックシート

組立時、下記項目の確認をしてください。

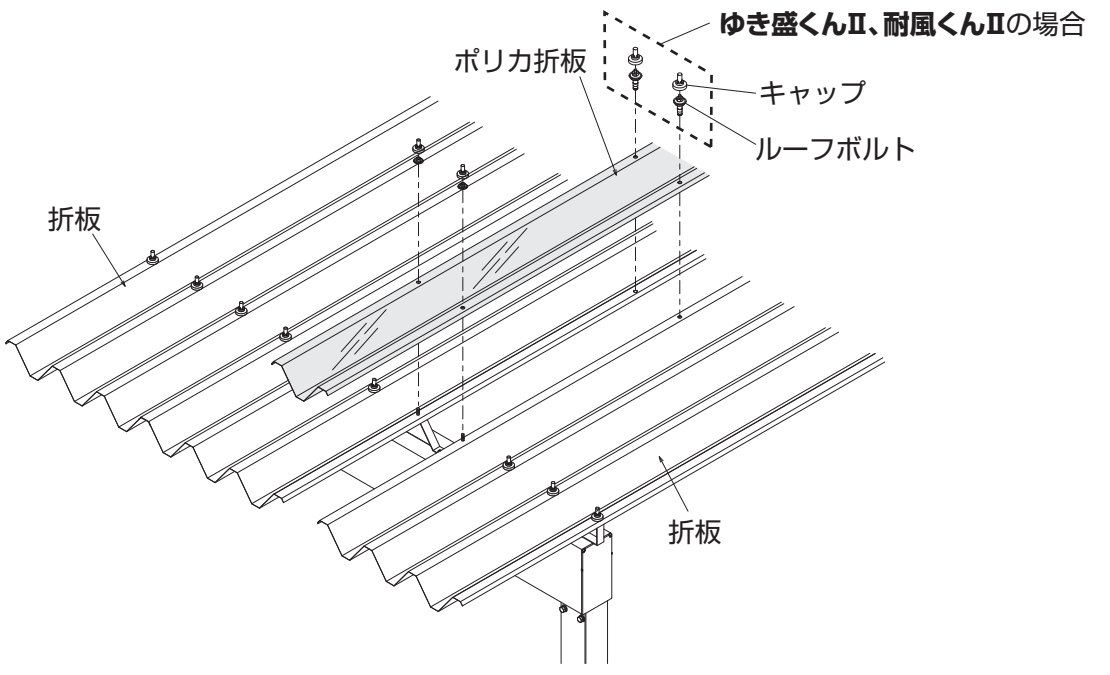
	項　目	チェック欄
❶	ねじは確実に締めましたか？	
❷	ねじ頭にシーリングをしましたか？	

同梱包部品一覧

■ECD-(DS)R1N

姿　図				−
品　名	ルーフボルト	キャップ	なべドリルねじ (φ4×19)	チラシ
品　番	**5K−10043**	**2K−35755**	**K−13526**	−
個　数	2	2	4	1
備　考				

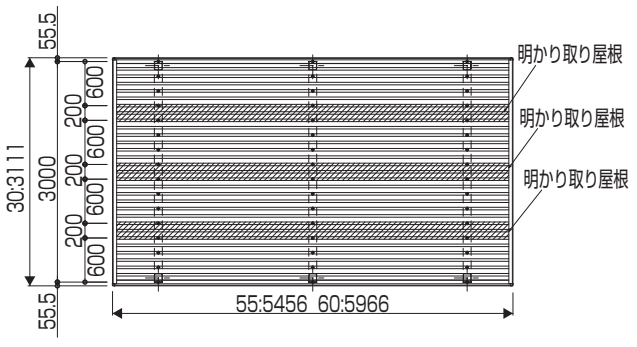
全体構成図



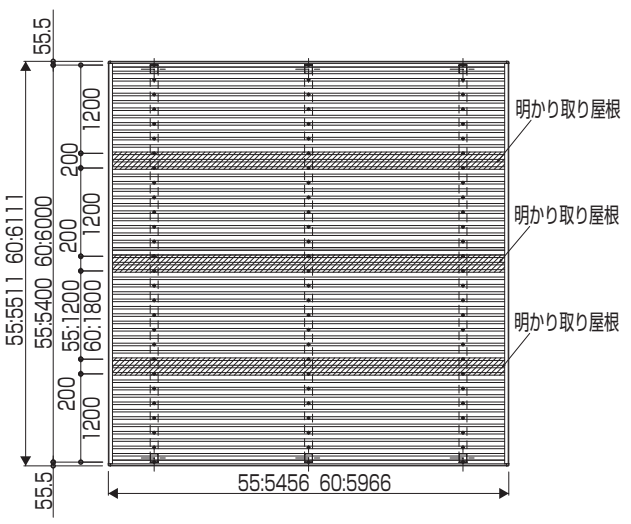
寸法図(単位：mm)

- 本図は、積雪150cmタイプにポリカ折板を3枚割付ける場合の納まり例です。
- 斜線部はポリカ折板を示します。
- ポリカ折板は、2枚連続しての使用や、両端部への取付けはできません。
  1台用では、最大3枚、2台用では最大6枚まで使用できます。

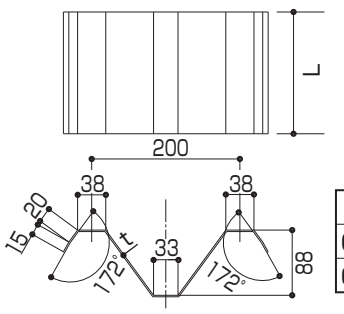
■D：30
1台用



■D：55、60
2台用

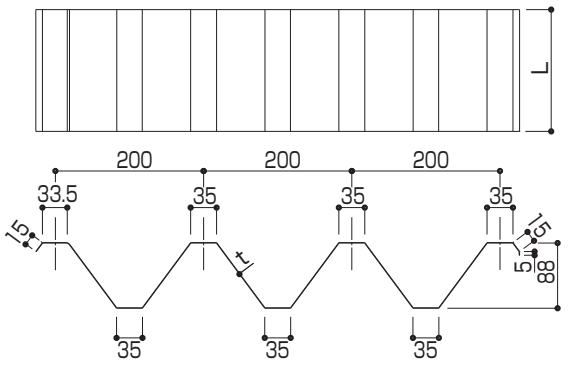


●ポリカ折板



ユニット記号	寸法(L×t)	枚数
GCD-(DS)P55-3	5390×2.0	3
GCD-(DS)P60-3	5900×2.0	3

●折板



寸法(L×t)	枚数
5390×0.6	1
5900×0.6	1
5390×0.8	1
5900×0.8	1

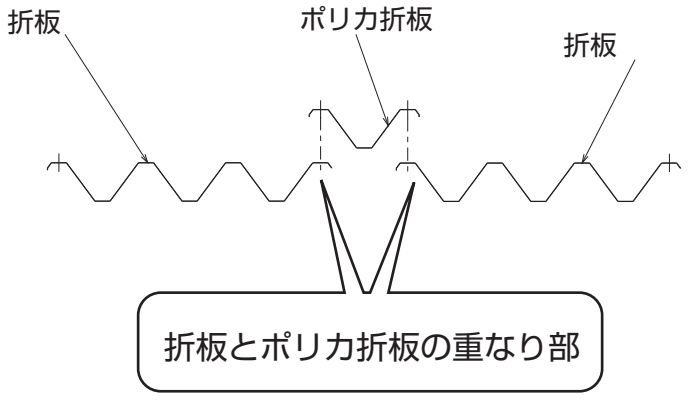
組立・施工説明書 SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡ

明かり取り屋根ふき材

1.加工

1 折板の加工

折板・ポリカ折板の両山部にφ12の穴加工をしてください。



■折板の穴加工位置

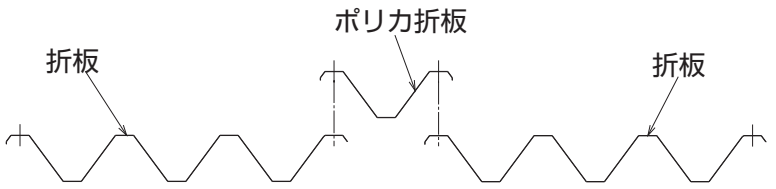
呼び長さ L	折板長さ Lr	側面から見た柱本数	SSポートGⅡに取付ける場合 加工位置（φ12）
55	5390	3	594 / 2101 / 2101 / 594
		4	444 / 1501 / 1501 / 1501 / 444
60	5900	3	849 / 2101 / 2101 / 849
		4	699 / 1501 / 1501 / 1501 / 699

呼び長さ L	折板長さ Lr	ゆき盛くんⅡ、耐風くんⅡに取付ける場合 加工位置（φ12）
55	5390	1144 / 1551 / 1551 / 1144
60	5900	1249 / 1701 / 1701 / 1249

2.ポリカ折板の取付

1 ポリカ折板を取付けてください。

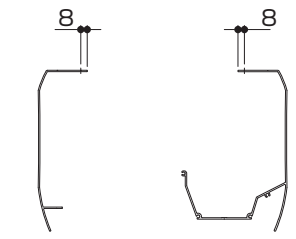
〈折板重なり部詳細〉



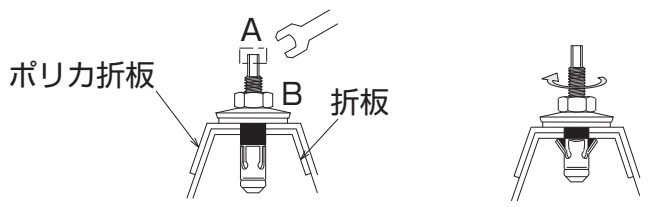
2 折板とポリカ折板の重なり部をなべドリルねじで固定してください。

ポイント

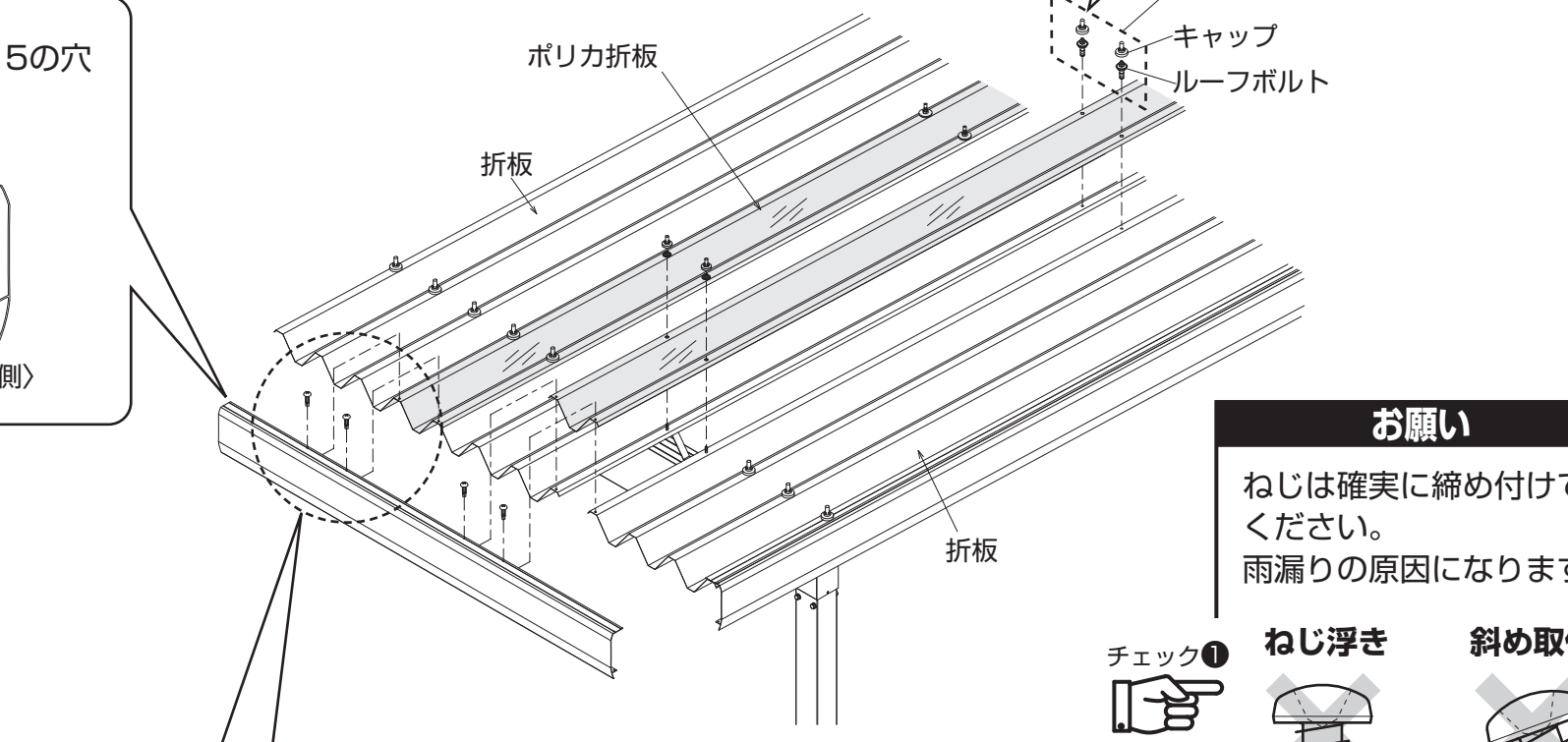
鼻隠しの取付位置にφ5の穴をあけてください。



ルーフボルトの取付方法



A部をスパナ等で固定しながらBのボルトを締め付けてください。



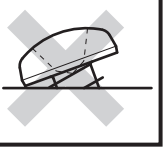
お願い

ねじは確実に締め付けてください。
雨漏りの原因になります。

チェック❶

ねじ浮き

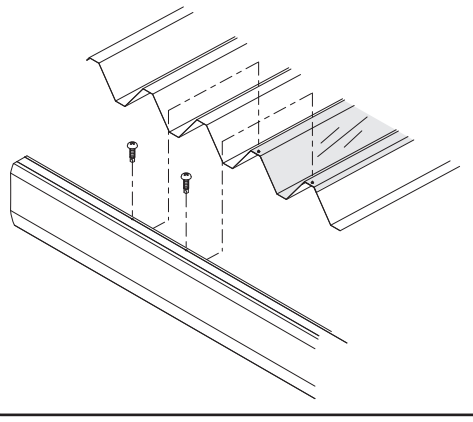
斜め取付



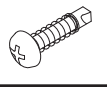
シーリング

ねじ止め後、ねじ頭にシーリングを施してください。

チェック❷



鼻隠し取付用



なべドリルねじ（φ4×19）

組立・施工説明書 SSポートGⅡ 収納式サポート

'11-2月 発行

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については、必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後に…
取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックを施主様に渡るようにお手配ください。

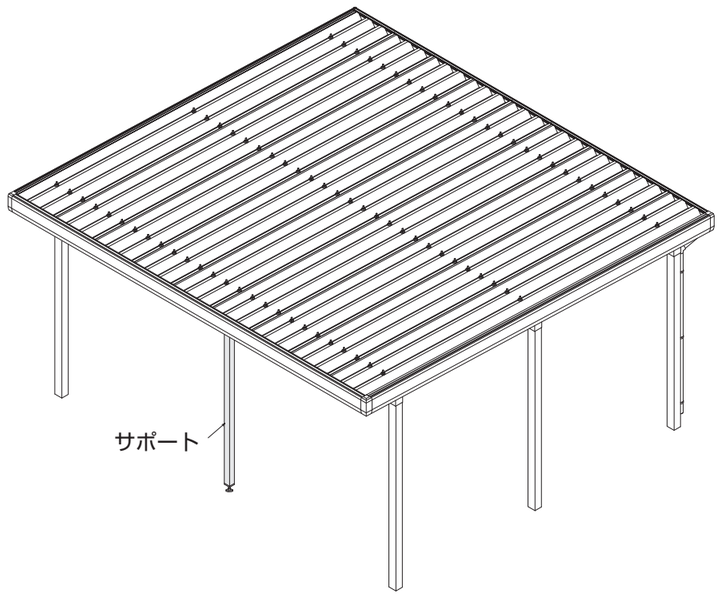
本説明書は、**SSポートGⅡ 収納式サポート**の組立・施工要領について説明しています。
SSポートGⅡ 本体の組立・施工要領については、本体に同梱包の組立・施工説明書を参照してください。

本説明書は専門知識を有する組立・施工業者様向けの内容となっております。
商品の不具合や組立・施工作業には危険が伴いますので、組立・施工は専門知識を有する組立・施工業者様が行ってください。

お願い

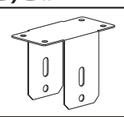
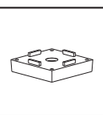
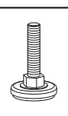
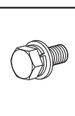
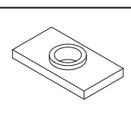
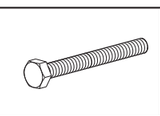
- みだりに改造や変更はしないでください。
- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締めつけてください。
  締め付け不良は、性能低下および事故の原因になります。
- サポートは垂直に取付けてください。
- サポートはコンクリート等の固い地盤の上に取付けてください。
- ユニットの組替え等により製作する場合は製作範囲を確認して製作してください。
  製作範囲を超えると事故(人損・物損)の原因になります。
- 商品の上に乗ったり、はしごを掛けないでください。商品の変形だけでなく、落下事故の原因になります。
- 本体にキズをつけますと、腐食しやすくなりますので、取扱いには十分ご注意ください。

全体構成図



同梱包部品一覧

■GCD-(DS)S#

姿　図								
品　名	サポート取付金具	ブラケット	レベルアジャスター	フック	座金組込六角ボルト(M8×16)	裏板	六角ボルト(M10×95)	ワッシャ
品　番	**3K-11238**	**2K-19970**	**2K-19972**	**2K-19973**	**2K-19411**	**5K-11185**	**SBH-M10095**	**W-10**
GCD-(DS)S1	1	1	1	1	5	5	2	4
GCD-(DS)S2	2	2	2	2	10	10	4	8
備　考					サポート取付金具・フック取付用		サポート取付用	

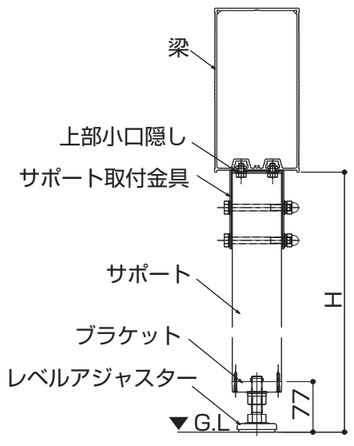
姿　図							——
品　名	スプリングワッシャ	六角袋ナット	皿タッピンねじ1種(φ4×30)	六角ナット	スプリングワッシャ	ワッシャ	組立・施工説明書
品　番	**SW-10**	**FN-M10**	**AF-4030D7**	**N-M16**	**SW-16**	**W-16**	ー
GCD-(DS)S1	2	2	4	1	1	1	1
GCD-(DS)S2	4	4	8	2	2	2	1
備　考	サポート取付用		ブラケット取付用	レベルアジャスター取付用			ー

1.サポートの加工

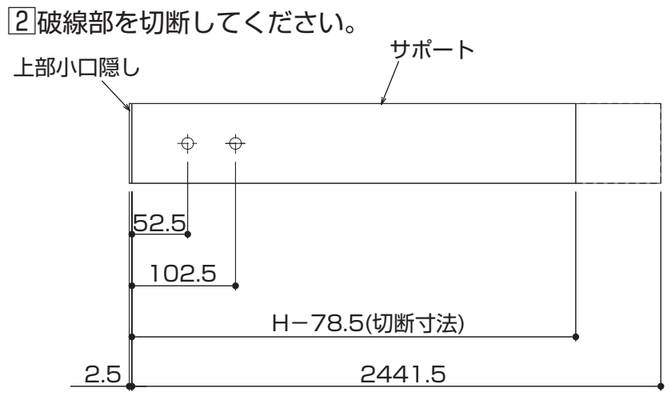
サポートの切断

1 H寸法を測ってください。

注　意
サポートの切断寸法は場所によって異なりますのでご注意ください。

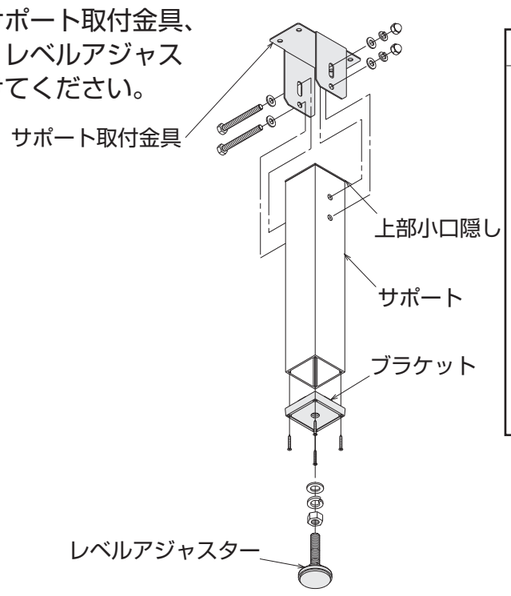


2 破線部を切断してください。



2.サポート・フックの取付

1 サポートにサポート取付金具、ブラケット、レベルアジャスターを取付けてください。

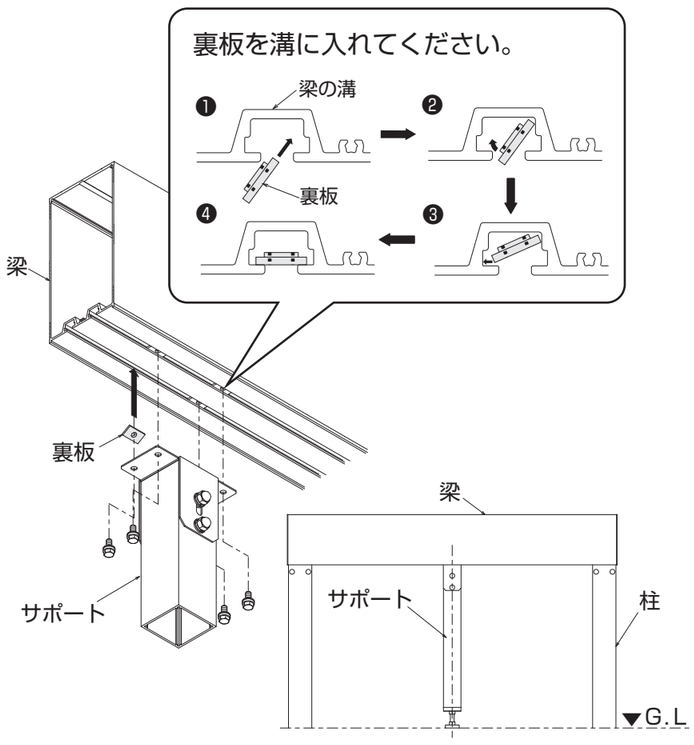


サポート取付用
- 六角ボルト(M10×95)
- ワッシャ
- スプリングワッシャ
- 六角袋ナット

レベルアジャスター取付用
- ワッシャ
- スプリングワッシャ
- 六角ナット

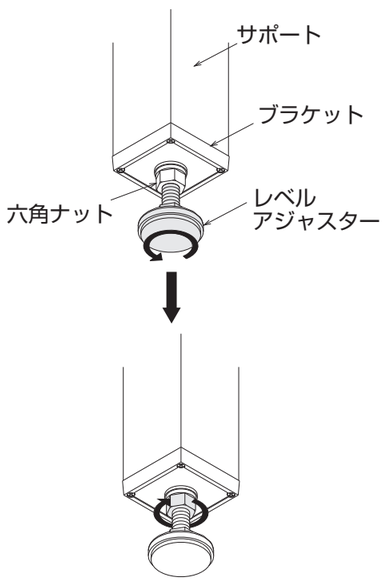
ブラケット取付用
- 皿タッピンねじ種(φ4×30)

2 梁に裏板を入れて、サポートを取付けてください。

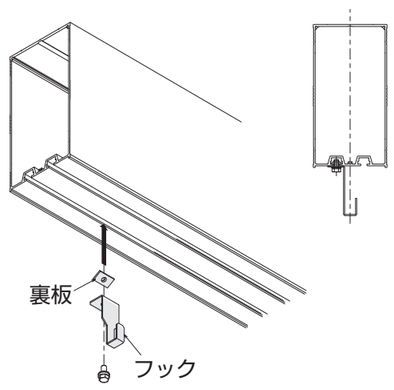


サポート取付用
- 座金組込六角ボルト(M8×16)

3 レベルアジャスターをまわして伸ばし、六角ナットを締めて固定してください。



4 2 の手順同様に梁に裏板を入れて、フックを取付けてください。

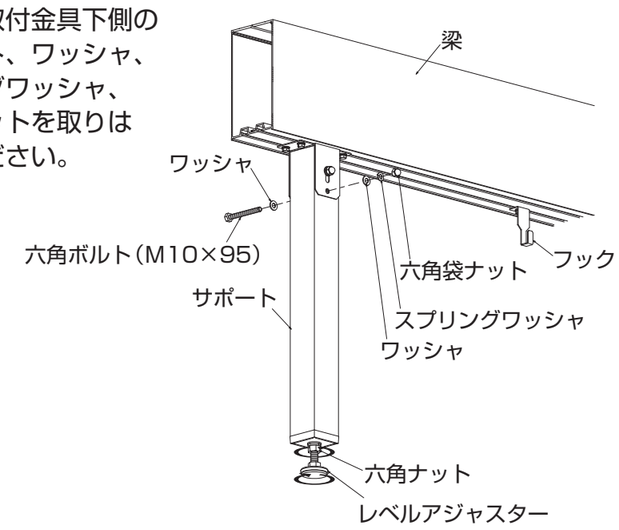


フック取付用
- 座金組込六角ボルト(M8×16)

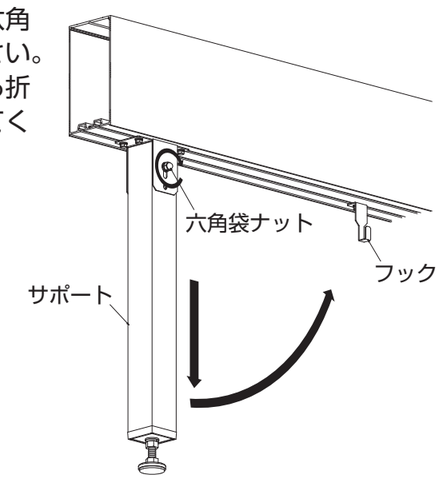
注　意
フックの取付け位置は、サポートの長さによって異なりますので、ご注意ください。

サポート収納方法

1 六角ナットをゆるめてください。
2 レベルアジャスターをまわし、縮めてください。
3 サポート取付金具下側の六角ボルト、ワッシャ、スプリングワッシャ、六角袋ナットを取りはずしてください。



4 サポート取付金具上側の六角袋ナットをゆるめてください。
5 サポートを下にさげながら折りたたみ、フックにかけてください。



6 3 で取りはずした六角ボルト、ワッシャ、スプリングワッシャをサポートに取付けて最後に六角袋ナットで締めてください。